

**京都府における  
学校教育MM普及事業**

**業務報告書**

平成 25 年 3 月

京都府建設交通部交通政策課

# 目次

<b>1. 事業概要</b> .....	1
1-1 事業概要 .....	1
1-2 本年度の概要 .....	2
<b>2. 教材やカリキュラムの検討</b> .....	5
2-1 実施方針の整理 .....	5
2-2 プログラムの検討 .....	7
2-3 プログラムの検討 .....	11
<b>3. MM教育の実施</b> .....	117
3-1 授業の実施 .....	117
3-2 フィードバック・体験学習の実施 .....	124
<b>4. 効果の検証</b> .....	130
4-1 実施した授業の評価 .....	130
4-2 久御山町での取り組み効果の検証 .....	159
<b>5. 継続実施の検討</b> .....	188
5-1 実施概要 .....	188
5-2 学校・自治体等への発信 .....	188
5-3 事業者へのフィードバック .....	207
<b>6. 平成 25 年度の取り組み方針</b> .....	212
6-1 今年度の実施結果のまとめ .....	212
6-2 得られた継続・発展のポイント .....	213
6-3 次年度以降の方向性の検討 .....	214
6-4 次年度の取り組み方針の検討 .....	217
<b>7. 協議会の運営補助</b> .....	221
7-1 協議会開催概要 .....	221
7-2 第 4 回委員会 .....	222
7-3 第 5 回委員会 .....	228
<b>8. 本業務の成果と今後の展望</b> .....	235
8-1 本業務の成果 .....	236
8-2 今後の課題 .....	237

# 1. 事業概要

## 1-1 事業概要

### 1-1-1 事業の目的

京都府では、平成17年度から久御山町等で公共交通に関する出前授業などを実施しており、立ち上げは京都府が導入支援し、その後市町村に主体を移行して取り組む予定であったが、市町村側の実施体制が整わないことや学校の負担感等の理由で、移行と同時に取り組みが終わってしまっており、継続可能な仕組みを構築する必要がある。

そこで本事業は、学識経験者、学校関係者、市民団体、運輸局、行政（実施市町を含む交通政策部局、教育部局）などからなる委員会（協議会）を立ち上げ、3力年の取り組みの中で、京都府全域で展開できる教育カリキュラムを構築し、それらを手引きとしてまとめるとともに、継続的に実施するための仕組み作りを行うものである。

### 1-1-2 事業のフロー

京都府では、「京都府交通需要マネジメント基本計画」に基づき、小学校に対しても交通環境学習を実施してきた。今後、これらを継続的・持続的に実施していくことが必要である。

そのため、京都府下の小学校における交通環境学習の普及・定着を目的として、3年間の試行、検証の繰り返しを通じて、しくみづくりを実施する。

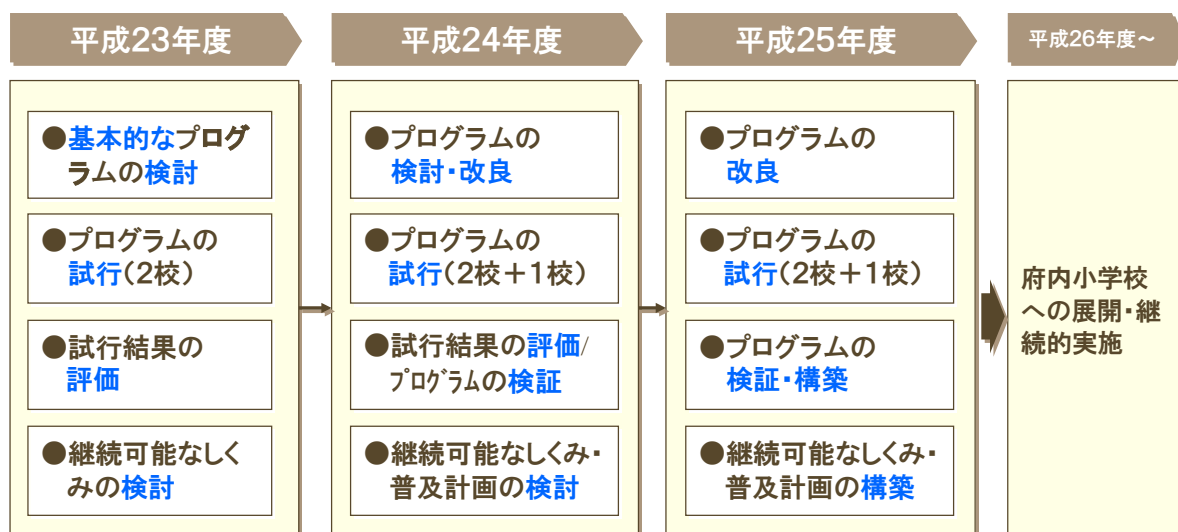


図1-1 本事業のフロー

## 1-2 本年度の概要

### 1-2-1 目的

京都府では、平成 17 年度から久御山町等で公共交通に関する出前授業などを実施しており、立ち上げは京都府が導入支援し、その後市町村に主体を移行して取り組む予定であったが、市町村側の実施体制が整わないことや学校の負担感等の理由で、移行と同時に取り組みが終わってしまっており、継続可能な仕組みを構築する必要がある。

そこで本事業は、学識経験者、学校関係者、市民団体、運輸局、行政（実施市町を含む交通政策部局、教育部局）などからなる委員会（協議会）を立ち上げ、23 年度からの 3 カ年間で、京都府全域で展開できる教育カリキュラムを構築し、それらを手引きとしてまとめるとともに、継続的に実施するための仕組み作りを行うものである。

23 年度は亀岡市内 2 小学校で試行を行いプログラムの検証を行った。24 年度は亀岡市内 2 小学校と福知山市内 1 小学校で取り組み、汎用性のあるプログラムの開発を目指す。

## 1-2-2 概要

### (1)業務実施フロー

以下に業務実施フローを示す。

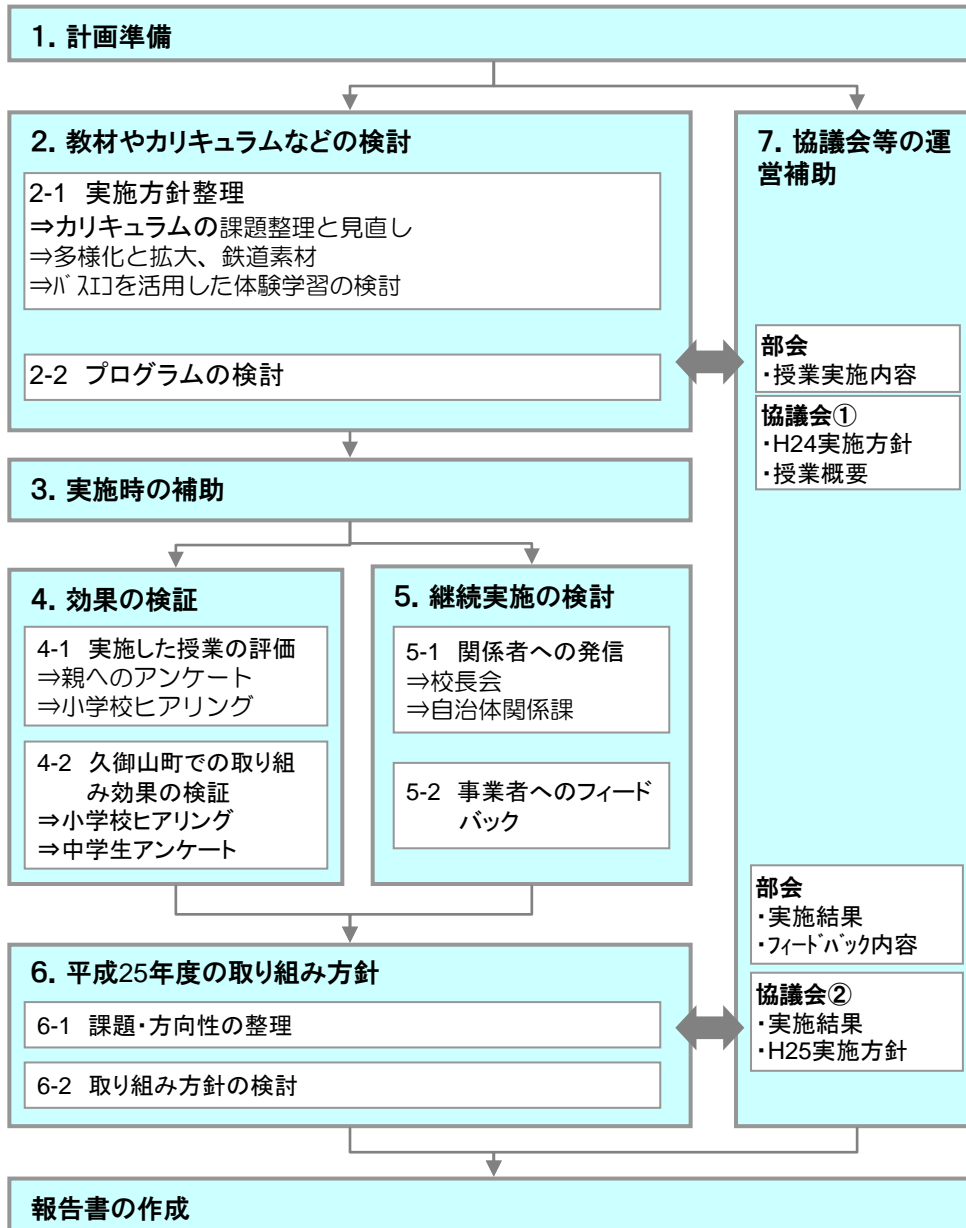


図1-2 業務実施フロー

## (2)業務項目

### 1)教材やカリキュラムなどの検討

#### (a)実施方針の整理

本事業の実施目的を踏まえて、本年度の取り組みについての実施方針を検討した。

#### (b)プログラムの検討

対象となる小学校周辺の地域特性や学校側のニーズを踏まえて、教育目的と習得能力を関連づけながら授業テーマを検討した。これを踏まえて教育現場が実践しやすい教材づくりに取り組んだ。また、プログラムの実施体制について検討した。

### 2)実施時の補助

検討した教材を印刷するとともに、京都府及び実施市町と協力し学校で交通環境学習を実施する際の補助を行った。

また、『バス・エコファミリー(※大人1人につき小学生以下2名までの運賃が無料になる取り組み)』の実施に合わせて児童・保護者へのMMを実施した。

### 3)効果の検証

今年度の実施結果を踏まえて交通環境学習実施効果の検証を行った。

### 4)継続実施の検討

実施結果を学校や自治体の関係者へ発信するとともに、事業者への実施結果のフィードバックを行った。

### 5)平成 24 年度の取り組み方針

効果の検証結果を踏まえて、平成 25 年度の取り組み・検討方針を取りまとめた。

### 6)協議会の運営補助

協議会の運営のため、会議資料の作成・印刷、議事録の作成などを行った。

## 2. 教材やカリキュラムの検討

### 2-1 実施方針の整理

#### (1)アウトプットイメージと課題

事業終了後には、市町村や学校から手が挙がり、府が情報提供を行いながら地域で検討・調整を行い授業を実施していくことが想定される。

そのためには、実施しやすいプログラムのバリエーションを確立するとともに、効果を明確化し、小学校や市町村、事業者等の関係者の認知を高めていくことが必要と考えられる。

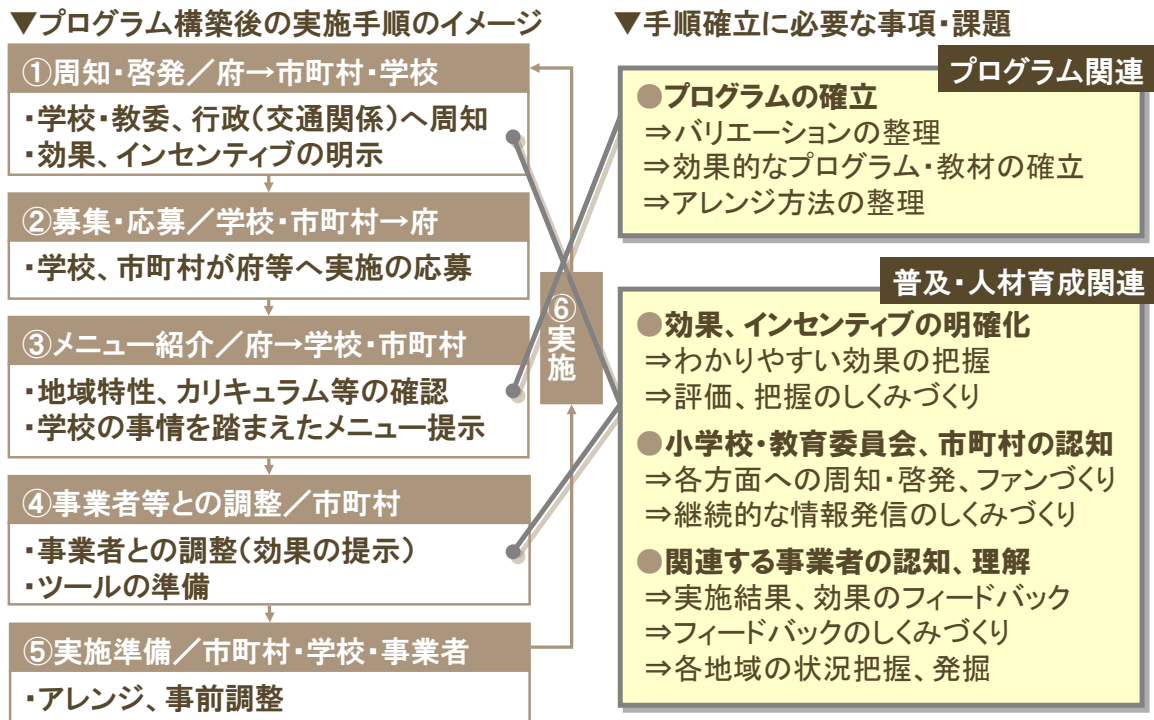


図2-1 アウトプットイメージと課題

## (2)今年度のポイントと手順

前項の課題を踏まえ、今年度の実施方針・コンセプトを整理した。

- プログラムのブラッシュアップ・・・主旨明確化、コンパクト化、鉄道加付プログラム 等
- 効果の見える化・・・効果を把握する調査、ヒアリング
- 普及・人材育成・・・学校への発信・PR、市町村への発信
- 協力者の確保・・・事業者へのフィードバックの充実



図2-2 今年度の実施方針



## 2-2 プログラムの検討

### 2-2-1 学習テーマの検討

#### (1)対象校の概要

今年度の事業では、亀岡市の大井小学校および川東小学校、福知山市の成仁小学校の3校を対象としてプログラムの検討を行った。以下に3校の概要を示す。

##### 1)大井小学校

大井小学校は、亀岡駅から北西約2kmに位置し、亀岡市内では比較的人口の多い地区に立地している。JR並河駅（山陰本線）に近接しており鉄道が使いやすく身近な交通手段となっている。



図2-3 大井小学校 位置図

表2-1 大井小学校 概要

住所	亀岡市大井町並河 1-3-1
生徒数	532名（H24.4月）
教育目標	「知を磨き、心豊かに、たくましく」、次代を生きぬく人間の育成をめざす
めざす児童像	いのち、仲間、がんばりを大切にする、生きる力に満ちた子ども いのちを大切にする子：人や自然を愛し、いのちを大切にする子ども 仲間を大切にする子：思いやりの心を持ち、励まし、みがき合う子ども がんばりを大切にする子：自ら学ぶ意欲を持ち、深く追求する子ども

## 2)川東小学校

亀岡市の北方約 4km に位置する川東小学校は、校区が非常に広いため半数以上の児童が通学時に一般の路線バスを利用している。そのため、バスは児童にとって身近な交通手段となっているが、乗車時のマナーの向上が課題となっている。

また、通学以外の日常生活では、クルマへの依存度が高くなっていると考えられる。



図2-4 川東小学校 位置図

表2-2 川東小学校 概要

住所	亀岡市馬路町野堀 1 番地の 7
生徒数	189 名 (H25.2 月)
教育目標	仲間とともに、「学ぶ力」や関わる力を高めていく児童を育成する
めざす児童像	夢と希望を持ち、元気いっぱい川東の子 進んで学ぶ子 : 質の高い学力の育成 ともだちと仲良く伸びあう子 : よりよい信頼関係の育成 元気でたくましい子 : たくましく健やかな身体の育成

### 3) 成仁小学校

成仁小学校は福知山駅の東約 5km の新興住宅に立地している。鉄道駅から離れており、バスのほうが身近な地域である。



図 2-5 成仁小学校 位置図

表2-3 成仁小学校 概要

住所	京都府福知山市中坂町 10
生徒数	367 名 (H24.5 月)
教育目標	「生き生きと輝く」児童の育成
めざす児童像	かっこいい子「夢や希望を持ち自ら学び子」 やさしい子「心豊かでまわりとつながる子」 たくましい子「健康で逞しく挑戦する子」

## (2) 学習テーマ

学習テーマは、前項の地域の特性・交通状況を踏まえ、環境や地域にとって望ましい交通行動の継続的な実践につながるよう学習テーマを設定した。

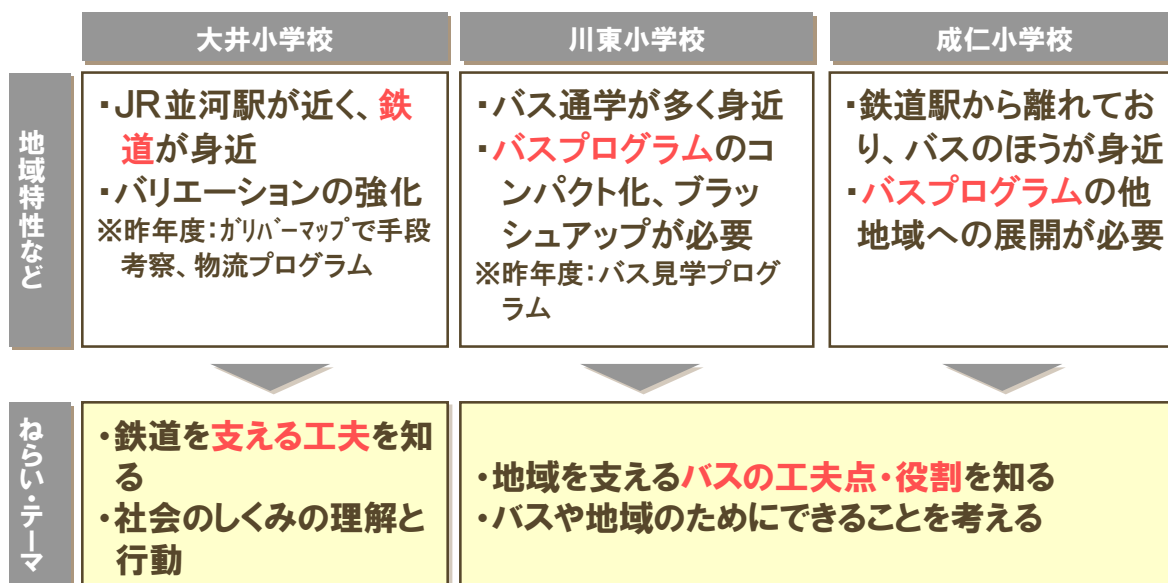


図2-6 学習テーマの検討

## 2-3 プログラムの検討

### 2-3-1 授業プログラムの検討

#### (1)大井小学校

##### 1)プログラムの概要

鉄道を支える工夫から、社会のしくみの理解と、自分の行動を考えてもらうことを目的として、鉄道の仕事について学び、鉄道を見直すことをコンセプトとした。



図2-7 授業の概要(大井小学校)

## 2) プログラムの作成

### (a) 授業説明用スライド

次頁以降に授業説明用スライドを示す。

2012.10

交通環境学習 in 大井小学校

# 亀岡市を走る 鉄道を知ろう！

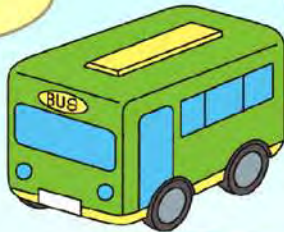


## 交通ってなに？

1

みんなが普段利用する乗り物は？

バス



鉄道



車



自転車



歩き



## 交通ってなに？

2

家族で買物に行く時どの乗り物を使うかな？

バス



鉄道



車



自転車



歩き



## 交通ってなに？

3

鉄道を使う人は？

バス



鉄道



車



自転車



歩き





## 交通ってなに？

4

鉄道には何人乗れるか知ってる？



## 交通ってなに？

5

鉄道には何人乗れるか知ってる？

4両編成の電車に  
半分ぐらいの人が立っているときで  
**5?5?1**人が乗れる！



## 交通ってなに？

6

鉄道は早い！

鉄道には渋滞が無いので  
時間通りに到着できる！



鉄道だと遅刻の  
心配も少ないね！



## 交通ってなに？

7

今日はたくさんの人を  
時間通りに運べる鉄道に  
ついて勉強しよう！



# 学校のまわりの鉄道を知ろう

8

## 大井小学校はどこかな？



# 学校のまわりの鉄道を知ろう

9

## 学校の前を通る路線は何線か知ってる？



# 学校のまわりの鉄道を知ろう

10

学校の前を通る山陰線はどこまで続いているんだろう？



# 学校のまわりの鉄道を知ろう

11

幡生駅ってどこだろう？

きょり：約650km  
かかる時間：約15時間半



## 鉄道の昔の様子を知ろう

12

ここはどこでしょう？



みんながよく知ってる  
場所だよ！



## 鉄道の昔の様子を知ろう

13

今はこんな様子です！



学校の前にある  
並河駅の近くだね！



## 鉄道の昔の様子を知ろう

14

昔と今の様子を比べてみよう！



どんな違いがあるかな？



## 鉄道の昔の様子を知ろう

15

昔と今を比べてみよう



- ・昔はここに駐輪場や駅舎があった！
- ・桜の木は、昔と変わらない場所にある！

## 鉄道の昔の様子を知ろう

16

並河駅のまわりの様子は  
昔と比べてどう変わったんだろう？



線路が1本から2本に  
増えているね！



## 鉄道の昔の様子を知ろう

17

並河駅のまわりの様子は  
昔と比べてどう変わったんだろう？



新幹線があるところには  
桜の木があったんだね！



## 鉄道の昔の様子を知ろう

18

並河駅のまわりの様子は  
昔と比べてどう変わったんだろう？



看板もきれいになったし  
走っている列車も今とは  
ずいぶん違うね



## 鉄道の昔の様子を知ろう

19

約50年前に走っていた列車はどれだろう？





## 鉄道の昔の様子を知ろう

20

正解は③の機関車！



約50年前は  
山陰線に機関車が  
走っていたんだね！



## 鉄道の昔の様子を知ろう

21

昔は京都まで各駅停車でどれくらい  
時間がかかったんだろう？

① 5時間ぐらい

② 1時間ぐらい

③ 40分ぐらい

約40分～約60分

※今のほうが時間は短くなっている

なんでだろう？

⑤ 列車によって時間が違う



## 鉄道の昔の様子を知ろう

22

トロッコ列車って知ってる？



きれいな山の中を  
走る鉄道だね！



## 鉄道の昔の様子を知ろう

23

今トロッコが走っている路線は  
昔汽車が走っていた路線！



トロッコが走っている  
路線は知ってる？

昔は、この路線を  
汽車が走っていた！

## 鉄道の昔の様子を知ろう

24

今、鉄道が走っている路線は？



## 鉄道の昔の様子を知ろう

25

昔は単線（線路が1本）だった！



これが、列車ごとに時間が違う理由だったんだね！



## 鉄道の昔の様子を知ろう

26

どういふことかといふ

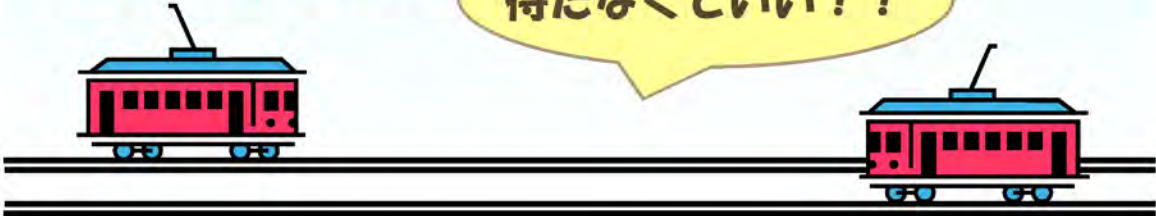
▼単線（線路が1本）

待ち時間によって  
かかる時間が変わる！



▼複線（線路が2本）

待たなくていい！！



## 鉄道の昔の様子を知ろう

27

鉄道は昔と比べてずいぶん変わった！

京都まで行く時間が  
短くなったり、駅や列車が  
新しくなったり、鉄道は  
ずいぶん大きな変化を  
してきたんだね！



## 鉄道と地域のつながりを知ろう

28

鉄道とともに地域が発展している！ とう！



お店や住宅が  
増えている

鉄道が便利になったことで  
まちも発展したんだね！

あまり変わっていない



## 鉄道と地域のつながりを知ろう

29

鉄道はまちの発展を支えている！



鉄道はまちの発展を支えていて  
とっても重要！

## 鉄道を支える工夫

30

鉄道はどうやって支えられているんだろう？

地域にとって重要な鉄道は  
誰が、どんな風に  
支えているんだろう？



## 鉄道を支える工夫

31

鉄道はどうやって支えられているんだろう？

今日はJR西日本の人に  
来てもらったので  
お話を聞いてみよう！



## 鉄道を支える工夫

32

鉄道には色々なお仕事があります！

電車を走らせるために  
どんなものを作る必要が  
あるんだろう??



## 鉄道を支える工夫

33

鉄道には色々なお仕事があります！



写真をよく見て  
考えてみよう！

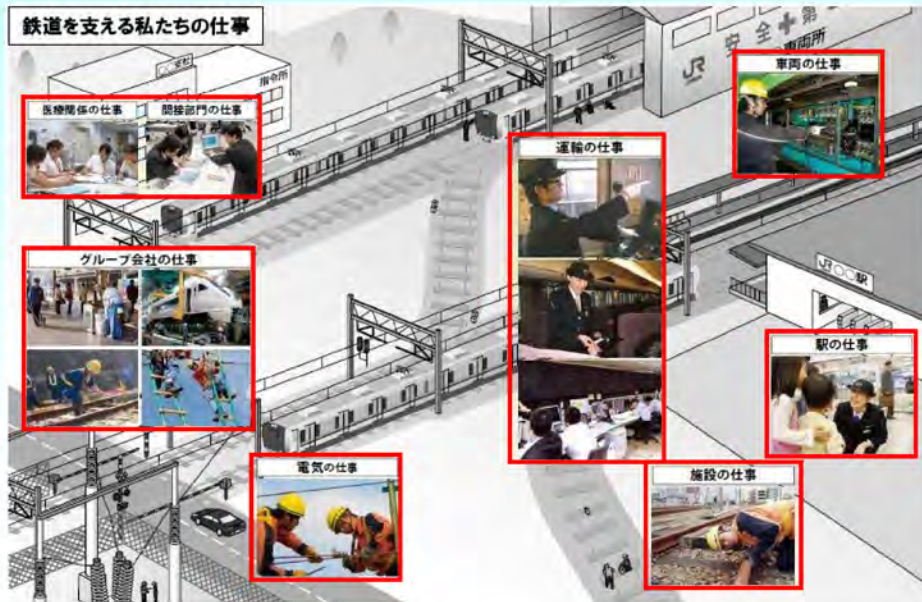


線路を支える石をしく

## 鉄道を支える工夫

34

鉄道には色々なお仕事があります！



## 鉄道を支える工夫

35

これは何をしている人かな？



土木関係のお仕事は  
他にどんなのが  
あるんだろう？





## 鉄道を支える工夫

36

その他の土木関係のお仕事は？



この人たちが線路や橋を作ってくれるんだね！



## 鉄道を支える工夫

37

建築関係のお仕事もある！

建築関係のお仕事



機械関係のお仕事



駅を作るお仕事もあるのかな？



# 鉄道を支える工夫

38

建築、機械関係のお仕事もある！

建築関係のお仕事

機械関係のお仕事



駅がきれいになったり  
自動で切符が買えたりするのは  
この人たちのおかげなんだね！



# 鉄道を支える工夫

39

土木、建築、機械のお仕事の協力

土木！

建築！

協力！

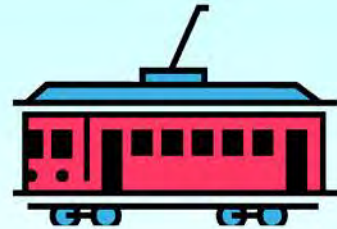
機械！



## 鉄道を支える工夫

40

電車は何の上を走っているかな？



レール

バラスト

まくら木



## 鉄道を支える工夫

41

線路を点検する社員さん！



## 鉄道を支える工夫

42

電車は何の力で動いているのかな？



## 鉄道を支える工夫

43

電線の点検のお仕事！



## 鉄道を支える工夫

44

鉄道には日々の点検が必要！



いつもきれいで安全に  
走るために点検をして  
もらっているよ！

車両を  
そのまま



車両を  
点検して

## 鉄道を支える工夫

45

鉄道には日々の点検が必要！



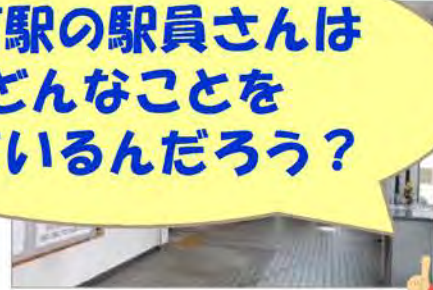
## 鉄道を支える工夫

46

駅員さんはどんなお仕事をしてるのかな？



並河駅の駅員さんは  
どんなことを  
しているんだろう？



## 鉄道を支える工夫

47

駅員さんはどんなお仕事をしてるのかな？



改札口で  
案内をしたい



ホームで安全  
確認をしたい

## 鉄道を支える工夫

48

駅員さんはどんなお仕事をしてるのかな？



## 鉄道を支える工夫

49

並河駅の駅員さんは何人いるか知ってるかな？



並河駅の  
バリアフリーには  
何があったかな？



## 鉄道を支える工夫

50

バリアフリーって知ってる？



手すりをつけたり

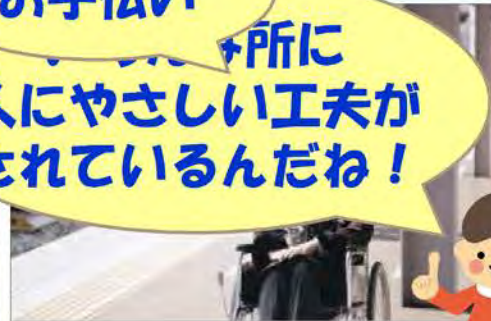


段差を  
なくしたい



お手伝い

駅構内各所に  
人にやさしい工夫が  
されているんだね！



## 鉄道を支える工夫

51

駅運転係員はどんなことをしているんだろう？



信号取扱い業務



## 鉄道を支える工夫

52

駅運転係員はどんなことをしているんだろう？



## 鉄道を支える工夫

53

運転士や車掌は何をしているんだろう？



# 鉄道を支える工夫

54

鉄道は多くの人に支えられている！



# 鉄道を支える工夫

55

鉄道は多くの人に支えられている！



## 鉄道は環境にも良い

56



地域にとって重要な鉄道は  
環境にもやさしい！



## 鉄道は環境にも良い

57

鉄道は沢山の人を運べる！

鉄道で50人が移動



Takaoka, Japan  
Photo by Toyama Environment Foundation

クルマで50人が移動



みんなが車を使うと  
渋滞するんだね！



# 鉄道は環境にも良い

58

## 山陰線なら??

4両で551人が移動!



クルマで551人が移動



3. 8 kmって  
どのくらいのきょり  
だろう?



# 鉄道は環境にも良い

59

## 3. 8 kmは並河駅から亀岡駅 よりも遠いきょり!



## 鉄道は環境にも良い

60

同じ人数を運んでも排気ガスの量が違う！

鉄道で移動した時は？



鉄道は同じ人数を運ぶ時に出る排気ガスの量が少ない

クルマで移動すると？



## バスは環境にも良い

61

排気ガスはなぜ環境に良くないのかな？

排気ガスには、**二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)** がたくさん含まれていて地球全体の環境問題の原因に...



## バスは環境にも良い

62

二酸化炭素がたくさん出るとなぜ良くないのかな？



## 鉄道は環境にも良い

63

鉄道から出る二酸化炭素の量は、  
クルマと比べてどれくらいかわかるかな？

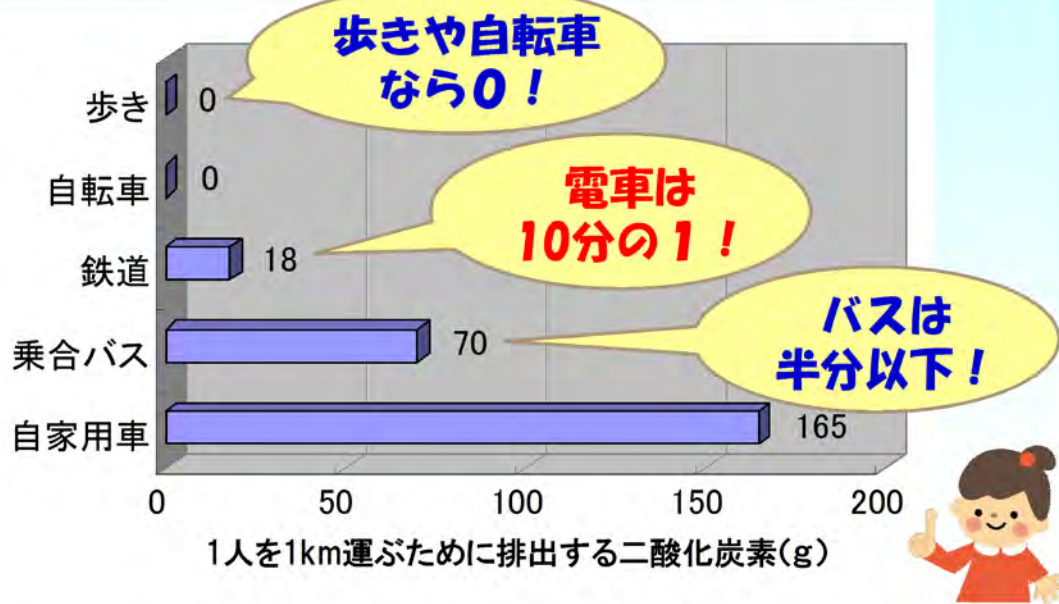
- ① クルマより多い
- ② 同じくらい
- ③ 半分くらい
- ④ 1/10くらい



## 鉄道は環境にも良い

64

バスから出る二酸化炭素の量は、クルマと比べてどれくらいかわかるかな？



## 鉄道は環境にも良い

65

だから、鉄道は環境に良い！



鉄道は環境にも優しいんだね！



## 鉄道を大切にしよう

66

地域にとって鉄道はとても大切！



鉄道は地域にとって重要で  
環境にも優しいから  
みんなで大切にしよう！



## 鉄道を大切にしよう

67

鉄道を大切にする為に  
どんなことができるかな？

みんなにできることはど  
んなことか考えてみよう





# 鉄道を大切にしよう

鉄道を使って行けるところには、  
できるだけ鉄道を使って行ってみよう！



# 鉄道を大切にしよう

鉄道を使って行けるところには、  
できるだけ鉄道を使って行ってみよう！

バスエコファミリーで  
大人1人につき  
小学生2人まで  
無料！



## 鉄道を大切にしよう

70

鉄道を使うときは、他の人が**気持ちよく**使えるようにしよう

→周りの人たちが、**気持ちよく利用**できるよう、騒いだり・うるさくしないようにしよう！

→お年寄りや妊婦さん、体が不自由な人が乗ってきたら**席をゆずろう**！



## 鉄道を大切にしよう

71

将来、地域の鉄道がどうなったら良いか考えよう！

- もっと使いやすく**するためには？
- JRの社長になったら？
- 未来の電車**はどんな電車？



# ワークシート①

## 昔と今の写真を見比べてみよう！

組 \_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

①山陰線と国道9号はどこかな？ ⇒ ②自分の家がどこにあるか探してみよう！ ⇒ ③今と昔でどんな変化があるかな？

<昭和53年並河駅周辺航空写真>



<平成24年並河駅周辺航空写真>



<昭和53年と今を比べて何が違うかな？>

図2-8 ワークシート(鉄道とまちの発展)

## ワークシート②

鉄道のお仕事にはどんなものがあるか考えてみよう！

組 \_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

(1) 電車を走らせるためにどんなものを作る必要があるか考えてみよう！



例) ホームを作る

他に何かあるか  
写真をよく見て  
考えてみよう！

例) 線路を支える石をしく

(2) 並河駅の駅員さんはどんなことをしているのかな？

(3) 並河駅のバリアフリーにはどんなものがあるのかな？

図2-9 ワークシート(鉄道の仕事)

## ワークシート③

### 将来、地域の鉄道がどうなったら良いか考えよう！

組 \_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

#### (1) 将来、地域の鉄道はどうなったら良いと思う？

たとえば) 鉄道をもっと使いやすくするためには…？

もし、JRの社長になったら？

未来の電車ってどんな電車だろう…？

#### (2) 今日の授業の感想

<制服を着たJRの人のお話を聞いた感想>

<それ以外の授業の感想>

図2-10 ワークシート(将来の鉄道)

(c)実施体制

授業は、主に JR 西日本が実施し、導入（亀岡市）・まとめ（京都府）を行政が担当することとし、実施体制を検討した。また、小学校の先生には授業に参加していただき、作業のサポート等をしていただいた。

以下に実施体制を示す。

表2-4 実施体制(大井小学校)

講師	導入（地域の概況）⇒亀岡市 本編（鉄道の仕事）⇒JR 西日本 まとめ⇒京都府
その他	担任の先生 オリエンタルコンサルタンツ

## (2)川東小学校

### 1)プログラムの概要

地域を支えるバスの役割から、社会のしくみの理解と自分の行動を考えてもらうことを目的として、ノンステップのバス車両を見学し、その工夫点や理由を考えることをコンセプトとした。

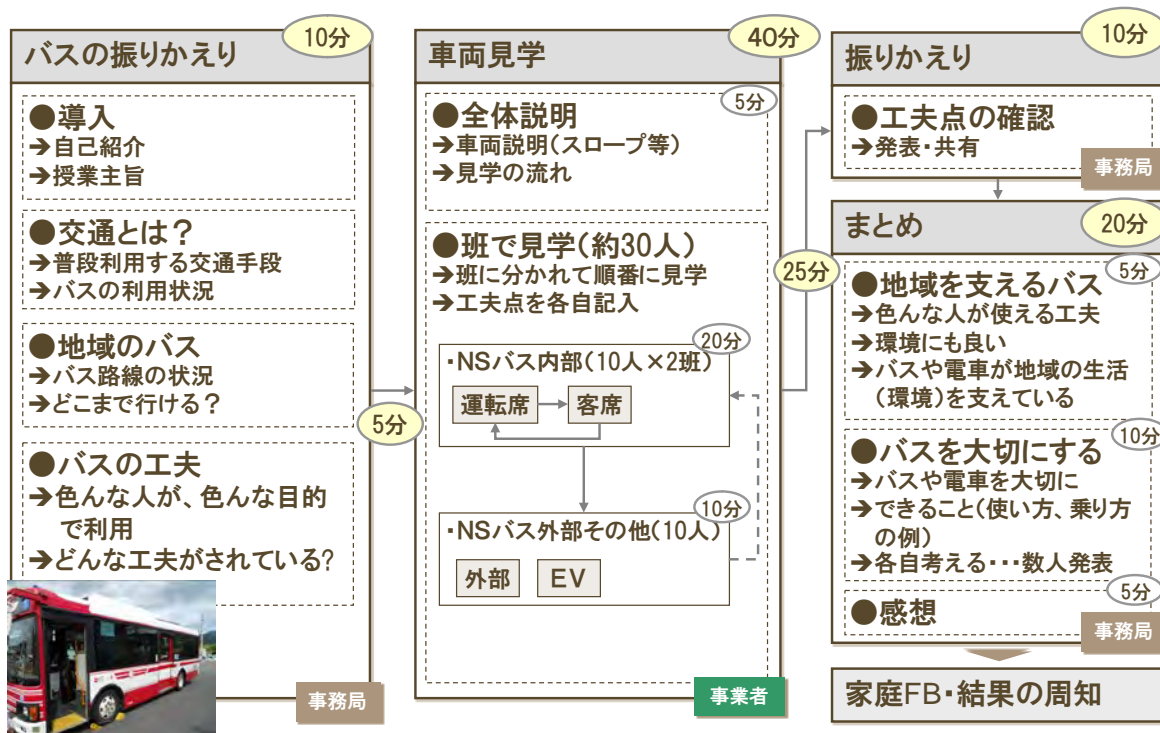


図2-11 授業の流れ(川東小学校)

## 2) プログラムの作成

### (a) 授業説明用スライド

次頁以降に授業説明用スライドを示す。



2012.10  
交通環境学習 in 川東小学校

# 川東を走る バスを知ろう！



## 交通ってなに？

1

みんなが普段利用する乗り物は？

バス



電車



車



自転車



歩き



## 交通ってなに？

2

家族で買物に行く時どの乗り物を使うかな？



## 交通ってなに？

3

バスを使う人は？



# 交通ってなに？

今日はバスについて  
勉強しよう！



# 学校のまわりのバスを知ろう

川東小学校はどこかな？



# 学校のまわりのバスを知ろう

## 千代川駅はどこかな？



# 学校のまわりのバスを知ろう

## 通学でバスを利用している人は？



# 学校のまわりのバスを知ろう

## どこのバス停から乗っているかな？



# バスでどこまで行けるかな？

## 南の方はどこにつながっているかな？



## バスでどこまで行けるかな？

10

亀岡市のバスはどこまで広がっているかな？



## バスでどこまで行けるかな？

11

通学以外で、バスを使ったことがある人？



## バスでどこまで行けるかな？

12

これより遠くには、どんなところに行けるかな？



## バスでどこまで行けるかな？

13

これより遠くには、どんなところに行けるかな？

### ▼東京（品川駅）



## 色々な所に行けるバスをよく知ろう！

14

色々な所に行けるバスは、  
みんなが使いやすいよう  
に工夫がされている！



## 色々な所に行けるバスをよく知ろう！

15

実際に車両を見て、  
気づいたところを  
メモしよう！





## バスの工夫点

16

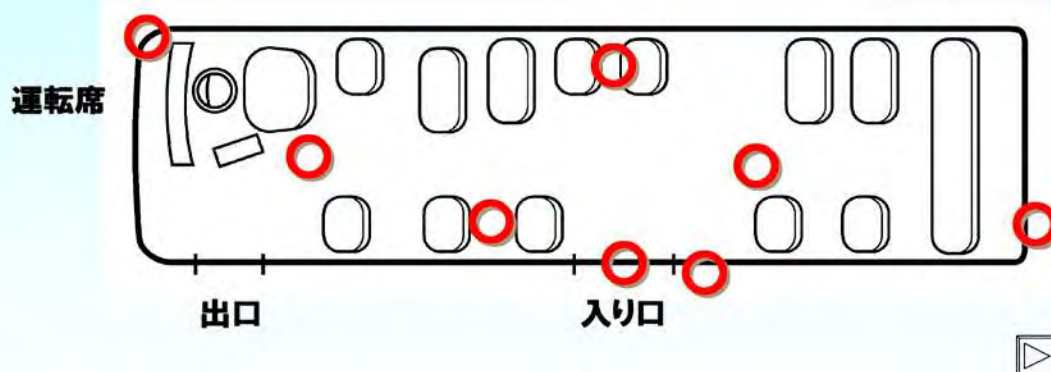
どんな工夫がされていたかな？



## バスの工夫点

17

どんな工夫がされていたかな？



## バスの工夫点

18

どんな工夫がされていたかな？

### ▼入り口のスロープ



車いすの人が  
乗り降りしやす  
いように



## バスの工夫点

19

どんな工夫がされていたかな？

### ▼車いすを固定する器具



車いすやベビーカー  
がバスのゆれで動か  
ないように



## バスの工夫点

20

どんな工夫がされていたかな？

▼優先席



お年寄りや  
体の不自由な人が  
座れるように



## バスの工夫点

21

どんな工夫がされていたかな？

▼立っている人がつかまる棒



バスが急に  
止まったりしても  
転ばないように

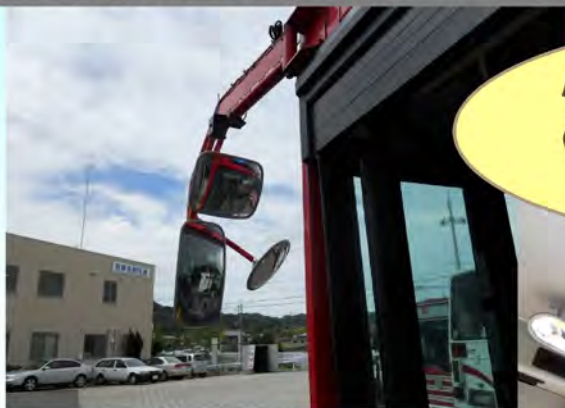


## バスの工夫点

22

どんな工夫がされていたかな？

▼運転席の周りのたくさんのかがみ



バスの周りを歩く人などが運転席からちゃんと見えるように



## バスの工夫点

23

どんな工夫がされていたかな？

▼ドライブレコーダ



事故などがあった時にその状況や原因がわかるように



## バスの工夫点

24

どんな工夫がされていたかな？

▼「乗降中」のサイン



うしろの車の人が  
注意してくれる  
ように



## バスの工夫点

25

どんな工夫がされていたかな？

▼入り口のインターホン



車いすの人などが  
バスに乗らなくても  
運転手さんと話が  
できるように



## バスは人にやさしい

26

色々な人が  
使いやすいように



バスが、地域の  
人たちの生活を  
支えている！



## バスは環境にも良い

27



バスは環境にも  
やさしい！！



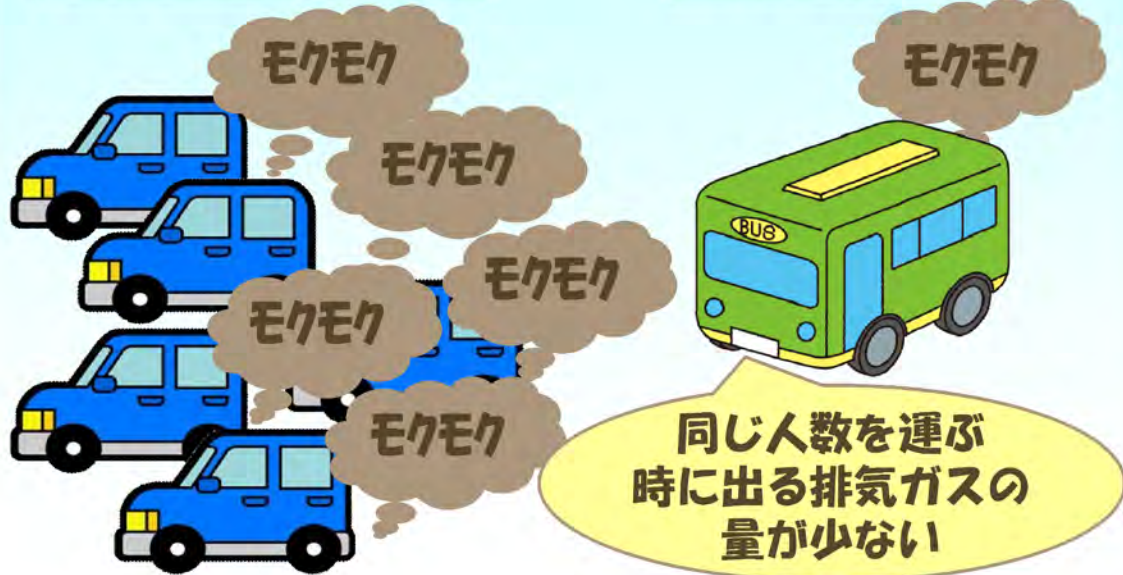
## バスは環境にも良い

28

どうして環境にやさしいのかな？

クルマで10人が移動

バスで10人が移動



## バスは環境にも良い

29

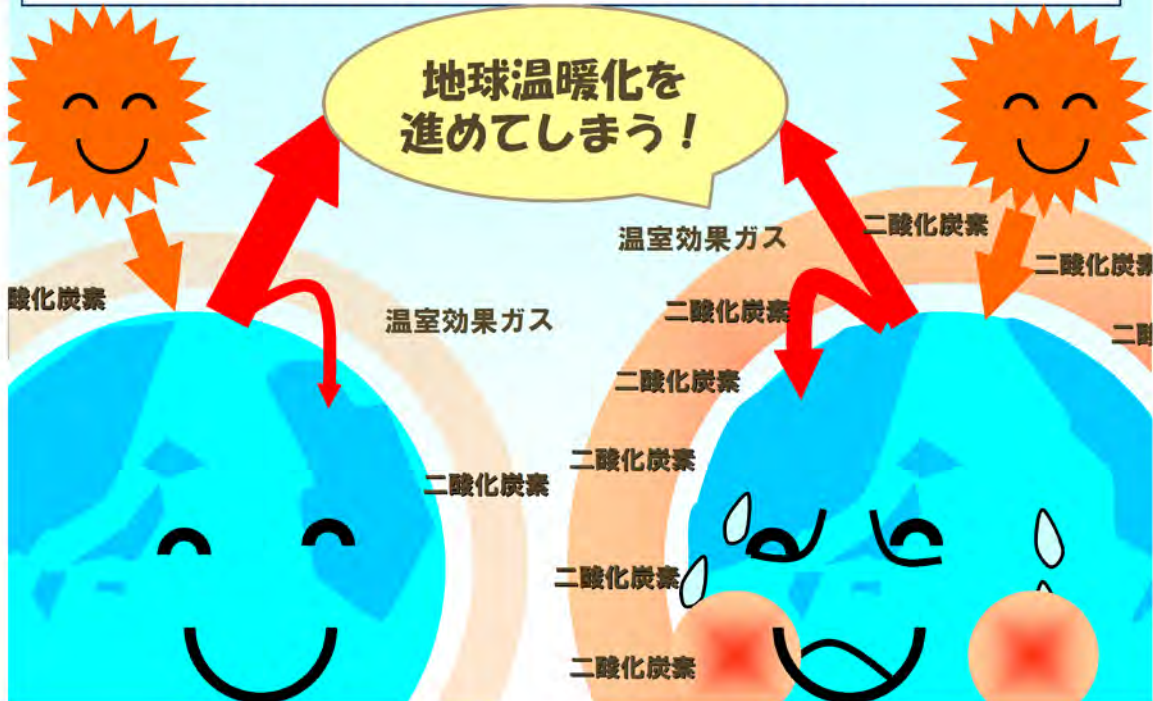
排気ガスはなぜ環境に良くないのかな？



## バスは環境にも良い

30

二酸化炭素がたくさん出るとなぜ良くないのかな？



## バスは環境にも良い

31

バスから出る二酸化炭素の量は、  
クルマと比べてどれくらいかわかるかな？

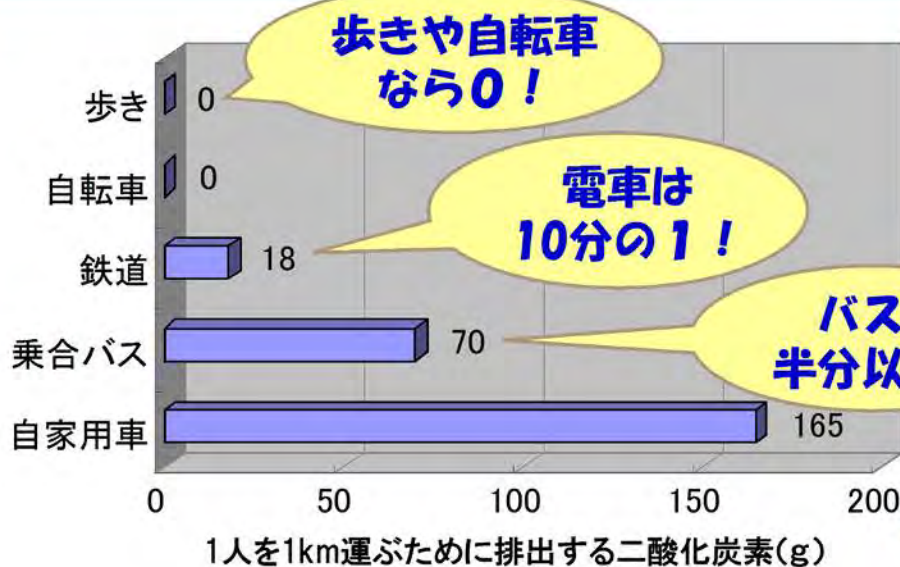
- ① クルマより多い
- ② 同じくらい
- ③ 半分くらい
- ④ 1/10くらい



## バスは環境にも良い

32

バスから出る二酸化炭素の量は、クルマと比べてどれくらいかわかるかな？



## 地域にとって大切なバス

33

だから、地域にとってバスはとても大切！



バスは地域の人たちを支えていて、環境にも優しい



## 地域にとって大切なバス

34

だから、地域にとってバスはとても大切！



もし、バスが無くなったり、使いにくかったら…



## 地域にとって大切なバス

35

だから、地域にとってバスはとても大切！



みんなでバスを大切にしよう！



## バスを大切にしよう

36

どんなことができるかな？

みんなにできることはどんなことか考えてみよう



## バスでどこまで行けるかな？

37

バスを使って行けるところには、  
できるだけバスを使って行ってみよう！



## 鉄道を大切にしよう

38

バスを使って行けるところには、  
できるだけバスを使って行

バスエコファミリー



ふるさとバス

千代川駅



二条駅

15系統



バスエコファミリーで  
大人1人につき  
小学生2人まで  
無料!



河原町への  
お買物もバスと  
鉄道で行こう!

京都駅



205系統

四条河原町



参考：河原町商店街HP

バスエコファミリー

## バスを大切にしよう

39

バスを使うときは、他の人が気持ちよく使  
えるようにしよう

→周りの人たちが、気持ちよく利用で  
きるよう、騒いだり・うるさくしな  
いようにしよう!

→お年寄りや妊婦さん、体が不自由な  
人が乗ってきたら席をゆずろう!



その他にもできることがないかな？

- その他に、**バスを大切にするためにできること、バスで行ってみようと思う場所**などを考えてみよう。
- それぞれ、**思いついたことを書いてみて下さい。**



(b) ワークシート

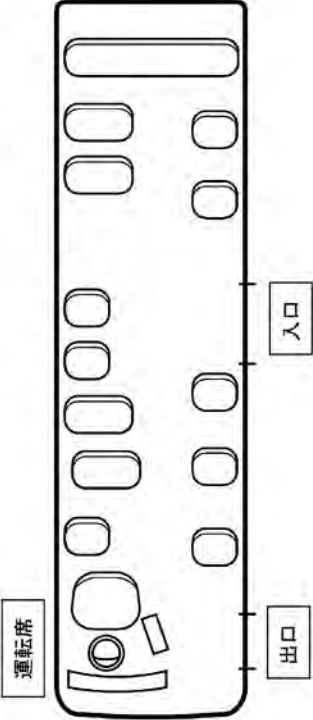
<h3>バスの工夫点を見てみよう！！</h3>	
組 _____ 番 _____ 氏名 _____	
<p>(1) バスの車両を見て、気づいた工夫点を記入してみよう</p>	
 <p>The diagram shows a top-down view of a bus interior. On the left side, there is a rectangular box labeled '運転席' (Driver's seat) containing a steering wheel and a seat. The rest of the bus is filled with rows of oval-shaped seats. At the bottom of the bus, there are two rectangular boxes labeled '出口' (Exit) on the left and '入口' (Entrance) on the right, representing the front and rear doors.</p>	
<p>&lt;バスを見たり、運転手さんの説明を聞いた感想&gt;</p>	

図2-12 ワークシート(表)

**(2) 今日の授業を聞いて、やってみようと思うこと、気をつけること、感想**

<自分たちに出来ること>

<今日の授業の感想>

図2-13 ワークシート(裏)

(c)実施体制

バス見学の部分は京阪京都交通、その他の説明部分は主に亀岡市（地域の概況、バス路線）、京都府（バスのよいところと実践）が講師を担当することとし、実施体制を検討した。また、小学校の先生には授業に参加していただき、作業のサポート等をしていただいた。

以下に実施体制を示す。

表2-5 実施体制(川東小学校)

講師	導入（地域の概況）⇒亀岡市 バス見学 ⇒京阪京都交通 まとめ⇒京都府
その他	担任の先生 オリエンタルコンサルタンツ



### (3) 成仁小学校

#### 1) プログラムの概要

地域を支えるバスの役割から、社会のしくみの理解と自分の行動を考えてもらうことを目的として、ノンステップのバス車両を見学し、その工夫点や理由を考えることをコンセプトとした。

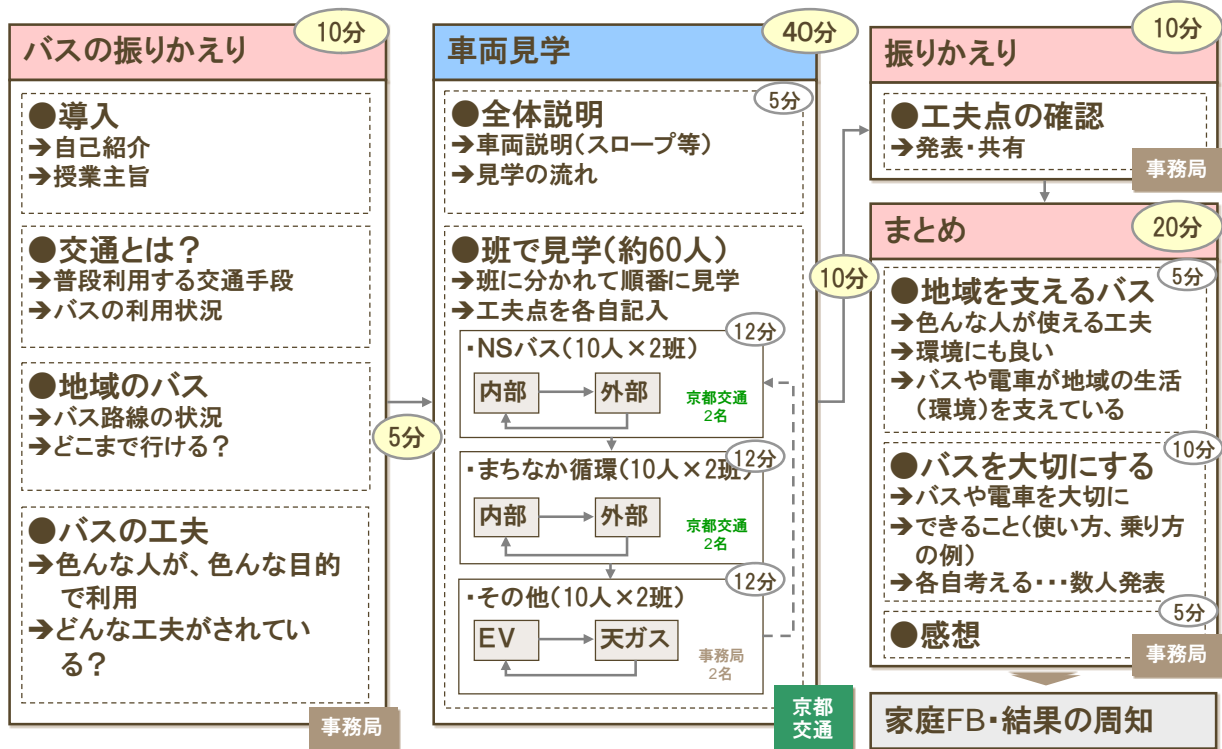


図2-14 授業の概要(成仁小学校)

## 2) プログラムの作成

### (a) 授業用説明スライド

次頁以降に授業説明用スライドを示す。

2012.10

交通環境学習 in 成仁小学校

# 中坂町を走る バスを知ろう！



## 交通ってなに？

1

みんなが普段利用する乗り物は？

バス



電車



車



自転車



歩き



## 交通ってなに？

2

家族で買物に行く時どの乗り物を使うかな？



## 交通ってなに？

3

バスを使う人は？



## 交通ってなに？

4

今日はバスについて  
勉強しよう！



## 学校のまわりのバスを知ろう

5

成仁小学校はどこかな？



## 学校のまわりのバスを知ろう

6

福知山駅はどこかな？



## 学校のまわりのバスを知ろう

7

バスを利用したことがある人は？



## バスでどこまで行けるかな？

8

これより遠くには、どんなところに行けるかな？



## バスでどこまで行けるかな？

9

福知山市にはどんなバスが走ってるのかな？



## バスでどこまで行けるかな？

10

このバスに乗ったことある？



## バスでどこまで行けるかな？

11

福知山市にはどんなバスが走ってるのかな？





## バスでどこまで行けるかな？

12

このバスに乗ったことある？



## バスでどこまで行けるかな？

13

福知山市にはどんなバスが走ってるのかな？



## バスでどこまで行けるかな？

14

このバスに乗ったことある？



## バスでどこまで行けるかな？

15

福知山市にはどんなバスが走ってるのかな？



## バスでどこまで行けるかな？

16

このバスに乗ったことある？



## バスでどこまで行けるかな？

17

福知山市にはどんなバスが走ってるのかな？



## バスでどこまで行けるかな？

18

このバスに乗ったことある？



## バスでどこまで行けるかな？

19

これより遠くには、どんなところに行けるかな？



## 色々な所に行けるバスをよく知ろう！

20

色々な所に行けるバスは、  
みんなが使いやすいよう  
に工夫がされている！



## 色々な所に行けるバスをよく知ろう！

21

実際に車両を見て、  
気づいたところを  
メモしよう！



## バスの工夫点

22

どんな工夫がされていたかな？



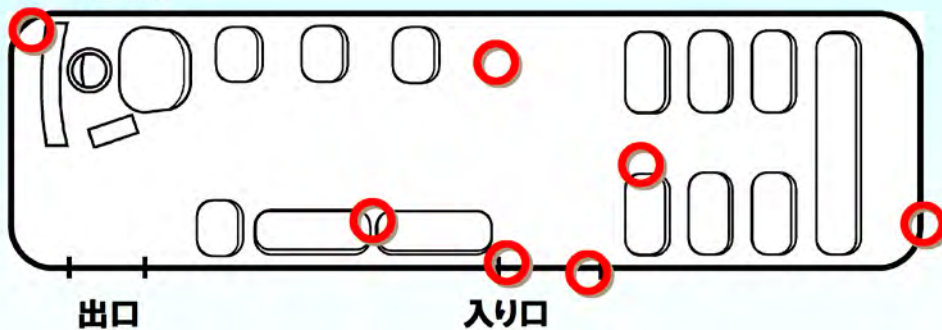
## バスの工夫点

23

どんな工夫がされていたかな？



運転席



## バスの工夫点

24

どんな工夫がされていたかな？

▼入り口のスロープ



## バスの工夫点

25

どんな工夫がされていたかな？

▼車いすを固定する器具



## バスの工夫点

26

どんな工夫がされていたかな？

▼優先席



お年寄りや  
体の不自由な人が  
座れるように



## バスの工夫点

27

どんな工夫がされていたかな？

▼立っている人がつかまる棒



バスが急に  
止まったりしても  
転ばないように





## バスの工夫点

28

どんな工夫がされていたかな？

▼運転席の周りのたくさんのかがみ



## バスの工夫点

29

どんな工夫がされていたかな？

▼「乗降中」のサイン



## バスの工夫点

30

どんな工夫がされていたかな？

▼入り口のインターホン



車いすの人などが  
バスに乗らなくても  
運転手さんと話が  
できるように

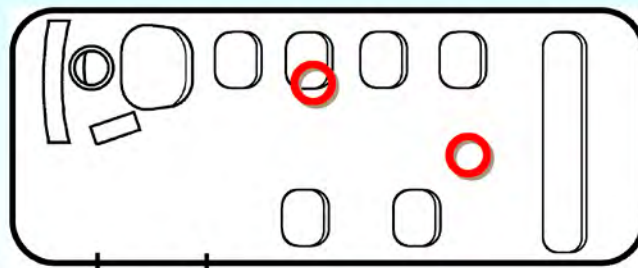


## バスの工夫点

どんな工夫がされていたかな？



運転席



出入口



## バスの工夫点

どんな工夫がされていたかな？

▼車いすを固定する器具



車いすやベビーカー  
がバスのゆれで動か  
ないように



## バスの工夫点

どんな工夫がされていたかな？

▼立っている人がつかまる棒



バスが急に  
止まったりしても  
転ばないように



## バスの工夫点

34

バスにはたくさんの工夫があった！



## バスの工夫点

35

ききょうの杜っておぼえてる？



## バスの工夫点

36

バスが、地域の  
人たちの生活を  
支えている！



## バスは環境にも良い

37



バスは環境にも  
やさしい！！



## バスは環境にも良い

38

どうして環境にやさしいのかな？

クルマで10人が移動



バスで10人が移動



## バスは環境にも良い

39

排気ガスはなぜ環境に良くないのかな？

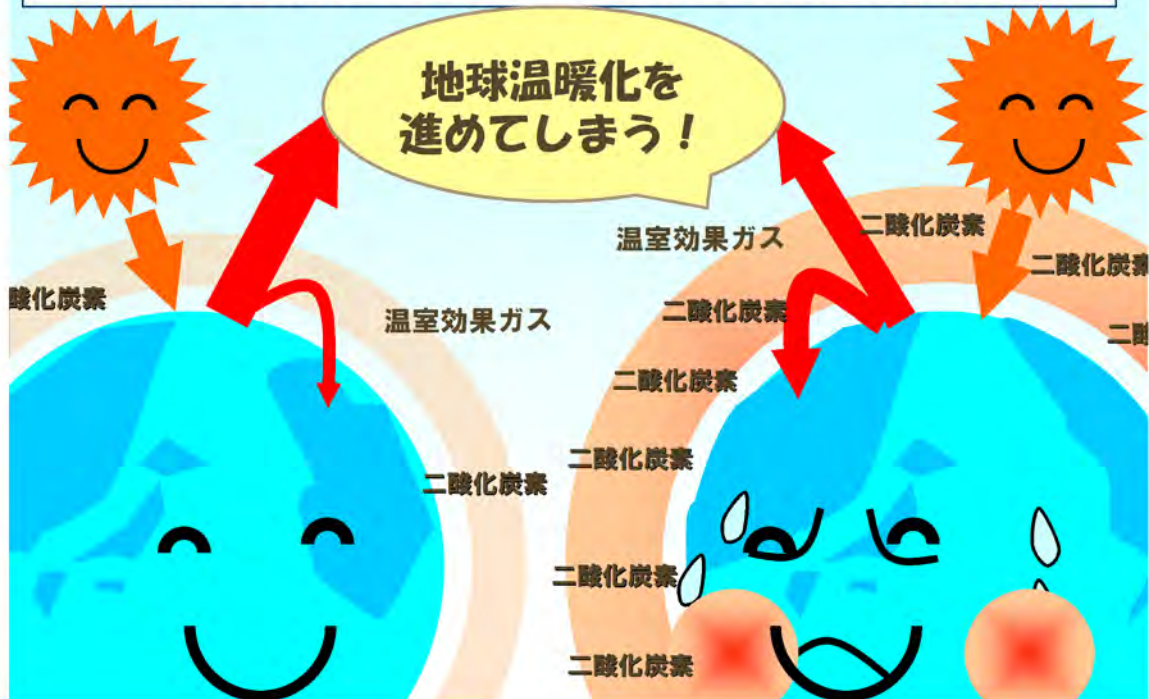


排気ガスには、  
**二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)** が  
たくさん含まれていて  
地球全体の環境問題の  
原因に...

## バスは環境にも良い

40

二酸化炭素がたくさん出るとなぜ良くないのかな？



## バスは環境にも良い

41

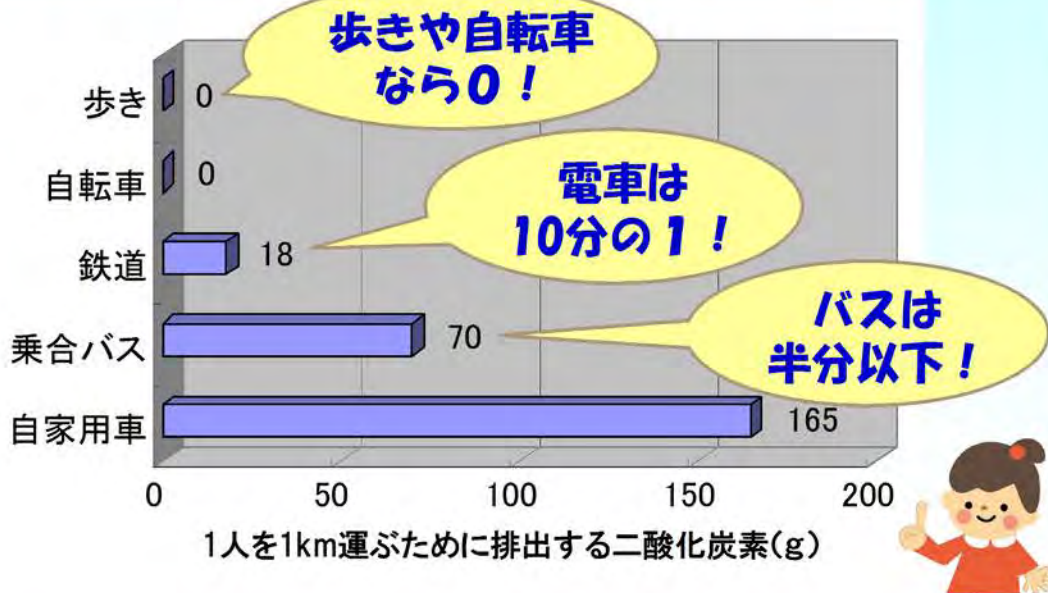
バスから出る二酸化炭素の量は、  
クルマと比べてどれくらいかわかるかな？

- ① クルマより多い
- ② 同じくらい
- ③ 半分くらい
- ④ 1/10くらい

## バスは環境にも良い

42

バスから出る二酸化炭素の量は、クルマと比べてどれくらいかわかるかな？



## 地域にとって大切なバス

43

だから、地域にとってバスはとても大切！



バスは地域の人たちを支えていて、環境にも優しい





## 地域にとって大切なバス

44

だから、地域にとってバスはとても大切！



## 地域にとって大切なバス

45

だから、地域にとってバスはとても大切！



## バスを大切にしよう

46

どんなことができるかな？

みんなにできることはど  
んなことか考えてみよう



## 鉄道を大切にしよう

47

バスを使って行けるところには、  
できるだけバスを使って行

バスエコファミリー



## バスを大切にしよう

48

バスを使うときは、他の人が**気持ちよく**使えるようにしよう

→周りの人たちが、**気持ちよく**利用できるよう、騒いだり・うるさくしないようにしよう！

→お年寄りや妊婦さん、体が不自由な人が乗ってきたら**席をゆずろう**！



## バスを大切にしよう

49

その他にもできることがないかな？

- その他に、**バスを大切に**するために**できること**、**バスで行ってみよう**と思う**場所**などを考えてみよう。
- それぞれ、**思いついたこと**を書いてみて下さい。

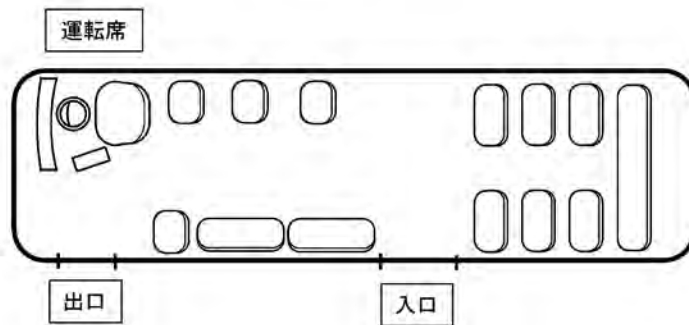


(b) ワークシート

### バスの工夫点を見てみよう！！

組 \_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

(1) ノンステップバスの車両を見て、気づいた工夫点を記入してみよう



(2) まちなか循環バスの車両を見て、気づいた工夫点を記入してみよう

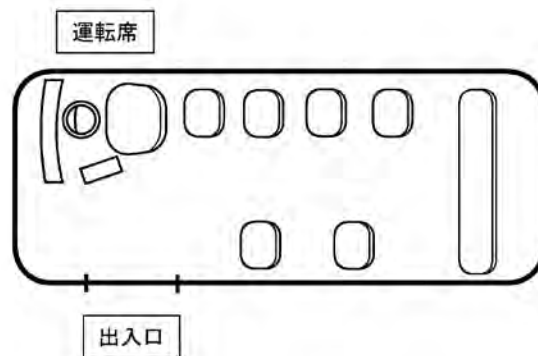


図2-15 ワークシート(表)

**(3) EV車（電気自動車）や天然ガス自動車を見て、わかったこと、気づいたこと**

**(4) バスを見たり、運転手さんの説明を聞いた感想**

**(5) 今日の授業を聞いて、やってみようと思うこと、気をつけること、感想**

<自分たちに出来ること>

<今日の授業の感想>

図2-16 ワークシート(裏)

(c)実施体制

バス見学の部分は京都交通、その他の説明部分は主に福知山市（地域の概況、バス路線）、京都府（バスのよいところと実践）が講師を担当することとし、実施体制を検討した。また、小学校の先生には授業に参加していただき、作業のサポート等をしていただいた。

以下に実施体制を示す。

表2-6 実施体制(成仁小学校)

講師	導入（地域の概況）⇒福知山市 バス見学⇒京都交通 まとめ⇒京都府
その他	担任の先生 オリエンタルコンサルタンツ

## 2-3-2 家庭へのフィードバックおよび体験学習の検討

### (1) 目的・ねらい

実践を通じて理解を深めるため、以下のコンセプトでフィードバック（チラシ配布）および、宿題を実施した。

- 授業の結果を親にも伝え、家族での実践を促す
- 利用した交通手段について再度考える機会とする

### (2) ツールの作成

#### 1) フィードバックシート

授業結果を踏まえて、以下のような構成でフィードバックシートを作成した。

表2-7 フィードバックシートの内容

	項目	主旨（素材）
授業の報告	授業の概要	・ 構成、趣旨を説明
	授業の様子	・ 授業実施状況がイメージできる写真を掲載
	結果・効果	・ 子どもの感想から理解した内容等を整理
実践の後押し	実践の後押し	・ 家庭での宿題の実施、実際の利用を促すメッセージを記載

平成24年  
10月4日

## 亀岡市を走る鉄道について勉強しました!!

運転手さんのお話を聞き、多くの方が鉄道を支えていることを学びました!

- 鉄道の運転手さんのお話を聞き、鉄道を走らせるためには様々な仕事が必要で、鉄道が多くの人に支えられていることが分かりました。
- また、鉄道は車に比べCO<sub>2</sub>の排出量が少ないなど環境にもやさしいことを学びました。
- 多くの人に支えられ環境にもやさしい鉄道を、自分たちも大切にするためにできることを考えました。



### ▼鉄道の授業の様子



今回の授業では、JR西日本の方が鉄道を支えるお仕事について説明してくれました!



### ▼授業で分かったこと・感想

#### ■鉄道の運転手さんのお話を聞いて

- ・多くの仕事があり、どれもフレッシュな仕事で大変だと思った。
- ・電車を動かすには駅員さんたちだけではなく、電車を点検したり修理したり、電気の仕事をしている人たちといった、私たちの知らないところでがんばってくれる人がいたんだなと思いました。
- ・駅員さんの仕事はこんなにいっぱいあったとは知らなかったのでびっくりした。夜でも呼び出されるのは大変だなと思いました。
- ・地球や私たちのことまで考えて電車を作っていたのでびっくりした。

#### ■鉄道を大切にするためにできること

- ・鉄道はすごく長い距離を走っているからもっと乗りたいし、鉄道は作るのも動かすのも大変だからもっときれいに乗ってきれいな電車を残したい。
- ・鉄道がより早く次の駅に着くために工夫されていることが分かったし、昔と今を比べて電車がどれだけ便利になったかも分かったので、傷つけないように使いたいと思った。
- ・できるだけ電車で移動して二酸化炭素をあまり出さないようにしたいと思いました。
- ・鉄道を支えている人たちがいっぱいいるので鉄道を大切にしたい。

### ご家庭でも鉄道について考えてみてください。

- この秋の行楽等ご家庭でのお出かけに、よろしければ鉄道を利用してみてください。また、その際、お子さんの知らない鉄道のお仕事を一緒に探してみてください。
- また、宿題シートの裏に保護者様向けのアンケートがありますのでご回答をよろしくお願いいたします。

図2-17 フィードバックシート(大井小学校)



平成24年  
9月27日

## 川東を走るバスについて勉強しました!!

バス車両を見学し、バスが地域を支えていることを学びました!

- 実際のバス車両を見学し、バスが高齢者や障がいのある人などが安心して使うことができるように様々な工夫がされており、人にやさしい乗り物であることを学びました。
- また、バスは車に比べCO<sub>2</sub>の排出量が少ないなど環境にもやさしいことを学びました。
- 地域を支えているバスを大切にするためにできることを考えました。



### ▼バス見学の様子



### ▼授業で分かったこと・感想

#### ■バスの運転手さんのお話を聞いて

- ・お年寄りや体の不自由な人のために段差をなくしたり、他にも知らなかったことをたくさん知れてよかったです。
- ・運転手さんがミラーを使って安全確認をされていてすごと思いました。
- ・今日の授業で今まで知らなかったことや不思議に思っていたこと、普段では体験できないことを教えてもらったり、実際に体験させてもらってよかった。

#### ■バスを大切にするためにできること

- ・もし、バスが無かったら通学の時に歩いて学校まで行くのはつらいです。買い物に行くときはなるべくバスで行きたいです。
- ・バスに乗っていて車イスの人やお年寄りが乗ろうとしているときには助けてあげたい。
- ・私はこの話を聞いてちょっとバスの仕事をやってみたいなと思いました。

### ご家庭でもバスについて考えてみてください。

- この秋の行楽等ご家庭でのお出かけに、よろしければバスを利用してみてください。また、その際、子どもが授業で見つけられなかったバスの工夫点を一緒に探してみてください。
- また、宿題シートの裏に保護者様向けのアンケートがありますのでご回答をよろしくお願いいたします。

※京都府では、11月の土・日・祝日にご家族と一緒にバス利用すると、子どもの料金が無料になる「バス・エコファミリー」を実施します。ご家庭でのお出かけにご活用ください。



図2-18 フィードバックシート(川東小学校)

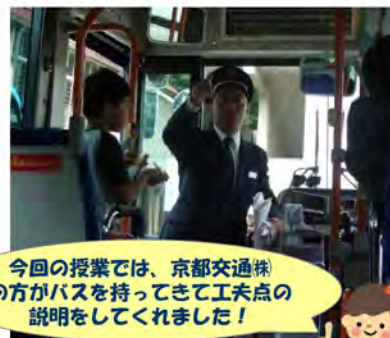
平成24年  
10月5日

## 福知山市を走るバスについて勉強しました!!

バス車両を見学し、バスが地域を支えていることを学びました!

- 実際のバス車両を見学し、バスが高齢者や障がいのある人などが安心して使うことができるように様々な工夫がされており、人にやさしい乗り物であることを学びました。
- また、バスは車に比べCO<sub>2</sub>の排出量が少ないなど環境にもやさしいことを学びました。
- 地域を支えているバスを大切にするためにできることを考えました。

### ▼バス見学の様子



今回の授業では、京都交通様の方がバスを持ってきて工夫点の説明してくれました!

### ▼授業で分かったこと・感想

#### ■バスの運転手さんのお話を聞いて

- ・オレンジの棒は目立つ色で、いざというときにつかめるようになっていてすごいと思いました。
- ・車イスの人もらくらく乗れるように、入り口も段が無くていいのを知ってすごいと思った。
- ・バスは環境にもやさしいし、バリアフリーも施されていてすごいと思いました。
- ・バスの外側やバスの中で色々なことを知ったので家に帰ってからお父さんとかお母さんに言えるようにしたい。
- ・バスは、環境に悪いと思ってたけど、意外とそうじゃなかったのが良かったです。私たちのこれからの未来を大切にしてくれてありがとうございます。

#### ■バスを大切にするためにできること

- ・バスに乗るときは、なるべく奥の方に乗り、お年寄りやケガをしている人に優先座席に乗ってもらい、たくさんの人で乗れないときはゆずってあげる。
- ・出来るだけ自動車よりもバスを使ってどこかへ行くほうが良いなと思いました。
- ・バスを大切にするため席をゆずってあげたり、うるさくせず静かにしようと思いました。

### ご家庭でもバスについて考えてみてください。

- この秋の行楽等ご家庭でのお出かけに、よろしければバスを利用してみてください。また、その際、子どもが授業で見つけられなかったバスの工夫点を一緒に探してみてください。
- また、宿題シートの裏に保護者様向けのアンケートがありますのでご回答をよろしくお願い致します。

※京都府では、11月の土・日・祝日にご家族と一緒にバス利用すると、子どもの料金が無料になる「バス・エコファミリー」を実施します。ご家庭でのお出かけにご活用ください。



図2-19 フィードバックシート(成仁小学校)

## 2)宿題シート

授業を振り返り理解を深めるため、以下のような宿題シートを作成した。

**表2-8 宿題シートの内容**

	内容
授業の振り返り	・ 授業で提示した内容のおさらいをする問題
実践・理解を深める	・ 授業では出てこなかった内容の問題 （親と考えることを促す） ・ バスや電車を利用して再度考えてもらう問題




宿題シート

地域を支える鉄道のお仕事についてお家の人と一緒に考えよう！

\_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

- 交通環境学習で電車の運転手のお話を聞いて学んだことを復習しましょう！
- 鉄道を支えるお仕事にはどんなものがあったか、何のためにするお仕事だったかを思い出してみよう！
- 鉄道に乗ってみて、他にはどんなお仕事があるかを家の人と一緒に探してみよう！

(1) いろいろな人が安全に利用できるようにするため、鉄道にはどんなお仕事があったか思い出してみよう！

	どんなお仕事があったかな？	いつ、何のためにするお仕事かな？
		→
		→
		→
		→
		→
		→
		→
		→

(2) 鉄道を支えるために、他にどんなお仕事があるかを考えてみよう！ ※お家の人と一緒に考えよう

① これは何のお仕事かな？



② 鉄道に乗って、他にどんなお仕事があるか探してみよう！

また、みんなが鉄道をもっと安全で便利に使えるようにするために、どうしたらいいかも考えてみよう！

図2-20 宿題シート(大井小学校)

宿題シート

地域を支えるバスの工夫についてお家の人と一緒に考えよう！

番 氏名 \_\_\_\_\_

●交通環境学習でバスを見学して学んだことを復習しましょう！

→見学したバスにはどんな工夫があったか、何のための工夫だったかを思い出してみよう！

→バスに乗ってみて、バスにどんな工夫点があるかをお家の人と一緒に考えてみよう！

(1) いろいろな人が安全に利用できるようにするためにバスにはどんな工夫があったか思い出してみよう！

	どんな工夫があったかな？	なぜ、そうなっているのかな？
		→
		→
		→
		→
		→
		→
		→

(2) バスには他にどんな工夫があるかを考えてみよう！

※お家の人と一緒に考えよう

① バスのハンドルはどうしてこんなに大きいんだろう？



② バスに乗って、他にどんな工夫があるか探してみよう！

また、みんながバスをもっと安全で便利に使えるようにするために、どうしたらいいかも考えてみよう！

図2-21 宿題シート(川東小学校)




**宿題シート**

**地域を支えるバスの工夫についてお家の人と一緒に考えよう！**

\_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

- 交通環境学習でバスを見学して学んだことを復習しましょう！
- 見学したバスにはどんな工夫があったか、何のための工夫だったかを思い出してみよう！
- バスに乗ってみて、バスにどんな工夫点があるかをお家の人と一緒に考えてみよう！

**(1) いろいろな人が安全に利用できるようにするためにバスにはどんな工夫があったか思い出してみよう！**

	どんな工夫があったかな？	なぜ、そうなっているのかな？
		→
		→
		→
		→
		→
		→
		→
		→

**(2) バスについてお家の人と一緒に考えてみよう！** ※できれば実際にバスで出かけて考えよう

① バスのハンドルはどうしてこんなに大きいんだろう？



② みんながバスをもっと安全で便利に使えるようにするために、どうしたらいいか考えてみよう！

図2-22 宿題シート(成仁小学校)

### 3. MM教育の実施

#### 3-1 授業の実施

##### (1)大井小学校

###### 1)実施状況

平成 24 年 10 月 4 日（木）に大井小学校での授業を実施した。

以下に授業の実施状況を示す。



図3-1 授業の実施状況

## 2)実施結果

授業時の児童の主な感想・コメントを以下に示す。

表3-1 授業の主な感想

	児童の主な感想
鉄道の運転手さんのお話を聞いて	<ul style="list-style-type: none"><li>• 多くの仕事があり、どれもプレッシャーな仕事で大変だと思った。</li><li>• 電車を動かすには駅員さんたちだけではなくて、電車を点検したり修理したり、電気の仕事をしている人たちといった、私たちの知らないところでがんばってくれる人がいたんだなと思いました。</li><li>• 駅員さんの仕事はこんなにいっぱいあったとは知らなかったのでびっくりした。夜でも呼び出されるのは大変だなと思いました。</li><li>• 地球や私たちのことまで考えて電車を作っていたのでびっくりした。</li></ul>
鉄道を大切にすることのためにできること	<ul style="list-style-type: none"><li>• 鉄道はすごく長い距離を走っているからもっと乗りたいし、鉄道は作るのも動かすのも大変だからもっときれいに乗ってきれいな電車を残したい。</li><li>• 鉄道がより早く次の駅に着くために工夫されていることが分かったし、昔と今を比べて電車がどれだけ便利になったかも分かったので、傷つけないように使いたいと思った。</li><li>• できるだけ電車で移動して二酸化炭素をあまり出さないようにしたいと思いました。</li><li>• 鉄道を支えている人たちがいっぱいいるので鉄道を大切にしたい。</li></ul>



## (2)川東小学校

### 1)実施状況

平成 24 年 9 月 27 日（木）に川東小学校での授業を実施した。  
以下に授業の実施状況を示す。



図3-2 授業の実施状況

## 2)実施結果

授業時の児童の主な感想・コメントを以下に示す。

表3-2 授業の主な感想

	児童の感想
バスの運転手さんのお話を聞いて	<ul style="list-style-type: none"><li>• お年寄りや体の不自由な人のために段差をなくしたり、他にも知らなかったことをたくさん知れてよかったです。</li><li>• 運転手さんがミラーを使って安全確認をされていてすごいと思いました。</li><li>• 今日の授業で今まで知らなかったことや不思議に思っていたこと、普段では体験できないことを教えてもらったり、実際に体験させてもらってよかった。</li></ul>
バスを大切にすることのためにできること	<ul style="list-style-type: none"><li>• もし、バスが無かったら通学の時に歩いて学校まで行くのはつらいです。買い物に行くときはなるべくバスで行きたいです。</li><li>• バスに乗っていて車イスの人やお年寄りが乗ろうとしているときには助けてあげたい。</li><li>• 私はこの話を聞いてちょっとバスの仕事をやってみたいなと思いました。</li></ul>

### (3) 成仁小学校

#### 1) 実施状況

平成 24 年 10 月 5 日（金）に成仁小学校での授業を実施した。  
以下に授業の実施状況を示す。



図3-3 授業の実施状況

## 2)実施結果

授業時の児童の主な感想・コメントを以下に示す。

表3-3 授業の主な感想

	児童の感想
バスの運転手さんのお話を聞いて	<ul style="list-style-type: none"><li>・オレンジの棒は目立つ色で、いざというときにつかめるようになっていてすごいと思いました。</li><li>・車イスの人もらくらく乗れるように、入り口も段が無くできるのを知ってすごいと思った。</li><li>・バスは環境にもやさしいし、バリアフリーも施されていてすごいと思いました。</li><li>・バスの外側やバスの中で色々なことを知ったので家に帰ってからお父さんとかお母さんに言えるようにしたい。</li><li>・バスは、環境に悪いと思ってたけど、意外とそうじゃなかったのが良かったです。私たちのこれからの未来を大切にしてくれてありがとうございます。</li></ul>
バスを大切にすることのためにできること	<ul style="list-style-type: none"><li>・バスに乗るときは、なるべく奥の方に乗り、お年寄りやケガをしている人に優先座席に乗ってもらい、たくさんの人で乗れないときはゆずってあげる。</li><li>・出来るだけ自動車よりもバスを使ってどこかへ行くほうが良いなと思いました。</li><li>・バスを大切にするため席をゆずってあげたり、うるさくせず静かにしようと思いました。</li></ul>

#### (4) 寺田西小学校

平成 25 年 3 月 14 日（木）に寺田西小学校での授業を実施した。  
以下に授業の実施状況を示す。

##### ■ 体験乗車



##### ■ 交通すごろく出前授業



図3-4 授業の実施状況

### 3-2 フィードバック・体験学習の実施

#### (1)実施概要

10月の授業実施後、『バス・エコファミリー(※大人1人につき小学生以下2名までの運賃が無料になる取り組み)』の実施タイミングを活用して、実際に鉄道やバスを体験し、学習効果を高めるとともに、親への啓発を行うことを目的として、授業内容の家庭へのフィードバック、児童への宿題を実施した。

表3-4 フィードバック・体験学習の実施概要

実施時期		平成24年11月～12月
宿題の 回収状況	大井小学校	配布 100枚／回収 60
	川東小学校	配布 60枚／回収 17
	成仁小学校	配布 30枚／回収 19

## (2)宿題の実施結果

以下に宿題の主な項目について実施結果を示す。

### 1)大井小学校

#### (a)他にどんなお仕事があるか探してみよう

- 車いすの板をしく、切符の検査、忘れ物の管理など、授業では取り上げなかった仕事も拳がっている。

- 時間通りに行けるように、時刻表を作っている人がいる。
- 時間通りに次の駅に到着するようにする。
- お客さんが気持ちよく駅や車内のトイレを使えるように掃除している。
- 電車について何かないか車両点検をする。
- 運転手は安全確認をしながら乗っている。
- 電車がホームに出入りする時、ホームにいる駅員さんは安全確認をしている。
- 体が不自由な人の手助けをしている。
- 車掌さんが電車の中を見回っている。
- 駅では、列車の扉に挟まれている人がいないか駅員さんが確認してくれる時もある。
- 車いすに乗っている人が列車から降りる所には、駅員さんが来てくれて、電車とホームの間に車いすのタイヤが落ちないように、板を敷いてくれる。
- 車いすの人の手助けをする。(スロープを出してつける。)
- 長距離の時に切符を調べる仕事がある。
- 新幹線の車掌さんは、切符を見る。
- 切符を渡したら受けとってハンコを押してくれるお仕事があった。
- 電車の連結作業。
- 車内でのアナウンス
- お弁当などが売られている。
- 忘れ物の管理。

(b) もっと安全で便利に使えるようにするために、どうしたら良いか考えてみよう

- |                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ホームドアを付ける、安全確認をする等、安全に関する工夫や席を増やす等の利便性に関する意見が多い。</li><li>・気持ちよく使えるようにルールを守る、きれいに乗る等の自分ができること（乗り方に関する意見）も多々挙げられている。</li></ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(乗り方に関する意見)

- ・電車に乗って飲んだジュースやゴミを持って降りる。
- ・線路内にゴミを捨てたり、ホームなどに落書きとかをしなかったらその駅を利用する人が気持ちよく使える。
- ・マナーを守ってきれいに乗る。
- ・大切に使う。
- ・鉄道で働いている人たちだけでなく使う人も、電車内でのルールをしっかり守ったら、鉄道を使う人も、気持ちよく使えて便利になると思う。
- ・みんなが安全に使うためには、電車を傷つけないようにしたり、電車の中で騒いだり、大きな声でしゃべらないようにする。
- ・他の客や駅員に迷惑をかけないように、携帯電話を使ったりしないようにする。
- ・踏切は、電車が来ないかちゃんと見て渡る。（みんなが協力して安全に電車が走れるようにする。）
- ・出る人が先に出て、入る人があとに入る。
- ・自分も黄色ぶつぶつまで下がることとかを気を付けたりする。
- ・電車が来る前は、ホームから線路に落ちてしまうかもしれないから危ない。
- ・駆け込み乗車をしない。
- ・駅のホームで暴れたり遊んだりしない。
- ・電車をいっぱい使うこと。
- ・お年寄りの人に席を譲ってあげる。

(サービスレベルに関する意見)

- ・障害者の人も気軽に鉄道に乗るために、障害者に合わせた電車を作れば良いと思う。
- ・電車の本数を増やして、乗る時などに障害を持っている人も楽に乗れるようにしたら良いと思う。
- ・時刻表を拡大して貼ったら良いと思う。
- ・車両とホームの間（すきま）を少なくする。
- ・車両とホームの段差をなくす。
- ・階段を減らす（スロープを増やす）。
- ・お年寄りでも使いやすい（いすを増やす、車いすを置く、手すりを付けるなど）ようにする。
- ・字を大きくする。
- ・脱線とかしない電車。
- ・走らせる台数を少なくして速度をゆっくりにして走らせる。



- 壁（線路の横の）にセンサーが付いていて、電車から 300m 離れたところで、落ちたり動くものがあれば、電車のスピードを落としていく。
- 事故などが起こらないようにしたりする。
- アナウンスで耳につきやすいよう、鼻声で言う。
- 整備点検をする。
- CO<sub>2</sub>がなくなる鉄道や、人をひいてもすごく傷を受けないような鉄道を作るといいと思いました。
- ホームに落ちないような工夫。
- ホームドアを付ける。
- 安全確認をしっかりし、子供も安全にする。
- レールに人が落ちても感知する自動緊急停止ボタンがあるといいと思う。
- 安全で便利に使えるには、常に安全確認をする。
- 運転・安全確認・ドアの開け閉め・車いすの人のためのバリアフリー・踏切の事故を防ぐために地下・高架にする。
- 電車と駅をもっと大きくして、全員が座れるようにしたらいい。
- いろいろな人に使ってもらえるように座るいすを工夫する。
- みんなのためにもうちょっと新しい電車ができてほしいです。
- もっと乗る人の数が多くなるためには、車両を1つ2つ増やしたら、今よりもたくさんの人が乗れると思う。
- 座る所を増やしてほしい。
- 何日間無料券とか、楽しいイベントとかをして、使いたいと思われるのに作ったらいい。
- チラシを作って「乗って下さーい」って配る。
- 鉄道をもっと多く作って、人々が近くなったりお金を安くすればいいと思う。
- みんなに呼び掛けたりして、「少しでも協力してください」というような感じのことを言ったらいいと思いました。
- 駅の量を増やし、自分の家に早くつけるようにする。
- 排出ガスが出ず、もっと遠くまでいける電車
- 環境のことを考えて、環境に優しい電車を作っていくと地球がよくなったりするからそうしていったらいい。
- お客様の安全を考えて、お客様の目に届く所に災害グッズを置いておく。
- ゴミの片付けなどの電車の中の掃除をする。
- 電車の電気、エンジンを大事に使う。
- 座席などの予約をパソコンで全てできるようにする。

## 2)川東小学校

- |                                         |
|-----------------------------------------|
| ・荷物置き場や安全バーを低い所に付ける等、子どもの目線での意見が挙がっている。 |
|-----------------------------------------|

### 【もっと安全で便利に使えるようにするために、どうしたら良いか考えてみよう】

#### (乗り方に関する意見)

- ・立っている時は、つりかわや手すりをしっかり持つておく。

#### (サービスレベルに関する意見)

- ・バスの中の上にある荷物を置くところをもう少し低くしたら置きやすいと思った。
- ・席が座れない時に子供でも持てる低くて手が届く持つところがほしい。
- ・もっとみんながバスに乗ってくれるように声をかけたり、バス・エコファミリーの無料券などをもっとしたらいいと思う。
- ・ミラーがいっぱい付いている。
- ・バス停をもっとたくさん作ると、降りたい場所の近くで降りれるから。
- ・非常口をもっと安全に降りられるようにしたらいい。

### 3)成仁小学校

- 本数を増やす、バスの中をスッキリさせる等のサービスレベルに関する意見が多い。
- お年寄りなどに席を代わってあげる、騒がない、自分でお金を払えるようになりたい等の自分ができること（乗り方に関する意見）も挙げられている。

#### 【もっと安全で便利に使えるようにするために、どうしたら良いか考えてみよう】

##### （乗り方に関する意見）

- 電車でも、バスでも、お年寄りの人が立っていたら、席を替わってあげられるようになりたいです。また、お父さんとバスに乗って、自分で料金表を見て、お金を払えるようになりたいです。
- お年寄りの人たちが立ってケガをしたらいけないので、譲ってあげる。乗る時も、一斉に入ったら危ないので、乗る時も譲り合いをする。
- バスの中で騒がない。お年寄りの人などには席を替わる。
- バスの中で暴れない。
- 暴れない。
- 家族と出掛ける時に簡単に出掛けられるから安全に気を付けながら乗る。
- バスを優先にして走れるように普通車も考えて走る。

##### （サービスレベルに関する意見）

- もっとバスの本数を増やしてほしい。もっと多くの場所に行ってほしい。
- 遅い時間にする。回数券で割引き（特けんとする）する。
- バス停からだけでなく乗りたい場所から乗れるようになればいい。バスの台数も多くなればいい。
- お年寄りや体の不自由な人でも、乗りやすくするために、バス停を増やす。
- 無理だと思うが、もっと本数を増やせばいいと思う。
- 事故をあまりださない。
- 少し違うかもしれませんが、天ぷら油の廃油で走るバスもありますよ。バスの中の匂いを消してほしい。音をもう少し静かにしてほしい。
- いっぱいバスを作る。
- 車いすの人がもうちょっと乗れるように改造した方がいい。もうちょっとバスの中をスッキリさせた方がいい。（なぜかと思うと車いすの人が物にぶつかったりしてしまうから。）
- 家の前まで来てくれて、好きなところに連れて行ってもらえるようにしたら利用回数が増えると思う。

## 4. 効果の検証

### 4-1 実施した授業の評価

#### 4-1-1 評価の考え方

授業の評価として、受講した児童の感想だけでなく、周囲の大人の視点からの効果を把握するとともに、課題を把握することを目的として、親へのアンケート、学校の先生へのヒアリング調査を実施した。

表4-1 調査対象と内容

	把握した内容
親へのアンケート	<ul style="list-style-type: none"><li>• 家庭での内容の伝わり方</li><li>• 親の視点からの評価</li><li>• 親への啓発効果</li></ul>
先生へのヒアリング	<ul style="list-style-type: none"><li>• 授業の感想・評価</li><li>• 課題・改善点</li><li>• 今後の取り組みについて</li></ul>

## 4-1-2 親へのアンケート調査

### (1) アンケートの内容

家庭での内容の伝わり方や親の視点からの評価、親への啓発効果等を把握することを目的に、以下のようなアンケートを実施した。

なお、授業の内容について評価をしてもらうため、フィードバックシートと一緒に配布（宿題の裏面に印刷）して実施した。

表4-2 アンケートの内容


	質問
授業後の 状況について	授業で学んだ内容をご存じでしたか？
	お子さんと交通環境学習についてのお話をされましたか？
	お子さんから、鉄道に乗ってみたい等のお願いをされましたか？
	宿題は一緒にされましたか？
	ご家族で公共交通などを利用して外出された際に、お子さんが周りの人に配慮するようになったなどの変化はあったと思いますか？
鉄道やバスの 利用について	普段、買い物へ出かけられる際にはどんな交通手段でどこへ行かれますか？
	買い物に鉄道で行くとしたらどうやって行ってみようと思いますか？
	その交通手段の利用を実際に行ってみようと思われませんか？
	今回の授業を通じてJR西日本に対するイメージは変化しましたか？
	このような授業が学校で実施されて良かったと思いますか？
	今回の授業等に対するご感想、このような取り組みに関するご意見等がございましたらご記入ください。



2)川東小学校

## 交通環境学習(バス見学等)に関するアンケート

京都府で実施している交通環境学習を効果的に進めていくため、保護者様のご意見をお伺いします。  
 お子さんが回答した宿題とフィードバックシート、バスマップをご覧の上、ご回答をお願いいたします。



**◆実施した授業についてお伺いします。** フィードバックシート>>>

【問 1】 バスに様々な工夫がされていることはご存知でしたか？

知っていた       フィードバックシートを見て知った       子供から聞いて知った

【問 2】 お子さんとバス見学や交通環境学習についてのお話をされましたか？

<input type="checkbox"/> 話をした <input type="checkbox"/> 話をしていない	どんなお話をされましたか？
-------------------------------------------------------------------	---------------

【問 3】 お子さんから、バスに乗ってみたい等のお願いをされましたか？

お願いされて乗った       お願いされたが乗っていない       お願いされていない

【問 4】 裏面の宿題は一緒にされましたか？

全問一緒にした       子供がわからない問題だけ一緒にした       一緒にはしていない

【問 5】 ご家族で公共交通などを利用して外出された際に、お子さんが周りの人に配慮するようになったなどの変化はあったと思いますか？

思う       まあ思う       わからない       あまり思わない       思わない

何故そう思われますか？      理由：

**◆バスのご利用についてお伺いします。**

【問 6】 ① 普段、買い物へ出かけられる際にはどんな交通手段でどこへ行かれますか？

(交通手段：何)	で	(場所：どこ)	へ行く
----------	---	---------	-----

② ①の買い物にバスで行くとしたらどうやって行ってみようと思いますか？ バスマップを見ながらお答えください。(※バスで行くなら目的地を変えようと思われる場合は、変更する目的地もご記入ください。)

乗るバス停	降りるバス停	目的地 <small>※変更の場合</small>
-------	--------	------------------------------

③ 上記の利用を実際にしてみようと思われますか？

思う       まあ思う       わからない       あまり思わない       思わない

【問 7】 今回の授業を通じて京阪京都交通機に対するイメージは変化しましたか？

良くなった       少し良くなった       変わらない       少し悪くなった       悪くなった

【問 8】 このような授業が学校で実施されて良かったと思いますか？

思う       まあ思う       わからない       あまり思わない       思わない

【問 9】 今回の授業等に対するご感想、このような取り組みに関するご意見等がございましたらご記入ください。

ご回答後、お子さんにお渡しになり 11 月 7 日(水)までにご提出をお願いします。

図4-2 アンケート票(川東小学校)





### (3)実施結果

以下に親へのアンケート実施結果を示す。

#### 1)大井小学校

##### (a)授業後の状況について

##### a) 鉄道を支える仕事をご存知でしたか？

- ・約4割がフィードバックシートや子どもから聞いて知ったと回答している。

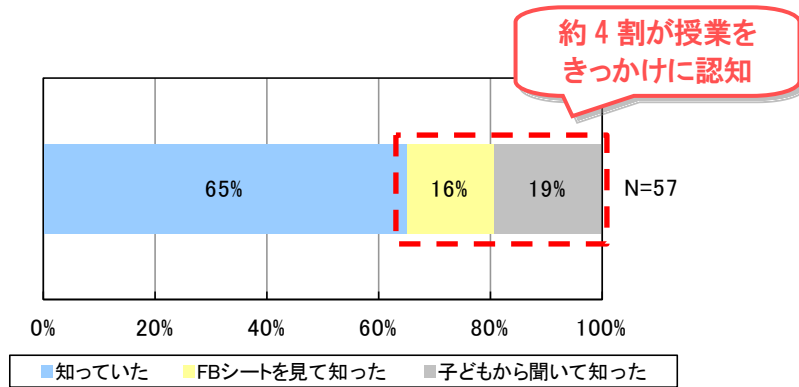


図4-4 授業内容に対する認知

b) お子さんと交通環境学習についてのお話をされましたか？

- 約4割が子どもと授業についての話をしたと回答している。
- 車両に乗れる人数等の具体的な内容についても、会話を通じて伝わっているケースもある。

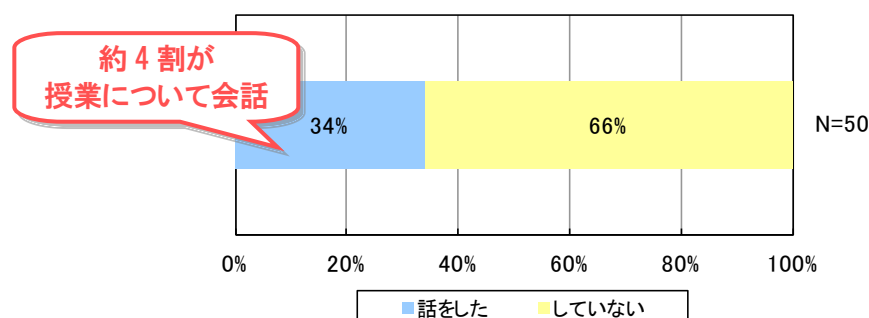


図4-5 授業の会話の有無

【具体的な内容(全て)】

- CO2 をへらす為に交通機関を利用する
- 電車は CO2 排出量が少ないので環境にやさしいと教えてくれました。
- 車で外出や移動を減らして、電車を利用して CO2 の排出量を減らせるようにしよう…という話をしました。
- 子どもから車両に何人乗れるか…パンフレットを見て地球にやさしい電車だと知りました。
- 鉄道にはいろんな仕事があること
- JR の方々が来て下さって、駅のことなどを教えていただいた。
- 電車の運転手の他に鉄道ではどんな仕事がある？と質問された。
- 鉄道員さんは、運転手さん車掌さんだけでなく、他にもいろんな仕事があるんだなあという事。
- 知らない事がいっぱいあって、勉強になったと言ってました。
- どんな人が来てくれはったか、どんな仕事があったのか。
- 写真や資料を見て、いろんな仕事について話し合った。
- 普段交通で働くひとがどんな仕事をしているのかあらためて考えた。
- アンケートを書く時に、どんな話をされたのかうかがいました。
- JR 福知山線脱線事故について

c) お子さんからバスに乗ってみたい等のお願いをされましたか？

- 約2割がバスに乗ってみたいと依頼されている。

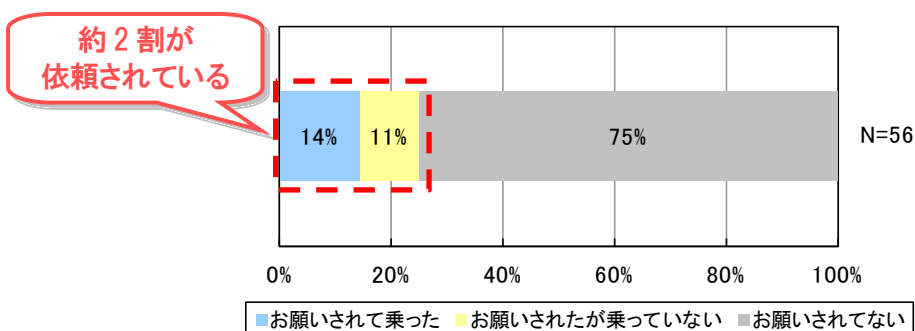


図4-6 お願いの有無

d) 裏面の宿題は一緒にされましたか？

- 約7割が、何らかの形で一緒に宿題を実施している。

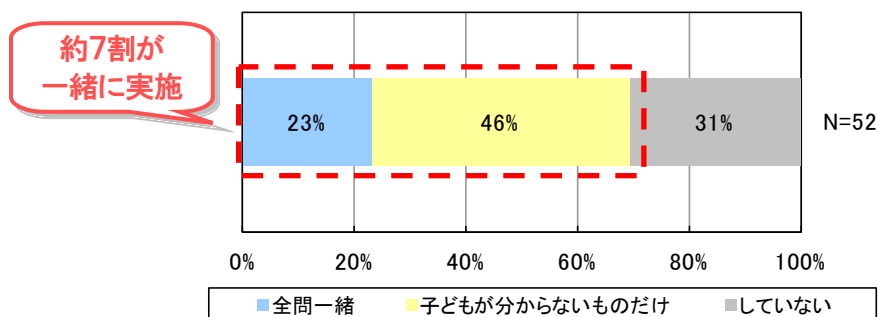


図4-7 宿題の実施状況

e) お子さんが周りの人に配慮するようになったなどの変化はあったと思いますか？

- 2割以上は実際の行動にも変化があったと回答している。
- 実際に席を譲ったり、兄弟を注意する等の行動をしているケースが多く見られる。

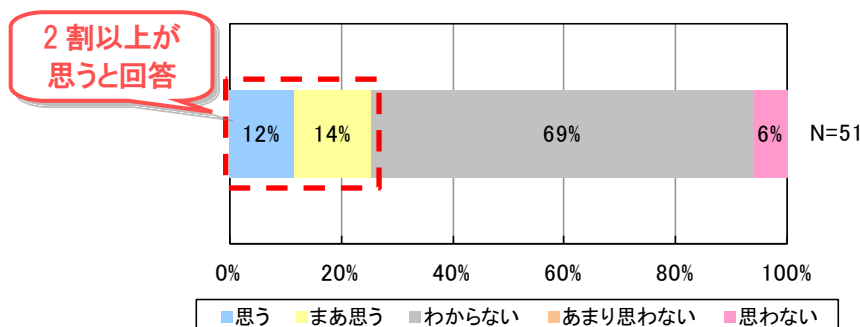


図4-8 周囲への配慮等の変化の有無

【具体的な内容(全て)】

- 自分より少し年下の子供に席をゆずってあげるとか…他のお客様のことも考えて、あまり大声で話さない様に気をつけたり…
- 席をゆずってあげた。
- 人に席を譲ったり、静かに座っていることができるようになった。荷物も邪魔にならないように置いたり移動させたりしている。
- 年配の方に席をゆずっていた。
- お年寄りの方に席をゆずる事が出来ました。
- 大きな声で話さない。
- 電車の中で大きな声で話したり人に迷惑がかからないようにしていた。
- 大きな声でしゃべらないとか、席をひろくとらないとか、以前からしてます。
- 弟がさわがしくしそうなとき、姉がたしなめていたから。
- 公共の場では、大きな声で話をしたり、バタバタとしない。
- 幼い頃から機会ある毎に公共の場での配慮が要ることを話しているから。
- 満員ですわる所がなくてもぐずらず立っていられるようになった。
- 人にめいわくでないように乗っている事。
- 電車等の公共交通機関を利用している時は、自家用車で移動時に比べて、大人しくなる。

(b) 鉄道の利用について

a) 今後、鉄道で買物等に出かけてみようと思いますか？

・約5割が、今後バスを利用してみようと思うと回答している。

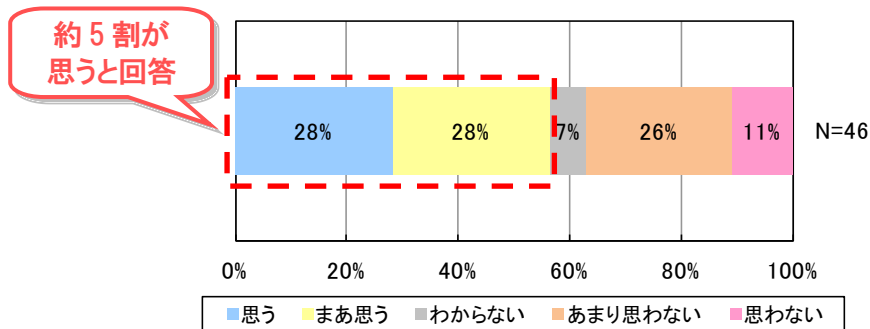


図4-9 バスの利用意向

b) 授業を実施した事業者に対するイメージは変化しましたか？

・5割以上は事業者（JR 西日本）に対するイメージが向上したと回答している。

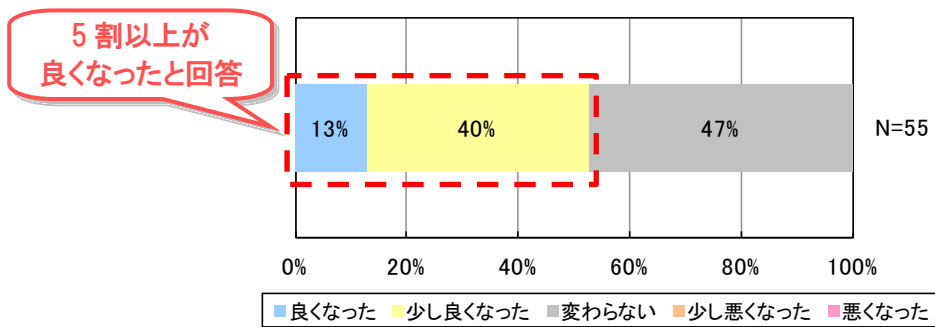


図4-10 事業者に対するイメージの変化

(c) 授業について

a) このような授業が学校で実施されて良かったと思いますか？

・ 授業に対しては、ほぼ全員が実施して良かったと回答している。

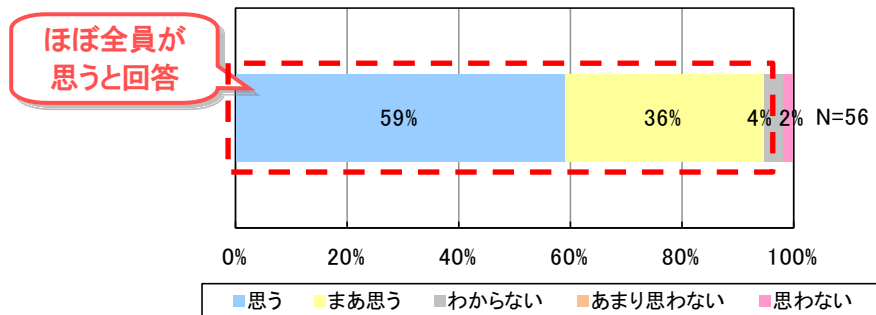


図4-11 授業が実施されて良かったと思うか

## b) 今回の授業等に対するご感想、ご意見等

- 普通に利用するだけではわからないしくみや新たな興味を持つことができたことに対してよかったとの意見が多い。また、将来に関わる仕事についての学習ができたことに対する評価が高い。
- 実際の現場で見学できると良いとの意見も挙がっている。

### 【具体的な内容(全て)】

- とても良い事だと思います。大井町は鉄道が通っているためそれを利用する機会も多いので鉄道にいろいろな人が関わり安全を守るために**多くの人が努力して下さっていると知る事ができ良かった**と思います。
- 詳しくご指導頂きありがとうございました。
- 鉄道マンの人の仕事がわかりよかったのではないかと思います。鉄道は遠出する時に使っています。
- **今まで全く興味のなかった分野を知る事ができ**、その中で様々な工夫や働いている方々の努力等を知る事が出来良かったと思います
- 学習したことがわかりやすい、きれいなプリントになっていて、**子供がそれをみせていろいろと教えてくれました**。ありがとうございました。
- 鉄道について様々なことを知る機会はなかなかないと思うので、このような授業をうけてよかったと思います。
- 子どもたちが、鉄道の普段知らない部分の仕事の勉強をしたり、知ったりするいい機会になったと思います。鉄道員さんでも様々な仕事があることを理解できたと思います。
- 交通環境学習をする事によって、大人も子供達も環境について考え、環境にやさしいことをするにはどうしたらいいのかがわかるので、とても良い事だと思います。鉄道にかかわる人達の仕事の内容や、**1つ1つの仕事がみんながいつも利用する鉄道を安全で安心して利用できるようにしてくれているのだ**と思いました。いつもありがとうございます。
- 亀岡市内という地に住んでいると電車やバスよりいろいろな理由で自家用車を利用する機会が多くなります。子供たちにとって、さまざまな体験、経験をすることには親として大歓迎です。機会をつくって電車を利用したレジャーも企画したいと思います。子供たちは年に2、3回しか利用しない電車ですが、学習する場を与えて頂けたことで**少し身近なものとして考えるようになった**と思います。**是非、次年度も取り組みを続けてもらいたい**です。
- 普段鉄道を利用しないので、鉄道に対する理解が深まり、たいへん良かったです。
- 様々な仕事について、どんな仕事内容か、どんな苦労があるかなど、それぞれの職業の方に話を聞くのはとても良い勉強になり**将来に役立ちますので、交通だけでなく他の職業も学習**できればうれしく思います。
- 実際に現場へいかしてもらって、**社会見学ができる方が**なおよいと思います。駅以外の現場へGO！
- 質問の意味が抽象的で子供に説明しにくかった。写真もわかりにくく、問題に答えにくかった。
- 事故の教訓を生かす内容により、JR 自身もより体質改善が行われることを期待します。

## 2)川東小学校

### (a)授業後の状況について

#### a)バスの工夫をご存知でしたか？

- 5割以上がフィードバックシートや子どもから聞いて知ったと回答している。

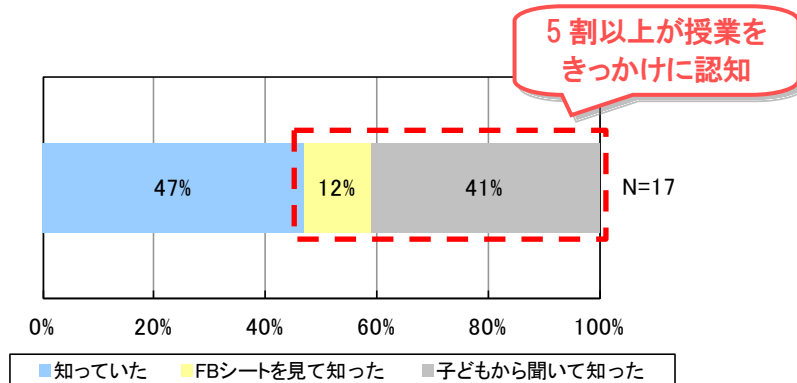


図4-12 授業内容に対する認知

#### b)お子さんと交通環境学習についてのお話をされましたか？

- 4割以上が子どもと授業についての話をしたと回答している。
- 車に対してバスがどれくらい環境にやさしいかや、車いすの乗り降りができることなど具体的な内容についても会話を通じて伝わっているケースもある。

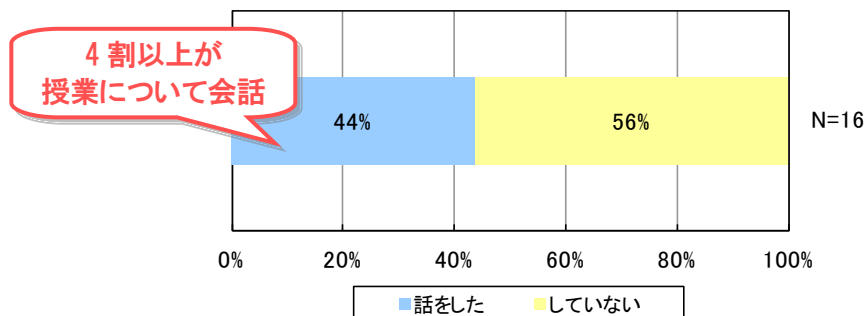


図4-13 授業の会話の有無

#### 【具体的な内容(全て)】

- バスは環境に良いと言う話を聞きました。
- バス1台で車10台分、環境にいい。
- 車椅子の収納口、老人が乗る時ステップの高さ調整。
- 全然知らなかったバスの中のこと、工夫を教わったと話していた。そしてそれを私(親)におしえてくれた。
- バスの中のいくつかの隠れた押しボタン(車イス用)がある事など。
- 優先席があること。
- バスの機能性について話をしました！



c) お子さんからバスに乗ってみたい等のお願いをされましたか？

- 約4割がバスに乗ってみたいと依頼されている。

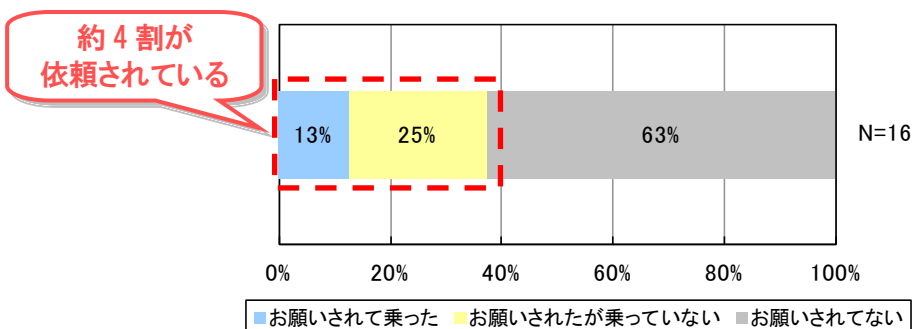


図4-14 お願いの有無

d) 裏面の宿題は一緒にされましたか？

- 約2割が、何らかの形で一緒に宿題を実施している。

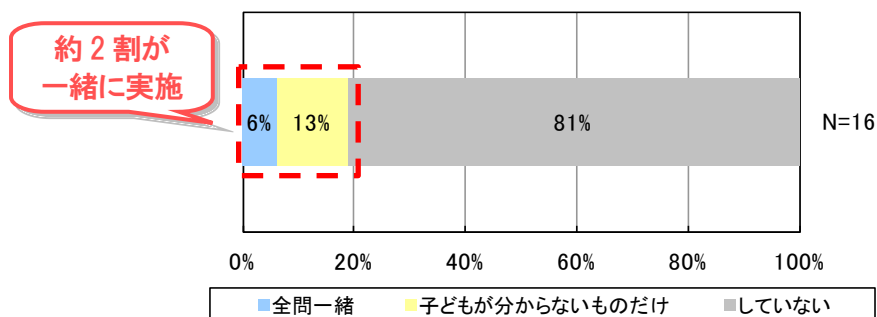


図4-15 宿題の実施状況

e) お子さんが周りの人に配慮するようになったなどの変化はあったと思いますか？

- 2割以上が実際の行動にも変化があったと回答している。
- 実際に席を譲ろうとしたり、つめて座る等の行動をしているケースもある。

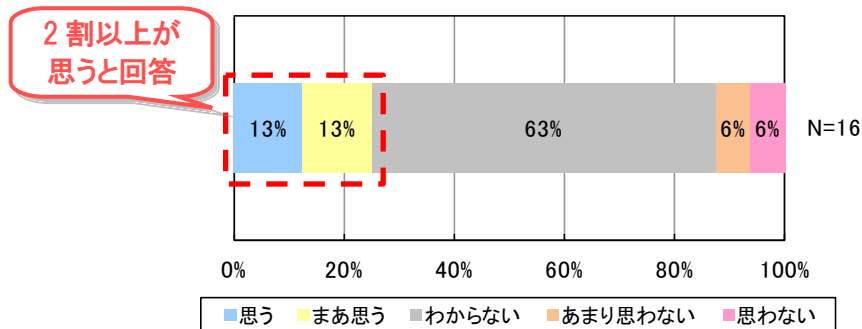


図4-16 周囲への配慮等の変化の有無

【具体的な内容(全て)】

- 優先座席を気にしてる。お年寄りが乗車した際に「席をゆずらんでいいの？」と言う。
- 席をつめて多くの人がすわれるようにするなど考えていた。
- 老人の人がいたら席をゆずる。人の乗る時、おりる時などとおりやすくする。
- 小さい時から、教えています。

(b) バスのご利用について

a) 今後、バスで買物等に出かけてみようと思いますか？

・3割以上が、今後バスを利用してみようと思うと回答している。

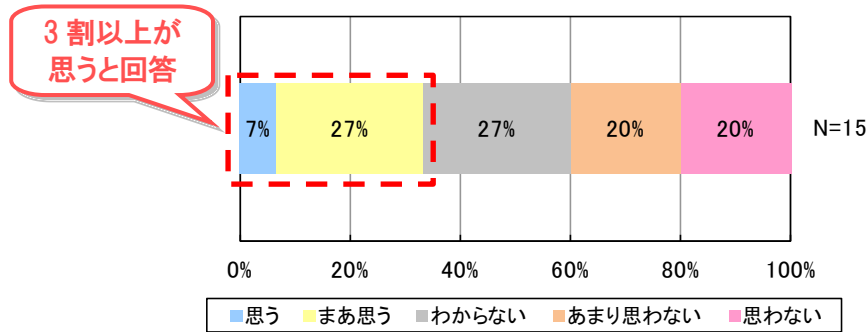


図4-17 バスの利用意向

b) 授業を実施した事業者に対するイメージは変化しましたか？

・6割以上は事業者（京阪京都交通）に対するイメージが向上したと回答している。

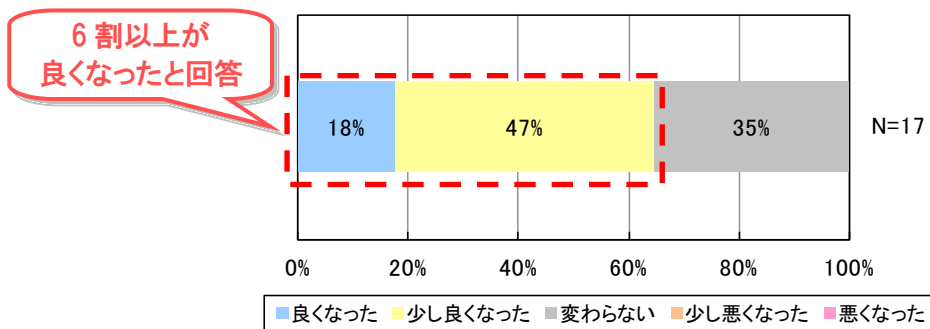


図4-18 事業者に対するイメージの変化

(c) 授業について

a) このような授業が学校で実施されて良かったと思いますか？

- 授業に対しては、ほぼ全員が実施して良かったと回答している。

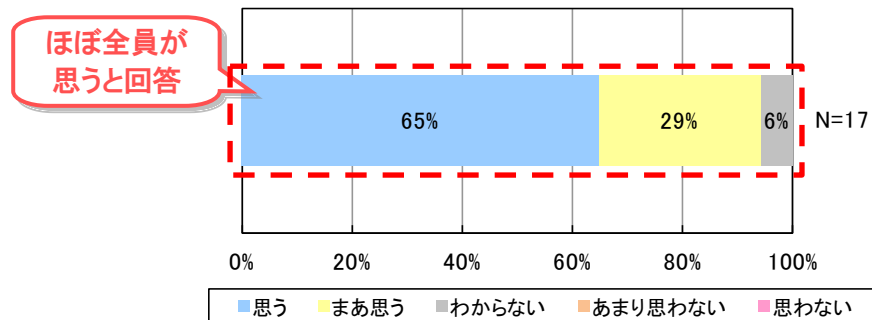


図4-19 授業が実施されて良かったと思うか

b) 今回の授業等に対するご感想、ご意見等

- 普段あまり利用しないバスを体験できたことや、普通に利用するだけではわからない機能、工夫を知ることができたことが評価されている。

【具体的な内容(全て)】

- 最近公共交通機関の利用がほとんどありません。また機会があれば利用したいと感じました。
- 車がないと不便な地域に住んでいて、バスに乗ることが全くないのでいい経験になったと思う。
- 毎日通学に利用しているが深く考えず乗せて頂いていたので子供の意識が変わりとても良い経験になりました
- 子供が話をしないので内容はわかりません

3) 成仁小学校

(a) 授業後の状況について

a) 鉄道を支える仕事やバスの工夫をご存知でしたか？

・ 6割以上がフィードバックシートや子どもから聞いて知ったと回答している。

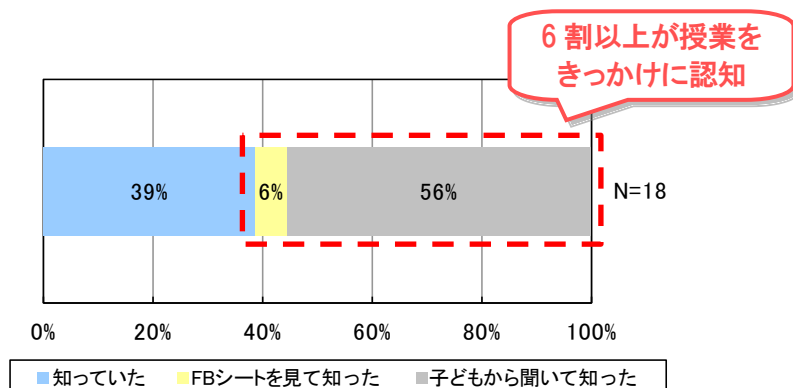


図4-20 授業内容に対する認知

b) お子さんと交通環境学習についてのお話をされましたか？

- 6割以上が子どもと授業についてのお話をしたと回答している。
- 車いすの乗り降り、安全棒など具体的な内容についても会話を通じて伝わっているケースもある。

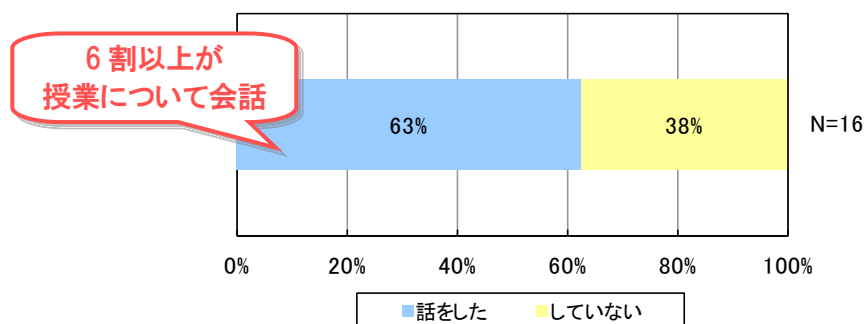


図4-21 授業の会話の有無

**【具体的な内容(全て)】**

- オレンジの棒が目立っていて、急な時にすぐにつかめる事。
- バス見学をしたこと。どのような質問があったか等。
- ノンステップバスがどんなものなのかを教えてくれた。
- 車イスが楽に乗れるバスだったと聞きました。
- バスに乗った話をした。
- バス見学で車いすを押したこと。
- エコカーとして天然ガス車や電気自動車を見たこと。
- バス見学をして分かったことについて。
- 車いすの乗りおりができる事など。
- バスの車両について。
- ハイブリッドバスの話など

c) お子さんからバスに乗ってみたい等のお願いをされましたか？

- 約4割がバスに乗ってみたいと依頼されている。

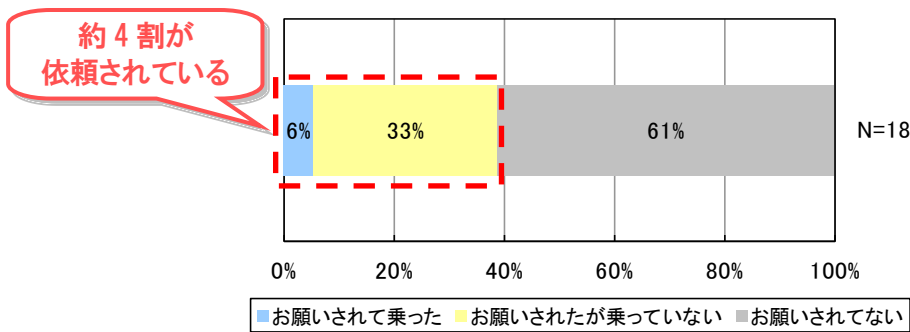


図4-22 お願いの有無

d) 裏面の宿題は一緒にされましたか？

- 約7割が、何らかの形で一緒に宿題を実施している。
- 特に、分からないものがあると一緒に実施するケースが多い。

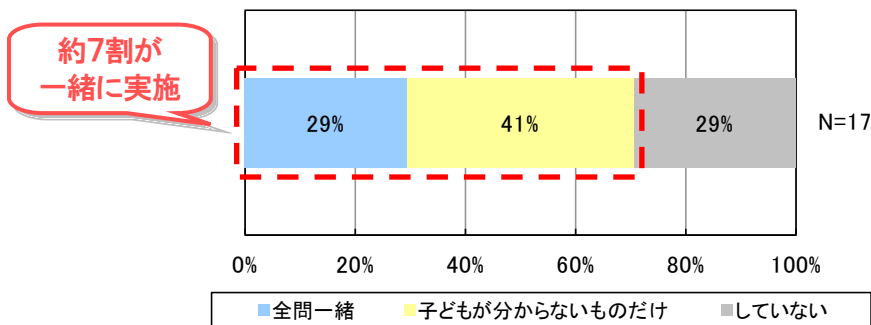


図4-23 宿題の実施状況

e) お子さんが周りの人に配慮するようになったなどの変化はあったと思いますか？

- 約1割は実際の行動にも変化があったと回答している。

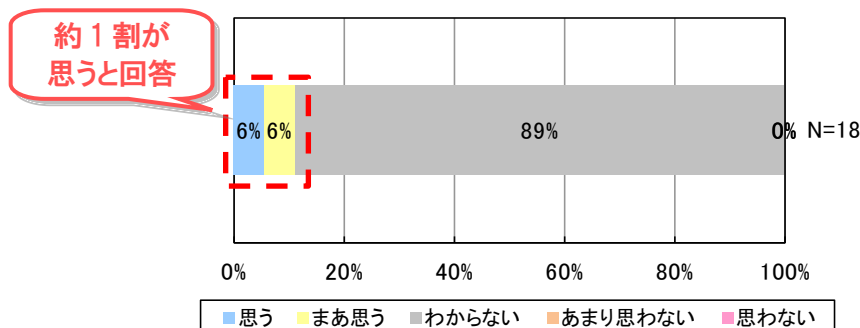


図4-24 周囲への配慮等の変化の有無



(b)バスのご利用について

a) 今後、バスで買物等に出かけてみようと思いますか？

・2割以上が、今後バスを利用してみようと思うと回答している。

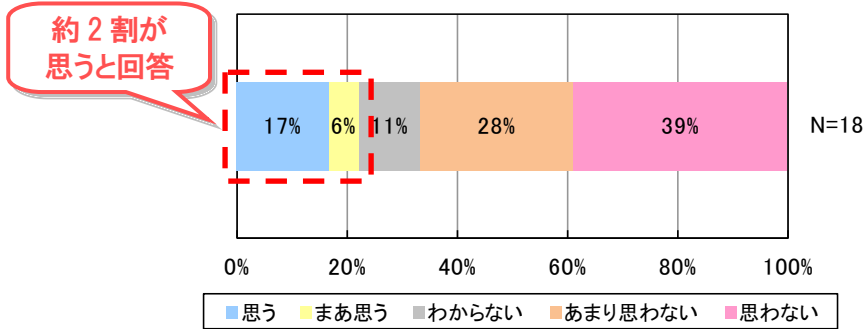


図4-25 バスの利用意向

b) 授業を実施した事業者に対するイメージは変化しましたか？

・約3割は事業者（京都交通）に対するイメージが向上したと回答している。

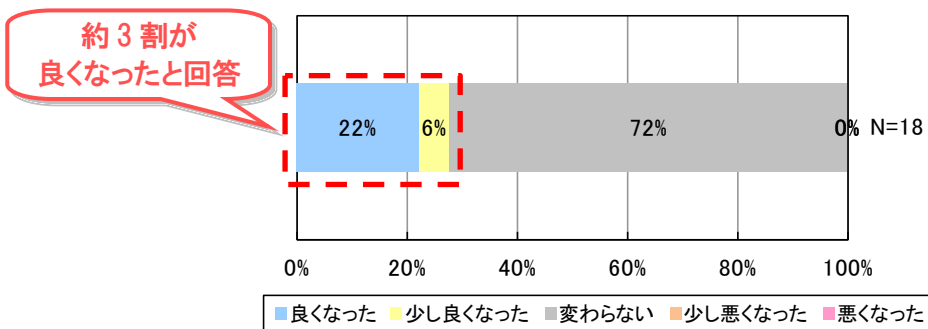


図4-26 事業者に対するイメージの変化

(c) 授業について

a) このような授業が学校で実施されて良かったと思いますか？

- ・授業に対しては、全員が実施して良かったと回答している。

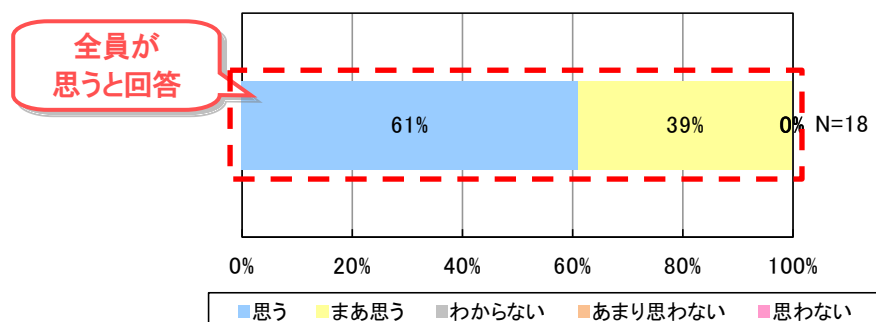


図4-27 授業が実施されて良かったと思う

b) 今回の授業等に対するご感想、ご意見等

- ・普段あまり利用しないバスを体験できたことや、普通に利用するだけではわからない機能、工夫を知ることができたことに対してよかったとの意見が多い。
- ・実際に走っているバスに乗っている学習を実施すべきとの意見が挙がっている。

【具体的な内容(全て)】

- ・スロープがついていることや、バスの安全についての工夫など、地域の方によく知ってもらう必要があると思います。
- ・市民病院への直通便などがあり、不自由な方も乗り換えなく行ける等大変便利になったと思いますが、以前に利用した時に感じましたのは、バスの便が、もう少しふえるともっと便利が良いとゆう事でした。
- ・現在の5年生は、インフルエンザの関係で公共交通を利用した校外学習を実施していません。できれば、**実際に交通機関を利用した方が**、より子供たちの関心を高められると思います。
- ・今度は**バスを利用した授業**も検討して欲しい。
- ・子どもがバスに乗って中を見学させてもらったと**楽しそうに話をしていました**。小さい子どもがおり、なかなかバスに乗って移動することは難しいですが、**また機会があれば乗ってみようと思います**。
- ・日頃、バスに乗ることが少ないので、**見学させていただけるとよい経験**になると思います。
- ・バスに乗ることは出来ても、**バスのいろいろな機能を知ることは、なかなか出来ない**のでたいへんよかったと思いました。
- ・出張、飲み会等でバスは利用しています。
- ・**実際に公共交通を利用する実習**があればよいと思います。

(4)まとめ

- 会話や宿題・フィードバックシートなどにより、多くの家庭で伝達がされている。
- 殆どが実施されて良かったと好意的な評価をしており、事業者へのイメージも向上している。ただし、回答していない家庭も多い。
- 普段知ることができない工夫を知ったこと、仕事を学ぶ機会となったことが評価されている。
- 継続、より実践的な取り組みを望む声が多い。

表4-3 親へのアンケート結果のまとめ

	大井小学校	川東小学校	成仁小学校	まとめ
授業後の状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 約 4 割がフィードバックシートや子どもから聞いて知ったと回答している。</li> <li>• 約 4 割が子どもと授業についての話をしたと回答している。車両に乗れる人数等の具体的な内容についても、会話を通じて伝わっているケースもある。</li> <li>• 約 2 割がバスに乗ってみたいと依頼されている。</li> <li>• 2 割以上は実際の行動にも変化があったと回答している。実際に席を譲ったり、兄弟を注意する等の行動をしているケースが多く見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5 割以上がフィードバックシートや子どもから聞いて知ったと回答している。</li> <li>• 4 割以上が子どもと授業についての話をしたと回答している。車に対してバスがどれくらい環境にやさしいかや、車いすの乗り降りができることなど具体的な内容についても会話を通じて伝わっているケースもある。</li> <li>• 約 4 割がバスに乗ってみたいと依頼されている。</li> <li>• 2 割以上が実際の行動にも変化があったと回答している。実際に席を譲ろうとしたり、つめて座る等の行動をしているケースもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6 割以上がフィードバックシートや子どもから聞いて知ったと回答している。</li> <li>• 6 割以上が子どもと授業についての話をしたと回答している。車いすの乗り降り、安全棒など具体的な内容についても会話を通じて伝わっているケースもある。</li> <li>• 約 4 割がバスに乗ってみたいと依頼されている。</li> <li>• 約 7 割が、何らかの形で一緒に宿題を実施している。特に、分からないものがあると一緒に実施するケースが多い。</li> <li>• 約 1 割は実際の行動にも変化があったと回答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→フィードバックや宿題を実施することで親へも伝わる内容や効果があったと考えられる。</li> <li>→子どもからの依頼や周りへの配慮等の行動も見られる。</li> </ul>
バスの利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 約 5 割が、今後バスを利用してみようと思うと回答している。</li> <li>• 5 割以上は事業者（JR 西日本）に対するイメージが向上したと回答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3 割以上が、今後バスを利用してみようと思うと回答している。</li> <li>• 6 割以上は事業者（京阪京都交通）に対するイメージが向上したと回答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 割以上が、今後バスを利用してみようと思うと回答している。</li> <li>• 約 3 割は事業者（京都交通）に対するイメージが向上したと回答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→親のイメージや交通行動に対しても効果があったものと考えられる。</li> </ul>
授業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業に対しては、ほぼ全員が実施して良かったと回答している。</li> <li>• 普通に利用するだけではわからないしくみや新たな興味を持つことができたことに対してよかったとの意見が多い。また、将来に関わる仕事についての学習ができたことに対する評価が高い。</li> <li>• 実際の現場で見学できると良いとの意見も挙がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業に対しては、ほぼ全員が実施して良かったと回答している。</li> <li>• 普段あまり利用しないバスを体験できたことや、普通に利用するだけではわからない機能、工夫を知ることができたことが評価されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業に対しては、全員が実施して良かったと回答している。</li> <li>• 普段あまり利用しないバスを体験できたことや、普通に利用するだけではわからない機能、工夫を知ることができたことに対してよかったとの意見が多い。</li> <li>• 実際に走っているバスに乗っている学習を実施すべきとの意見が挙がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→授業の実施に対しては非常に好意的である。</li> <li>→より実践的な授業を望む声が多い。</li> </ul>

### 4-1-3 小学校へのヒアリング調査

#### (1)実施概要

担任の先生からの評価や今後の課題を把握することを目的にヒアリングを実施した。

表4-4 実施概要

	実施概要
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・親へのアンケート結果の報告</li><li>・今年度の授業内容について</li><li>・今後の取り組みについて</li></ul>
日時	<ul style="list-style-type: none"><li>・大井小学校：平成 25 年 2 月 19 日（火） 16:00～</li><li>・川東小学校：平成 25 年 2 月 18 日（月） 15:30～</li><li>・成仁小学校：平成 25 年 2 月 20 日（水） 17:15～</li></ul>

## (2)実施結果

以下にヒアリング実施結果を示す。

### 1)大井小学校

打ち合わせ記録簿（大井小学校）

日時；平成 25 年 2 月 19 日

場所：大井小学校

出席者：大井小学校／谷先生、他 2 名

京都府／仲尾副課長、馬籠主事

亀岡市／大石主事

オリエンタルコンサルタンツ／土崎

#### 1. 今年度の授業について

- ・授業の中で電車が出てくるのは工業生産のところで、貨物列車が出てくるくらいである。教科書の内容も自動車に関わるものが多くなっている。
- ・今回の授業で電車が人を運ぶものであることを認識してくれたと思うが、どうしても普段の授業から浮いてしまう感じがした。
- ・子どもの方も、特別にゲストが来て話してくれる日、といった印象だったと思う。
- ・それに対し、昨年度実施した物流の授業は産業、物流、環境といった 5 年生の社会の内容と関連が強くぴったりの内容だったと思う。

#### 2. 今後の取り組みについて

- ・次年度、同じような授業を実施する事については問題ない。
- ・今のところ 5 年生で物流の授業を実施するのが良いと思う。特に、それをあらかじめ想定して、前後の授業の内容を関連づけたり、出前授業の内容を調整できるととてもよいプログラムになるのではないか。
- ・また、物流の授業を実施するなら、授業の前に物流の仕組みがわかるような教材を頂けると理解が深まると思う。
- ・5 年生以外で考えると、3 年生でわたしたちの町亀岡というプログラムがあり、大井工業団地について、なぜあの場所に立地しているのかを人流・物流の視点で考えさせる。ここで通勤手段として鉄道と関連づけることは考えられる。
- ・また、2 年生の生活科で、鉄道を利用して社会見学に行っている。ここでも仕事の内容を絡めることはできるかもしれない。
- ・生活科が導入される前は低学年の社会科で仕事のことを勉強する単元があった。そこなら今回のプログラムはちょうど良かったかもしれない。

以上

## 2)川東小学校

### 打ち合わせ記録簿（川東小学校）

日時；平成 25 年 2 月 18 日

場所：川東小学校

出席者：川東小学校／久保先生

京都府／馬籠主事

亀岡市／大石主任

オリエンタルコンサルタンツ／土崎

#### 1. 今年度の授業について

- ・子ども達はバスで毎日通学しているが、バス車両について細かく説明したこともないし、考えたことも無いと思うので、とても良い機会になったと思う。
- ・授業の中で自分達ができることという視点で考えさせてもらったが、小学生の早い段階からこういったことを考えさせられる機会を持つ事は重要だと思う。特に、中学生になると自転車通学になってしまうため、バスに乗る機会が無くなるため、ちょうど良い他タイミングである。
- ・また、親へのフィードバック、アンケートという形で親に展開してもらったのも良かったと思う。
- ・登下校の指導をしているが、この授業を受けた今の 5、6 年生はバスの中での振る舞いも違って来ていると思う。
- ・川東小学校で実施する交通環境学習の題材としてはバスが最適ではないか。
- ・ちょっとずつでも良いので、繰り返しいろんなタイミングでこういった教育ができると良いのではないか。

#### 2. 今後の取り組みについて

- ・来年度、同じような形で授業を実施することは問題ない。具体的な内容は次年度の担当と調整をしていただきたい。
- ・昨年度大井小学校で実施していた物流の授業も面白いと思うが、同じ授業を継続し、定番化することも継続に向けては重要だと思う。
- ・川東小学校では、3 年生でアルプラザまで仕事の見学に行く授業を実施している。久御山のようなスタイルで実施するなら、これを路線バスで実施するという方法があるかもしれない。

以上

### 3)成仁小学校

#### 打ち合わせ記録簿（成仁小学校）

日時；平成 25 年 2 月 20 日

場所：成仁小学校

出席者：成仁小学校／谷口校長先生、梅田先生

京都府／仲尾副課長、馬籠主事

福知山市／衣川係長

オリエンタルコンサルタンツ／土崎

#### 1. 今年度の授業について

- ・成仁小学校の子どもは、親が車で行動するためほとんどバスに乗ったことがない。
- ・そういった意味で、実際の車両をじっくり見せてもらったのは大変良かった。
- ・普段バスを利用しようと思ってもあまり利用できる環境にないことは課題であるが、知る機会になったことは重要だと思っている。
- ・また、桔梗の杜のことを絡めて説明してもらったことで交通と福祉が結び付いて理解が深まったと思う。
- ・運営面では体育館ではマイクがあった方が良かったかもしれない。

#### 2. 今後の取り組みについて

- ・来年度、同じような形で授業を実施することは問題ない。具体的な内容は次年度の担当と調整をしていただきたい。
- ・今年の授業のあと、子どもが高速バスの話をしていて、大阪等への高速バスが多く走っており、リーズナブルな交通手段として路線バスより認識されている。
- ・車で行った場合にかかる費用と高速バスを比較するような内容を加えてバスの話をするとう興味が引くかもしれない。
- ・2年生でJRを使って夜久野へ社会見学に行っている。子どもが実際に切符を購入して乗車している。1学年が60～80人程度いるため、路線バスで行動するのは難しいと思う。

以上

### (3)まとめ

- 交通についてじっくり考える機会として一定の評価がされている。川東では定着しつつある。
- 科目単元や前後の授業との連携が重要である。
- 2年・3年での地域学習（生活・社会科）でも展開可能性がある。

表4-5 小学校へのヒアリング結果のまとめ

	対象者	今年度の授業について	今後の取り組みについて
大井小学校	谷先生 他2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 鉄道は工業生産のところで貨物列車が出てくるくらいである。教科書の内容も自動車に関わるものが多い。</li> <li>• 今回の授業で電車が人を運ぶものであることを認識してくれたと思うが、どうしても普通の授業から浮いてしまう感じがあった。</li> <li>• 昨年度の物流の授業は産業、物流、環境といった5年生の社会科と関連が強い内容だったと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次年度実施するならば、5年生で物流の授業を実施するのが良いと思う。前後の授業の内容を関連づけたり、出前授業の内容を調整できるととてもよいプログラムになると思う。また、授業前に物流の仕組みがわかる教材があると理解が深まる。</li> <li>• 3年生で大井工業団地を人流・物流の視点で考える。鉄道ならここで通勤手段として関連づけることが考えられる。2年生は鉄道での見学があり、ここで仕事を絡められるかもしれない。</li> </ul>
川東小学校	久保先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎日使っているが説明したこともないし考えたことも無いと思うのでとても良い機会になった。中学生は自転車通学になる点でもタイムリー。• 登下校の指導をしているが、5・6年生はマナーも違って来ていると思う。</li> <li>• 川東での題材としてはバスが最適ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 物流の授業も面白いと思うが、同じ授業を継続し定番化することも継続に向けては重要だと思う。</li> <li>• 3年生でアルブラザまで仕事の見学に行く授業を実施している。これを路線バスで実施するという方法があるかもしれない。</li> <li>• ちょっとずつでも良いので、繰り返しいろんなタイミングでこういった教育ができると良い。</li> </ul>
成仁小学校	谷口校長 先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 成仁小学校の子どもはほとんどバスに乗ったことがない。実際の車両をじっくり見せてもらったのは大変良かった。知る機会になったことは重要。</li> <li>• 桔梗の杜のことを絡めて説明してもらったことで交通と福祉が結び付いて理解が深まったと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業の後、子どもが高速バスの話をしていた。高速バスが多く、リーズナブルな交通手段として認識されている。車と高速バスを比較しながら話をすると、バスへの興味を引くかもしれない。</li> <li>• 2年生がJRを使って夜久野へ社会見学に行っている。1学年が60～80人程度いるため、路線バスで行動するのは難しい。</li> </ul>



## 4-2 久御山町での取り組み効果の検証

### 4-2-1 経緯と調査目的

#### (1) 経緯

京都府では平成 17 年より府内の小学校において公共交通に関する出前授業（学校教育 MM）に取り組んでおり、「交通すごろく」や「体験乗車」などを実施している。久御山町の小学校では当初より授業を実施しており、「出前授業」については平成 21 年度まで、「体験乗車」については現在も継続している状況である。

表4-6 久御山町における交通環境学習の実施状況

	御牧小学校	H24	H25	東角小学校	H24	H25	佐山小学校	H24	H25
H17	—			—			小5	高3	大1
								総合10時限(乗車体験、TFPアンケート、交通すごろく。PR)	
H18	小5	高2	高3	小2	中2	中3	小5	高2	高3
					生活科15時限(ピンポンバス(松村先生)、体験乗車、ミニチュアバスの模型づくり)				
H19	小5	高1	高2	小2	中1	中2	小5	高1	高2
		体験乗車、出前授業(町職員)、出前授業(松村先生)			体験乗車5回			体験乗車、出前授業(松村先生)	
H20	小5	中3	高1	小2	小6	中1	小5	中3	高1
		体験乗車、出前授業(町職員)、出前授業(松村先生)			生活科(体験乗車、出前授業(町職員)、ピンポンバス(松村先生))			総合、英語(体験乗車、出前授業(町職員)、学習発表会、すごろく(松村先生))	
H21	小3	小6	中1	小2	小5	小6	小5	中2	中3
		社会科(体験乗車2回、ピンポンバス(松村先生))			生活科(体験乗車3回、ピンポンバス(松村先生))			総合(体験乗車、すごろく(松村先生))	
H22	小3	小5	小6	小2	小4	小5	小5	中1	中2
		体験乗車1回			体験乗車4回			体験乗車2回	
H23	小3	小4	小5	小2	小3	小4	—		
		体験乗車			体験乗車				

#### (2) 調査の目的

これらの取り組みは、公共交通の維持やまちづくりの観点だけでなく、社会参加等の教育的な効果の観点からも有用なものであると考えられ、今後、行政（交通、まちづくり関連部署）と教育関係者が連携し取り組みを進めていくことが双方にとって望ましいと考えられる。

京都府では、府域全体への展開・発展を目指しているが、そのためにはこれらの取り組みにはどれくらいの効果があるのかを明示しつつ、行政・学校関係者の理解や共感を得ていかなければならない。そのため、以下を目的として調査を実施した。

- 久御山町における数年前の取り組みによる効果を明確化する
- 継続の要因、ポイントを把握する
- 授業のリマインドの機会とする

## 4-2-2 調査の内容

### (1) 調査の構成

#### 1) 効果の考え方・視点

まず、関係する行政（交通、まちづくり関連部署）、学校関係者の視点から、必要かつ重要な効果が得られることを明示していくことが効果的と考えられる。

それぞれの視点では以下のような項目が想定される。

表4-7 行政、学校関係者の視点からの望まれる効果のイメージ

	望まれる効果のイメージ
行政 (交通、まちづくり関連部署)	<ul style="list-style-type: none"><li>・公共交通に対する意識の変化、利用促進</li><li>・まちづくりへの参加意欲 等</li></ul>
学校関係者	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域に対する認知、意識の向上 (地域学習的な視点)</li><li>・周りの人に対する配慮、社会性向上 等 (公民的資質のような視点)</li></ul>

#### 2) 調査項目

上記の効果を把握するとともに、実施の経緯やポイントを把握するため、小学校へのヒアリング調査および、受講生（中学生）へのアンケート調査を実施した。

表4-8 調査項目

目的		調査項目
効果の把握	学校が感じる効果	・小学校担当教諭へのヒアリング調査
	受講者の変化、効果	・受講者（中学生）へのアンケート調査
継続のポイントの把握		・小学校担当教諭へのヒアリング調査

### (2) ヒアリング調査

前項の視点を踏まえて、学校側が感じる効果や継続のポイントを把握するため、全3校を対象に、実施の経緯や考え方、効果についてのヒアリング調査を実施した。

表4-9 調査概要

	調査概要
調査対象	実施校3校 (御牧小学校、東角小学校、佐山小学校)
調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・実施の経緯、取り組み内容、課題</li><li>・感じる授業の効果</li><li>・その他</li></ul>

### (3) アンケート調査

#### 1) 実施対象

市内の3小学校でそれぞれ別の学年に実施してきており、今年度は中学校の各学年に授業を経験した児童が存在している。

各学校、学年の内容の違いを踏まえて検証するため、全学年を対象にアンケートを行った。

表4-10 各小学校での授業実施時期と対象児童の今年度の学年

	御牧小学校	H24	H25	東角小学校	H24	H25	佐山小学校	H24	H25
H17	—			—			小5	高3	大1
H18	小5	高2	高3	小2	中2	中3	小5	高2	高3
H19	小5	高1	高2	小2	中1	中2	小5	高1	高2
H20	小5	中3	高1	小2	小6	中1	小5	中3	高1
H21	小3	小6	中1	小2	小5	小6	小5	中2	中3
H22	小3	小5	小6	小2	小4	小5	小5	中1	中2
H23	小3	小4	小5	小2	小3	小4	—		
H24									
H25									

表4-11 今年度の中学校在校生の小学校時の授業実施状況

	御牧小学校	東角小学校	佐山小学校
中1	—	2年生	5年生
中2	—	2年生	5年生
中3	5年生	—	5年生

#### 2) アンケート内容

前項を踏まえたアンケート項目のイメージを以下に示す。

表4-12 アンケートにおける質問項目のイメージ

	質問項目	備考
交通に対する認識／公共交通の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>のってこバスの認知度</li> <li>家庭でのバスの時刻表の有無</li> <li>普段のバス、電車の利用の有無、頻度（ひとり・友達との場合、家族と一緒にの場合）</li> <li>乗車ルール、マナーの定着状況 ※バスや電車に乗ったときに席を譲るか？等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の利用状況に加えて、授業の内容を踏まえて設問</li> </ul>
地域に対する意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスや電車は好きか</li> <li>久御山町や自分の住んでいる地域は好きか</li> </ul>	
授業の記憶	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の記憶の有無</li> <li>どんな印象が残っているか</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由意見</li> <li>個人属性（性別）</li> </ul>	

## バスの利用状況などに関するアンケート(1年生用)

Q1. ふだんのバスの利用状況などについて聞きます。

(1) バスや電車などの公共交通は好きですか？

好き   どちらかという好き   どちらでもない   どちらかという嫌い   嫌い

(2) 「のってこバス」を知っていますか？

知っている   名前は聞いたことがある   知らない

(3) 家庭に「のってこバス」や「京阪バス」の時刻表などがありますか？

ある   たぶんある   わからない   ない

(4) 学校への通学以外で出かけるときに考える交通手段の選択肢と、バスの利用頻度を教えてください。

	考える選択肢 (当てはまるものを全て)	バスの利用頻度
家族と行動するとき	<input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 歩き <input type="checkbox"/> その他 (                      ) <input type="checkbox"/> 親が決めるので分からない	<input type="checkbox"/> 週に1、2回程度 <input type="checkbox"/> 月に1、2回程度 <input type="checkbox"/> 年に数回程度 <input type="checkbox"/> 利用していない
友達などと行動 (子どもだけで行動)	<input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 歩き <input type="checkbox"/> その他 (                      )	<input type="checkbox"/> 週に1、2回程度 <input type="checkbox"/> 月に1、2回程度 <input type="checkbox"/> 年に数回程度 <input type="checkbox"/> 利用していない

(5) バスや電車に乗ったとき、次のようなことをしていますか？(それぞれ当てはまるものにチェック)

	いつもしている	たまにする	したことはある	したことがない
お年寄りや体の不自由な人がいたら席をゆずる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あまり大声で話したり、さわいだりしないようにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
車内では携帯電話などを使わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
乗り方や行き先が分からない人がいたら教えてあげる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一緒になった人や運転手さんにあいさつをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
車内で飲食をしないようにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(6) 久御山町やあなたが住んでいる地域のことが好きですか？

好き   どちらかという好き   どちらでもない   どちらかという嫌い   嫌い

うら面にも答えてね！

図4-28 アンケート票/1年生(表)

**Q2. 通学していた小学校や授業について聞きます。**

(7) 小学校2年生と5年生のときに通っていた小学校を教えてください。

2年生のとき	<input type="checkbox"/> 御牧小学校	<input type="checkbox"/> 東角小学校	<input type="checkbox"/> 佐山小学校	<input type="checkbox"/> その他の小学校
5年生のとき	<input type="checkbox"/> 御牧小学校	<input type="checkbox"/> 東角小学校	<input type="checkbox"/> 佐山小学校	<input type="checkbox"/> その他の小学校

◆以下の(8)は、小学校2年生のときに東角小学校に通っていた人だけが、回答してください。

(8) みなさんは、2年生の生活科の授業でまちの施設などを見学する学習をしました。  
その時、施設まで行く手段としてのってこバスを利用し、バスの乗り方などについても学習をしました。  
この、のってこバスで見学に行った授業を覚えていますか？

<input type="checkbox"/> よくおぼえている	<input type="checkbox"/> そのような授業があったことはおぼえている
<input type="checkbox"/> 言われてみればあった気がする	<input type="checkbox"/> 全くおぼえていない

↓何が印象に残っていますか？(バスのデザイン、お金の払い方を教えてもらったこと等、何でも良いです)

◆以下の(9)は、小学校5年生のときに佐山小学校に通っていた人だけが、回答してください。

(9) みなさんは、5年生の授業でまちの施設などを見学する学習をしました。  
その時、施設まで行く手段としてのってこバスを利用し、バスの乗り方などについても学習をしました。  
この、のってこバスで見学に行った授業を覚えていますか？

<input type="checkbox"/> よくおぼえている	<input type="checkbox"/> そのような授業があったことはおぼえている
<input type="checkbox"/> 言われてみればあった気がする	<input type="checkbox"/> 全くおぼえていない

↓何が印象に残っていますか？(バスのデザイン、お金の払い方を教えてもらったこと等、何でも良いです)

(10) 公共交通などに関する学習について、意見や要望があれば書いてください。

(11) あなたの性別を教えてください。

<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
-----------------------------	-----------------------------

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

図4-29 アンケート票/1年生(裏)



**Q2. 通学していた小学校や授業について聞きます。**

(7) 小学校2年生と5年生のときに通っていた小学校を教えてください。

2年生のとき	<input type="checkbox"/> 御牧小学校	<input type="checkbox"/> 東角小学校	<input type="checkbox"/> 佐山小学校	<input type="checkbox"/> その他の小学校
5年生のとき	<input type="checkbox"/> 御牧小学校	<input type="checkbox"/> 東角小学校	<input type="checkbox"/> 佐山小学校	<input type="checkbox"/> その他の小学校

◆以下の(8)は、小学校2年生のときに東角小学校に通っていた人だけが、回答してください。

(8) みなさんは、2年生の生活科の授業で以下のような内容の学習をしました。

- ・「のってこバス」に乗ってバスの中の様子を調べたり、まちを調べてマップを作成する。
- ・絵本「ピン・ボン・バス」を使ってバスの乗り方のルール・マナー等を学習する。

この授業を覚えていますか？

<input type="checkbox"/> よくおぼえている	<input type="checkbox"/> そのような授業があったことはおぼえている
<input type="checkbox"/> 言われてみればあった気がする	<input type="checkbox"/> 全くおぼえていない

↓何が印象に残っていますか？（バスのデザイン、お金の払い方を教えてもらったこと等、何でも良いです）

◆以下の(9)は、小学校5年生のときに佐山小学校に通っていた人だけが、回答してください。

(9) みなさんは、5年生の総合学習の授業で以下のような内容の学習をしました。

- ・「のってこバス」に乗ってバスの利用状況等を調査する。
- ・「交通すごろく」を使って渋滞が発生する仕組みや「社会的ジレンマ」について学習する。
- ・のってこバスの利用を増やすための方法を考えて発表する。

この授業を覚えていますか？

<input type="checkbox"/> よくおぼえている	<input type="checkbox"/> そのような授業があったことはおぼえている
<input type="checkbox"/> 言われてみればあった気がする	<input type="checkbox"/> 全くおぼえていない

↓何が印象が残っていますか？（バスのデザイン、お金の払い方を教えてもらったこと等、何でも良いです）

(10) 公共交通などに関する学習について、意見や要望があれば書いてください。

(11) あなたの性別を教えてください。

<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
-----------------------------	-----------------------------

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

図4-31 アンケート票／2年生(裏)

## バスの利用状況などに関するアンケート(3年生用)

### Q1. ふだんのバスの利用状況などについて聞きます。

(1) バスや電車などの公共交通は好きですか？

好き どちらかというが好き どちらでもない どちらかという嫌い 嫌い

(2) 「のってこバス」を知っていますか？

知っている 名前は聞いたことがある 知らない

(3) 家庭に「のってこバス」や「京阪バス」の時刻表などがありますか？

ある たぶんある わからない ない

(4) 学校への通学以外で出かけるときに考える交通手段の選択肢と、バスの利用頻度を教えてください。

	考える選択肢（当てはまるものを全て）	バスの利用頻度
家族と行動するとき	<input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 歩き <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 親が決めるので分からない	<input type="checkbox"/> 週に1、2回程度 <input type="checkbox"/> 月に1、2回程度 <input type="checkbox"/> 年に数回程度 <input type="checkbox"/> 利用していない
友達などと行動 (子どもだけで行動)	<input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 歩き <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 週に1、2回程度 <input type="checkbox"/> 月に1、2回程度 <input type="checkbox"/> 年に数回程度 <input type="checkbox"/> 利用していない

(5) バスや電車に乗ったとき、次のようなことをしていますか？（それぞれ当てはまるものにチェック）

	いつもしている	たまにする	したことはある	したことがない
お年寄りや体の不自由な人がいたら席をゆする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あまり大声で話したり、さわいだりしないようにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
車内では携帯電話などを使わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
乗り方や行き先が分からない人がいたら教えてあげる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一緒になった人や運転手さんにあいさつをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
車内で飲食をしないようにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(6) 久御山町やあなたが住んでいる地域のことが好きですか？

好き どちらかというが好き どちらでもない どちらかという嫌い 嫌い

うら面にも答えてね！

図4-32 アンケート票/3年生(表)





### 4-2-3 調査結果

#### (1)ヒアリング調査

##### 1)ヒアリングの実施結果

次頁以降にヒアリングの実施結果を示す。

## (a) 御牧小学校

### 打ち合わせ記録簿（御牧小学校）

日時；平成 24 年 11 月 12 日

場所：御牧小学校

出席者：御牧小学校／小畑校長、八木教頭

京都府／仲尾副課長、馬籠主事

オリエンタルコンサルタンツ／土崎

#### 1. これまでの取り組みについて

- ・ 現在は、3年生を対象に年1～3回実施している。
- ・ 3、4年生は地域のことを学習するため外出・見学等の機会が多く、その際送迎バスでただ見に行くだけでなく、のってこバスに自分で料金を払って乗車し施設まで行く体験をしている。
- ・ これを通じて、バスに乗れば自分の足だけではいけない色々なところに行けるということの認識が広がっていけば、周囲に目を向けて視野を広げていくきっかけになるのではないかと考えて実施している。
- ・ 児童にとっては、バス停というのが自分が住んでいる地域の外とつながる入り口と考えている。
- ・ 時間が合わなければ、見学先の施設周辺の公園などで時間をつぶす必要も出てくるが、こういったことも意味があると考えている。
- ・ 乗車費用は久御山町が負担しており、事前に人数分のお金をもらって児童に配っている。
- ・ 3年生は概ね毎年40人以下程度で、1台のバスで乗車が可能である。
- ・ このような学習の際は担任に加えて1・2名の大人が同行するようにしている。
- ・
- ・ 授業の前には、路線の走行ルートや乗り方などのってこバスについての簡単な説明をしている。バスのメリットや意義などの説明はしていない。
- ・ これらの授業は、社会科または総合学習で実施している。
- ・ ルートがもっと色々な施設に行きやすければ、より多くの機会に利用したいという意向はある。
- ・ 久御山町からの費用補助がなくなると継続することが難しくなるかもしれない。

#### 2. 授業の効果について

- ・ 大人にとっては当たり前のことだが、3年生くらいだと初めてバスに乗る児童も多く、印象は強いと思う
- ・ 中学生に聞いても、乗ってどこかに行ったことは覚えているのではないかと。

### 3. その他

- ・その他の出前授業等については、調整の手間や授業時間の制約等があることから、新たに実施することは考えていない。

## (b) 東角小学校

### 打ち合わせ記録簿（東角小学校）

日時；平成 24 年 11 月 21 日

場所：東角小学校

出席者：東角小学校／谷口教頭

京都府／馬籠主事

オリエンタルコンサルタンツ／土崎

#### 1. これまでの取り組みについて

- ・現在は 2 年生を対象に年 2 回程度実施している。
- ・2 年生の生活科の中の単元で自分のまちを知ろうという内容がある。その中でイオンや役所の見学に行くが、交通手段も含め効果的に学習するためにその移動手段として活用している。
- ・当初はバスの工夫などを学ぶ出前授業だったが、当時の校長が生活科の専門家で生活科の中で継続的に活用できないかと考えた結果、今のような形になった。
- ・授業の前には、路線の走行ルートや乗り方などのってこバスについての簡単な説明をしている。乗車時間は 20～30 分程度あるが、特に中で話や説明をしたりはしていない。
- ・もし、授業の前に説明すると理解が深まるような資料やバスに乗っているときに観察するためのワークシートなどがあれば活用することも考えられる。
- ・乗車費用は久御山町が負担しており、事前に人数分のお金をもらって児童に配っている。久御山町の協力があるからこそ実施できており、補助等がなくなると継続することが難しくなるかもしれない。

#### 2. 授業の効果について

- ・バスに乗ったことに対する直接的な反響は特に聞いたことはない。久御山町では車か自転車ほとんどで、日常生活で家庭でバスを使うということは少ないと考えられる。
- ・中学生でも、2 年生でまちを調べる学習をしたかどうか、その際バスに乗ったかどうかくらいは覚えている児童もいると思う。

#### 3. その他

- ・自動車で行動することが普通な環境で育った子どもと、公共交通をよく利用する子どもでは、我慢できる程度や人の様子を見て行動する能力が違ってくると思う。
- ・そういったことも通じ、自分のまちに愛着を持ち主体的に行動できる人間を育てたいと思っている。交通は良い題材だと思う。
- ・各科毎に府の研究会がある。社会科や生活科の集まりで発信していくと興味を持つ先生もいるかもしれない。

## (c) 佐山小学校

### 打ち合わせ記録簿（佐山小学校）

日時；平成 24 年 11 月 21 日

場所：佐山小学校

出席者：佐山小学校／村田教頭

京都府／馬籠主事

オリエンタルコンサルタンツ／土崎

#### 1. これまでの取り組みについて

- ・今年度は 2 年生の生活科で見学に行く際の交通手段として活用した。1 学年 2 クラスあり 1 台では乗り切れないため、町バスとのってこバスで 1 クラスずつ移動し、帰りに交代する形で利用した。
- ・また、5 年生でも社会科で行政の役割等を学習する題材としてのってこバスができるまでの経緯等を久御山町に説明してもらい、体験乗車するという内容を実施することを考えている。授業内容は調整中で 2 学期中には実施する予定である。
- ・昨年度はたまたま実施しなかったが、今年度の教頭会で市役所からのってこバスの活用の要望があり、各学年に周知したところ上記の要望があり実施することとなった。
- ・これまでは 5 年生だけでなく 2 年生でも見学の際の交通手段としてのってこバスを利用していたと思う。
- ・まちな見学に行く機会はいろいろとあるが、基本的には町バスでの送迎をお願いしている。それが難しい場合などによってこバスを利用している。
- ・授業の前には、路線の走行ルートや乗り方などのってこバスについての簡単な説明をしている。乗車時間は 10 分程度で特に中で話や説明をしたりはしていない。
- ・もし、授業の前に説明すると理解が深まるような資料やバスに乗っているときに観察するためのワークシートなどがあれば活用することも考えられる。
- ・乗車費用は久御山町が負担しており、事前に人数分のお金をもらって児童に配っている。
- ・周辺地域でも、久御山町ほどこのような取り組みに対して手厚くサポートしてくれる自治体は珍しいと思う。補助等がなくなると継続することが難しくなるかもしれない。

#### 2. 授業の効果について

- ・特に効果については想定していない。授業を覚えているかどうかくらいだと思う。

#### 3. その他

- ・5 年生の授業は見学しても構わない。日程等が決まったら連絡する。

2)ポイントのまとめ

- 社会科、生活科での地域の見学の際の交通手段として活用されている。
- 久御山町のサポート（運賃の負担、準備）により取り組みが続いている。
- 効果を高めるため、ワークシート等を配布することも考えられる。

表4-13 ポイントのまとめ

	対象者	これまでの取り組み内容	授業の効果について	その他
御牧小学校	・小畑校長 ・八木教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会科または総合学習で3年生を対象に年1～3回実施。地域学習の見学の際にのってこバスに自分で料金を払って乗車し施設まで行く。</li> <li>• 周囲に目を向けて視野を広げていくきっかけになるのではないかと考えて実施している。時間が合わなければ時間をつぶす必要も出てくるが、こういったことも意味があると考えている。</li> <li>• 乗車費用は久御山町から事前に人数分をもらって児童に配っている。町からの補助がなくなると継続が難しくなるかもしれない</li> <li>• 授業の前には、走行ルートや乗り方などの簡単な説明をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大人にとっては当たり前のことだが、3年生くらいだと初めてバスに乗る児童も多く、印象は強いと思う。</li> <li>• 中学生に聞いても、乗ってどこかに行ったことは覚えているのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• その他の出前授業等は、調整の手間や授業時間の制約等から、新たに実施することは考えていない。</li> </ul>
東角小学校	・谷口教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2年生の生活科の中の単元（自分のまちを知ろう）で、イオンや役所の見学に行くが、交通手段も含め効果的に学習するために移動手段として活用している。</li> <li>• 当初はバスの工夫などを学ぶ出前授業だったが、当時の校長が生活科の専門家で生活科の中で継続的に活用できないかと考えた結果、今のような形になった。</li> <li>• 授業の前に説明すると理解が深まるような資料やバスに乗っているときに観察するためのワークシートなどがあれば活用することも考えられる。</li> <li>• 久御山町の協力があるからこそ実施できており、補助等がなくなると継続することが難しくなるかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 久御山町では車か自転車がほとんどで、日常生活でバスを使うということは少ないと考えられるが、中学生でも2年生でまちを調べる学習をしたかどうか、その際バスに乗ったかどうかくらいは覚えている児童もいると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動車で行動することが普通の環境で育った子どもと、公共交通をよく利用する子どもでは、我慢の程度や人の様子を見て行動する能力が違ってくると思う。</li> <li>• そういったことも通じ、自分のまちに愛着を持ち主体的に行動できる人間を育てたい。交通は良い題材。</li> <li>• 社会科や生活科の集まりで発信していくと興味を持つ先生もいるかもしれない。</li> </ul>
佐山小学校	・村田教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年度は5年生の社会科（行政）の題材として、のってこバスができるまでの経緯を町に説明してもらい、体験乗車するという内容を考えている。</li> <li>• 今年度は2年生でも生活科の見学に活用した。</li> <li>• 周辺地域でも、久御山町ほどこのような取り組みに対してサポートしてくれる自治体は珍しいと思う。補助等がなくなると継続することが難しくなるかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 特に効果については想定していない。授業を覚えているかどうかくらいだと思う。</li> </ul>	—

## (2)アンケート調査

### 1)配布回収状況

アンケートの実施概要を以下に示す。

表4-14 アンケート実施概要

	実施概要
実施目的	久御山町の小学校における交通環境学習の効果を把握する
実施対象	久御山中学校 1～3 年生
実施時期	平成 25 年 1 月
配布・回収状況	■配布 600 部 ■回収 1 年生：158 部 2 年生：162 部 3 年生：127 部 合計：447 部



## 2) 属性

### (a) 授業受講状況

- 合計 447 人の中学生から回答を得た。
- 各学生とも半数以上が受講者である。

表4-15 授業の受講状況・人数

	受講した授業		回答人数
	学校・学年	授業内容	
1 年生	東角小学校 2 年生	見学時にバスを利用	59 人
	佐山小学校 5 年生	見学時にバスを利用	38 人
	受講なし	—	61 人
2 年生	東角小学校 2 年生	ピンポンバスの出前授業	57 人
	佐山小学校 5 年生	交通すごろくの出前授業	60 人
	受講なし	—	47 人
3 年生	御牧小学校 5 年生	交通すごろくの出前授業	27 人
	佐山小学校 5 年生	交通すごろくの出前授業	46 人
	受講なし	—	54 人
合計			447 人

### (b) 性別

- 性別は、どの学年ともほぼ同数である。

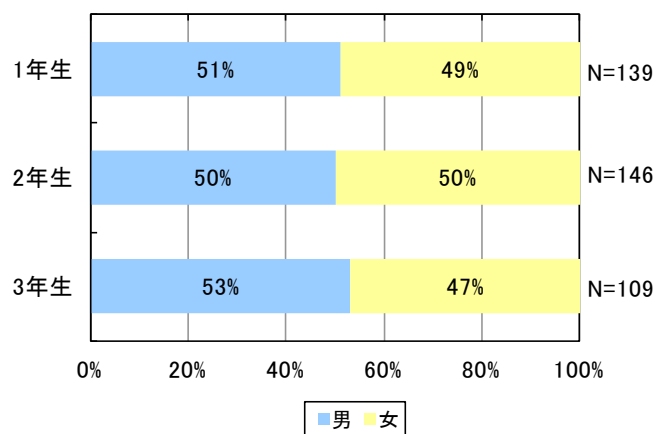


図4-34 性別

### 3) 授業について

#### (a) 授業の記憶の有無・印象に残っている内容

- ・バスを使った見学の記憶率が高く、特に2年後の生徒の記憶率が高い。
- ・その他の出前授業は、3～6年が経過しているが、1割以上がよく記憶している。

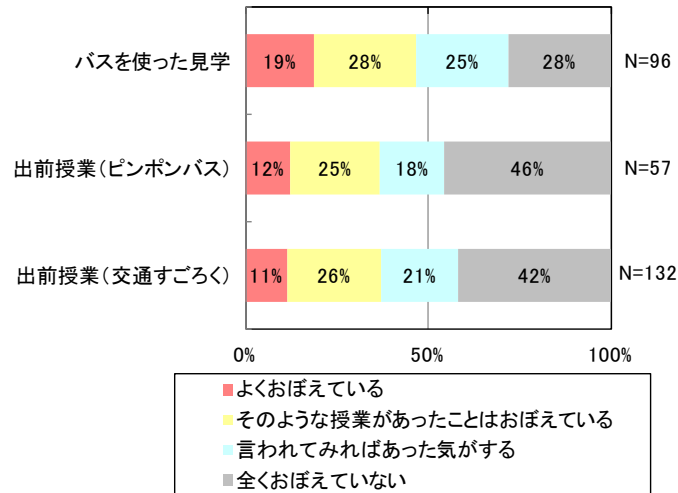


図4-35 授業の記憶(受講状況別)

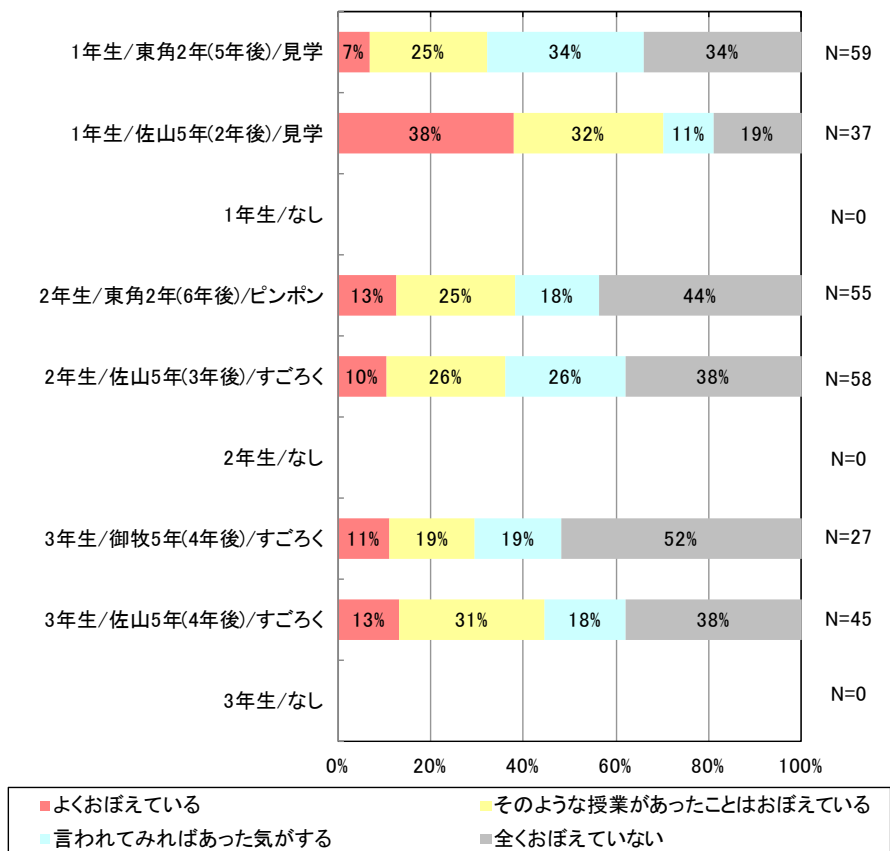


図4-36 授業の記憶(細分類)

表4-16 印象に残っている内容

<p>バスを使った見学</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パスルのもよう。うしろの方のざせきが前よりも上がっていた。まどが大きくて景色が見やすかった。</li> <li>• わかりやすいところに「せきをゆずってあげてください」みたいなシールをはっていた。</li> <li>• お金が紙の中に入っているのをわたされた。白と赤のデザインだった感じがした。</li> <li>• みんなで乗ってお金の払い方や乗ってる時のマナーをおしえてもらったこと。</li> <li>• 車イスの人のために設けがしてあったこと。</li> <li>• 友だちと二人でいっしょに1人分のいすにすわった。</li> <li>• お年よりの方や体の不自由な方のための優先席があったと思う。</li> <li>• 妊娠中の女の人がやってきて、友達と席をゆずったり荷物をもってあげたりしたところ、先生にほめられた。</li> <li>• お金の払い方を教えてもらった。おばちゃんに席をゆずってあげた。</li> <li>• バスの中の運賃箱やつりわの絵を学校でかいたことがあったような気がする。</li> </ul>
<p>出前授業 (ピンポンバス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• つりかわや、席の数などをしらべて、レポートにしたこと。(新聞?)</li> <li>• ダンボールで使って・・・。</li> <li>• バスが、どこからどこへ行くのかや、バスのしくみなど。</li> <li>• バスの絵を書いた気がする。</li> <li>• めっちゃ便利やなぁーと思った！！</li> <li>• はっぼうスチロールでバスをつくった。</li> </ul>
<p>出前授業 (交通すごろく)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 車いすに乗っていても、何かの機械でバスに乗せられること</li> <li>• みんなでバス停の数をかぞえたこと</li> <li>• バスに乗って西まわり?を一巡したこと?</li> </ul>

(b) 公共交通などに関する学習についての意見や要望

- もうちょっと学習した方が良い、久御山中でもやってほしいといった意見が複数ある。

表4-17 意見・要望

バスを使った見学	<ul style="list-style-type: none"><li>• 時間をもうすこしふやすのと、のってこバスを乗るところが昔より減っているのをどうにかしてほしい。役場にあるのってこバスのほうがいっぱいあった。</li><li>• 久御山町内に電車がなく、わざわざよどか大久保にいかないといけないので近くにつくってほしい。</li><li>• 久御山中でもやってほしい。</li><li>• もうちょっと学習した方が良いと思う。公共交通機関を使えばみんなと会話ができたりする。CO2さく減につながる</li><li>• のってこバスなどに乗ってどこかに行く、という学校行事をつくってほしい。</li></ul>
出前授業 (ピンポンバス)	—
出前授業 (交通すごろく)	<ul style="list-style-type: none"><li>• 学校に無料でバスをだしてほしい。</li><li>• これからものってこバスのようなのをふやしていけばいいと思う。</li><li>• 中学校前ののってこバスの時間をもっとふやしてほしい。2時から5時とかに来てほしい。</li><li>• マナーをくわしくしりたい</li></ul>

#### 4)バスの利用状況等

##### (a)「のってこバス」の認知度

- 受講者は、非受講者に比べてのってこバスの認知度が高い。
- また、学年が高いほど認知度が高い。

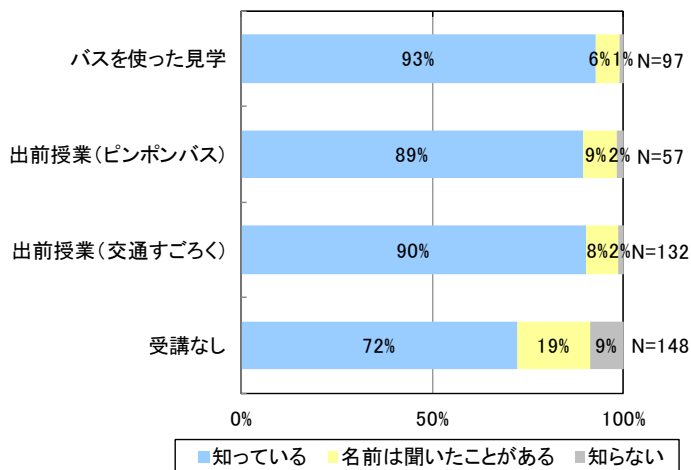


図4-37 のってこバスの認知度(受講状況別)

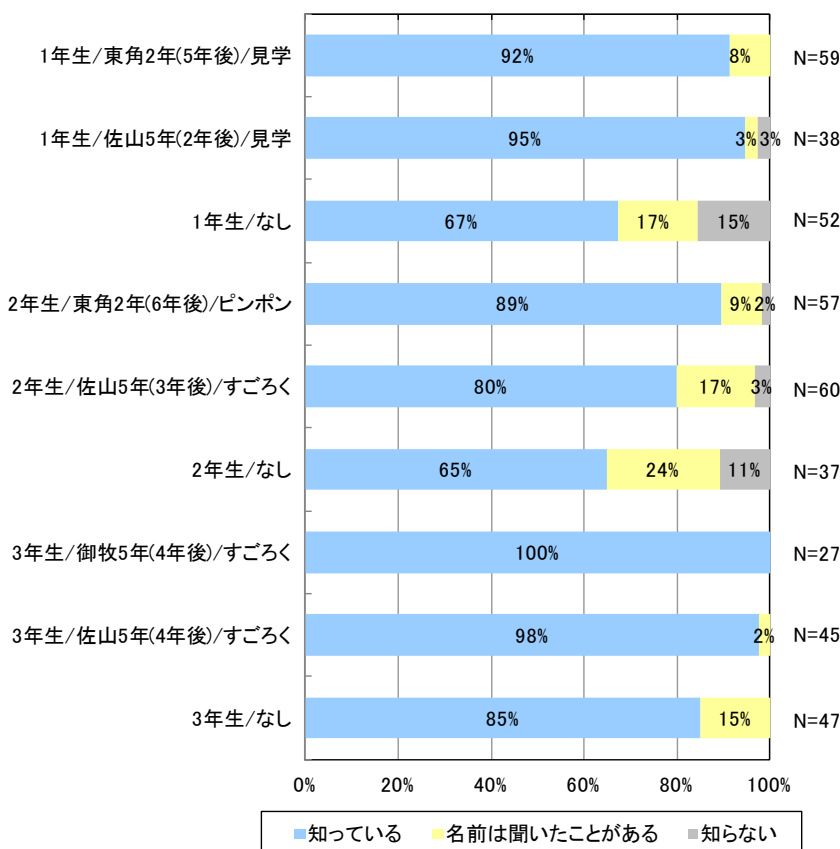


図4-38 のってこバスの認知度(細分類)

(b)「のってこバス」や「京阪バス」の時刻表の有無

・認知度ほど顕著ではないが、受講者は時刻表の保有率が高い。

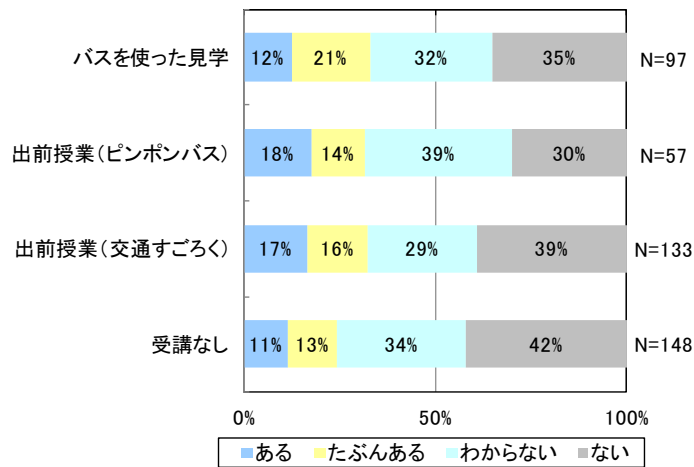


図4-39 時刻表の有無(受講状況別)

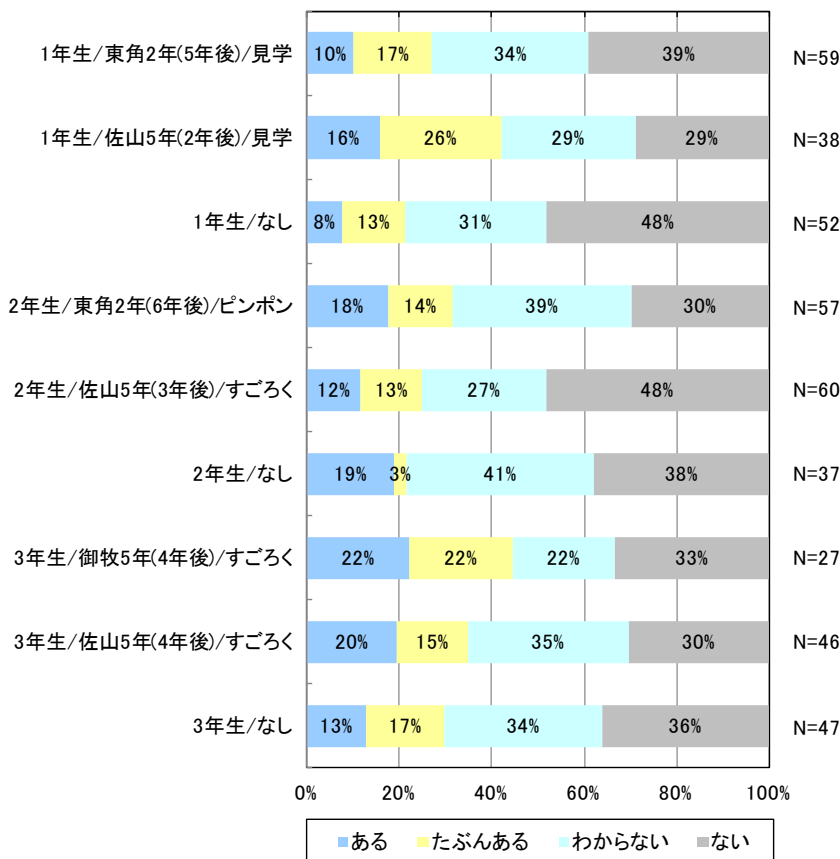


図4-40 時刻表の有無(細分類)

(c) 出かけるときに考える交通手段の選択肢とバスの利用頻度

・友達などとの行動をみると、バスを使った見学受講者のバス考慮率が高く、出前授業受講者の利用頻度が高くなっている。

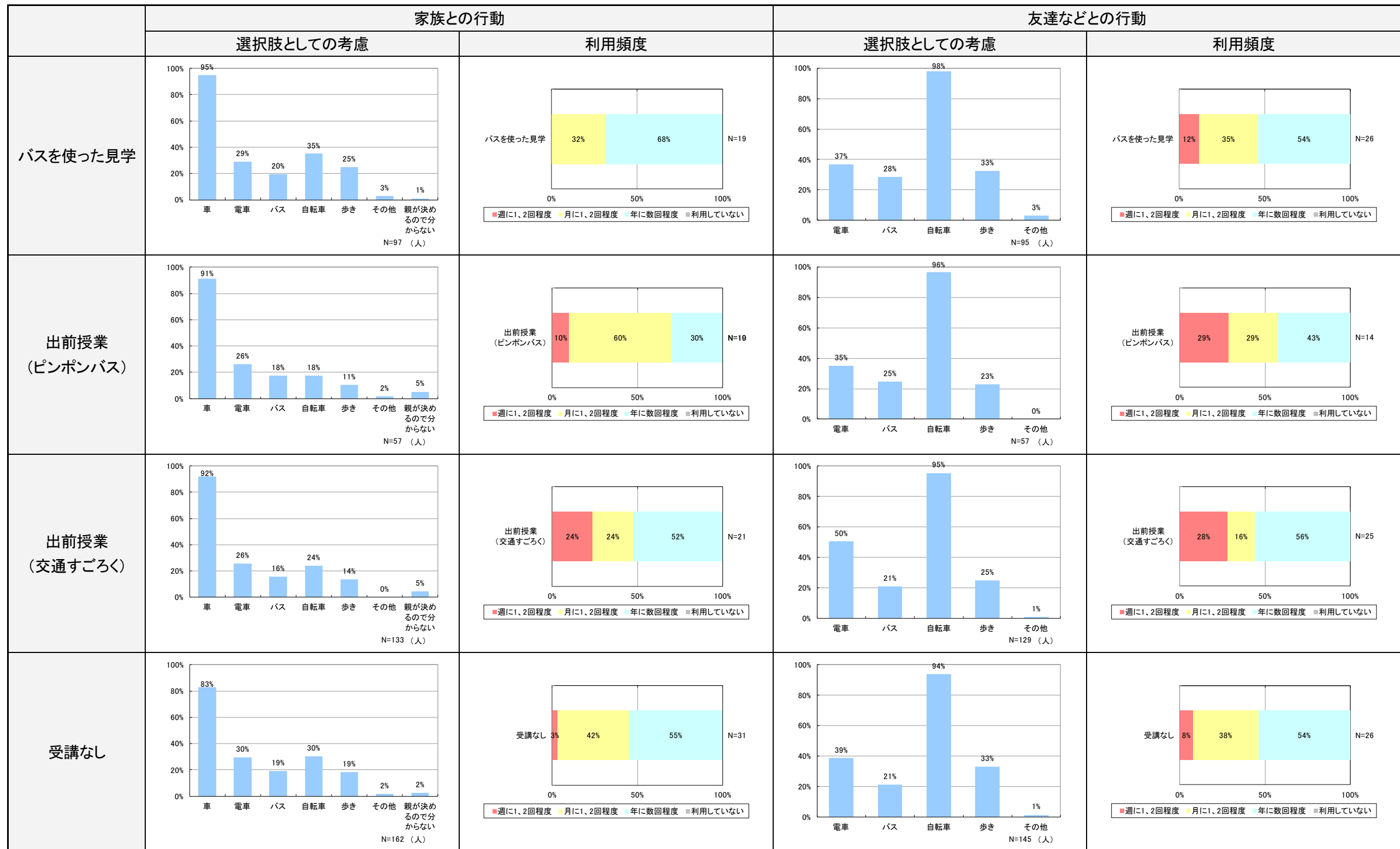


図4-41 考える交通手段とバスの利用頻度

5) マナー、地域愛着

(a) バスや電車の乗車マナー

- いずれのマナーも、受講者の意識が高いといった傾向はみられない。
- 騒がない、携帯電話を使わない、飲食をしない等の実施率が高く、あいさつをする、行き先を教える等の行動を併うものは、実施率が低い。

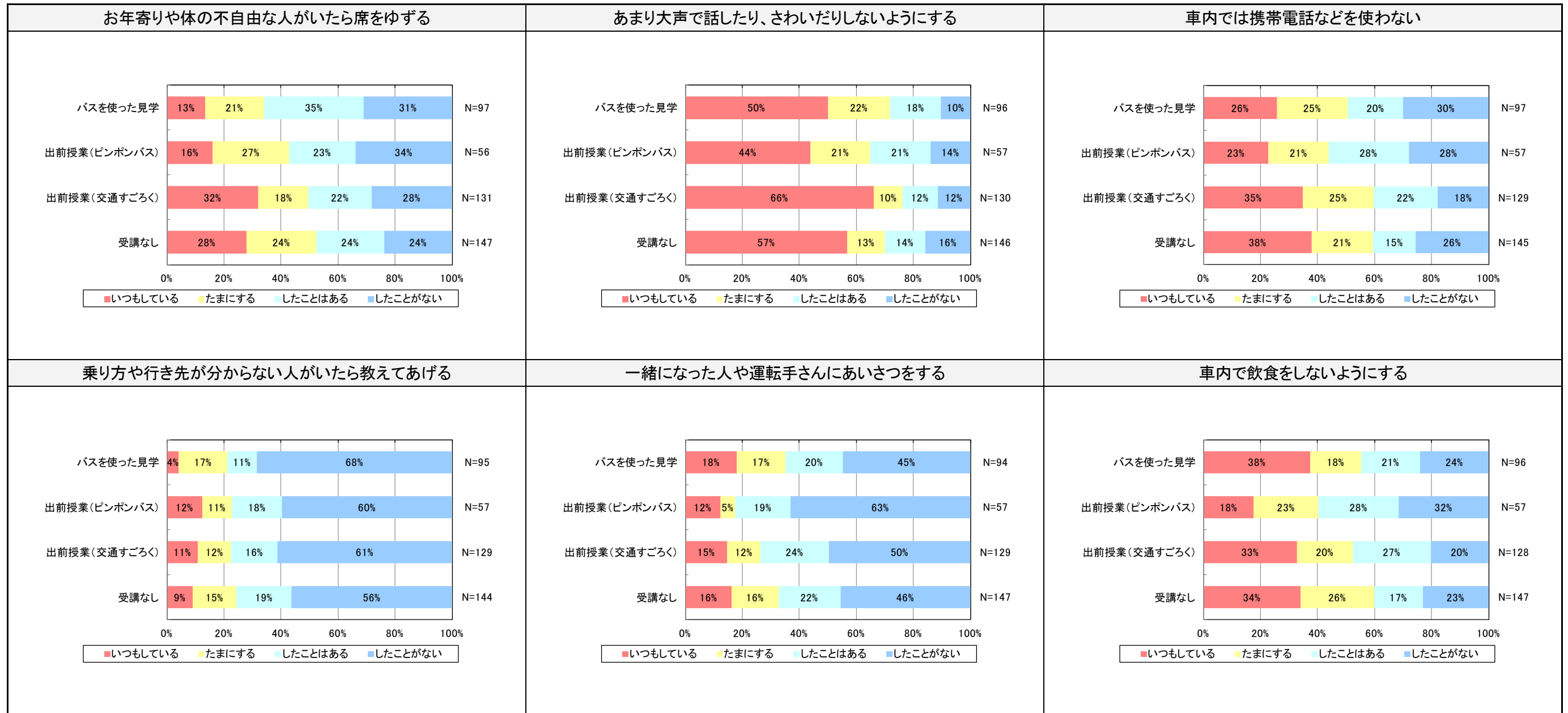


図4-42 バスや電車の乗車マナー(受講状況別)





図4-43 バスや電車の乗車マナー(細分類)

(b) バスや電車などの公共交通は好きか

- 受講生の方がバス等への愛着が強いといった傾向はみられない。
- 学年が低いほど愛着が強くなっている。

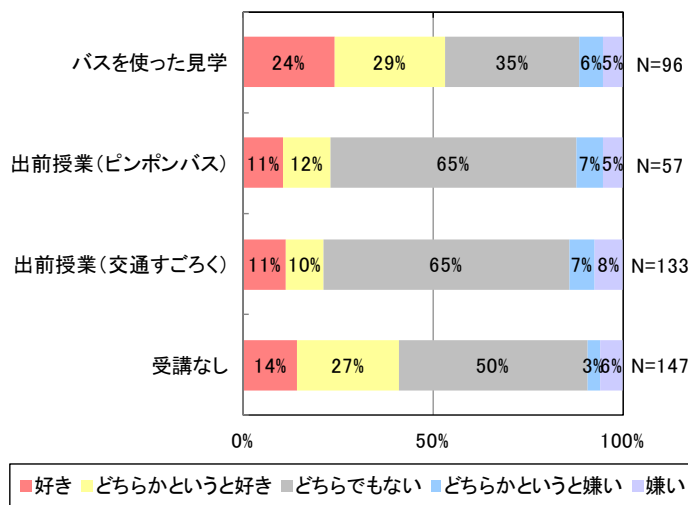


図4-44 公共交通が好きか(受講状況別)

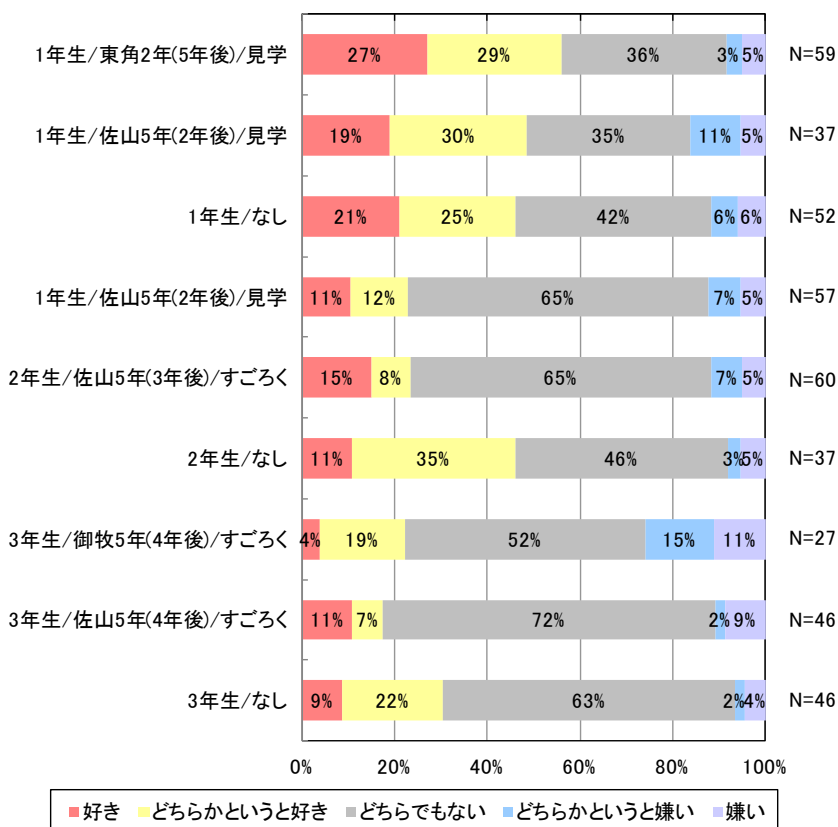


図4-45 公共交通が好きか(細分類)

(c) 久御山町は好きか

• 受講者の方が地域愛着が強いといった傾向はみられない。

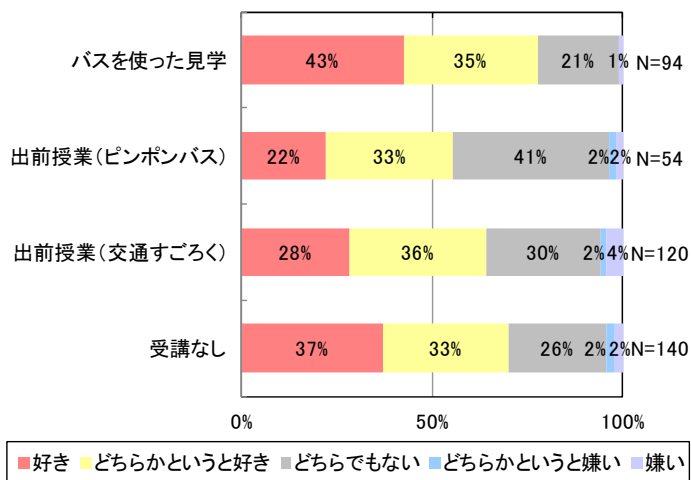


図4-46 久御山町が好きか(受講状況別)

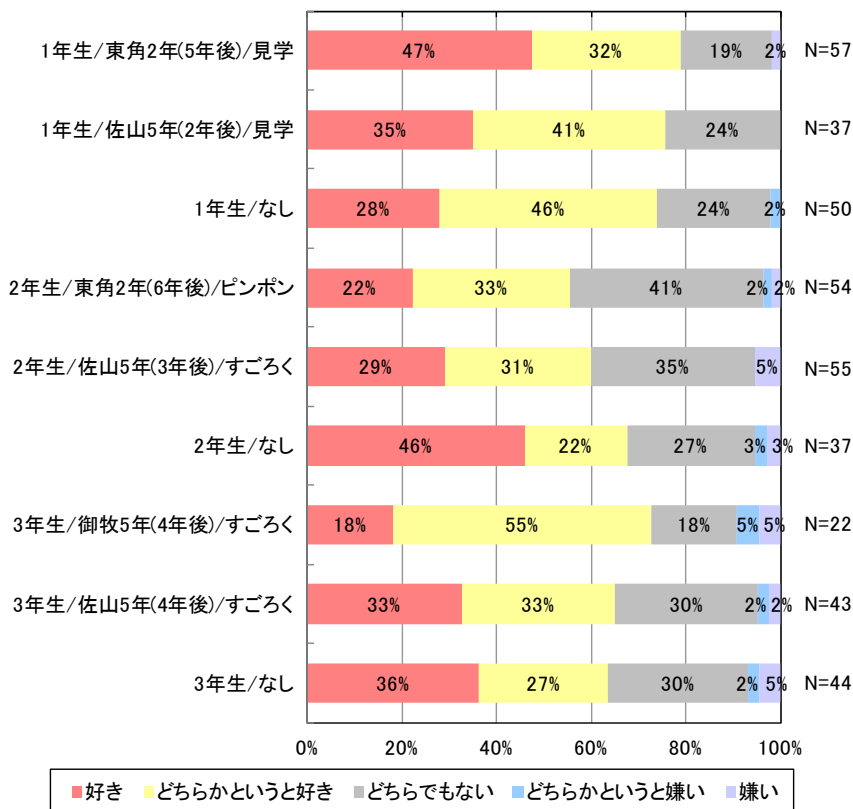


図4-47 久御山町が好きか(細分類)

6)まとめ

- ・授業はよく記憶されており、バスの認知やバスの選択に対する効果が見られる。
- ・バス見学は、出前授業に比べて効果は浅いが、広く印象に残りやすいと考えられる。

表4-18 まとめ

	結果概要		まとめ
(1)授業について	1) 授業の記憶の有無・印象に残っている内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを使った見学の記憶率が高く、特に2年後の生徒の記憶率が高い。</li> <li>・その他の出前授業は、3～6年が経過しているが、1割以上がよく記憶している。</li> </ul>	<p>→時間が経過すると忘れる傾向があるが、よく記憶されている。</p> <p>→出前授業は、バス見学に比べて印象が強いと考えられる。</p>
	2)公共交通などに関する学習についての意見や要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もうちょっと学習した方が良い、久御山中でもやってほしいといった意見が複数ある。</li> </ul>	
(2)バスの利用状況等	1)「のってこバス」の認知度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者は、非受講者に比べてのってこバスの認知度が高い。</li> <li>・また、学年が高いほど認知度が高い。</li> </ul>	<p>→授業により、認知度等の向上に効果がみられる。</p> <p>→出前授業は、実際の選択率にも影響を与えていると考えられる。</p>
	2)「のってこバス」や「京阪バス」の時刻表の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度ほど顕著ではないが、受講者は時刻表の保有率が高い。</li> </ul>	
	3)出かけるときに考える交通手段の選択肢とバスの利用頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達などとの行動をみると、バスを使った見学受講者のバス考慮率が高く、出前授業受講者の利用頻度が高くなっている。</li> </ul>	
(3)マナー、地域愛着	1)バスや電車の乗車マナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれのマナーも、受講者の意識が高いといった傾向はみられない。</li> <li>・騒がない、携帯電話を使わない、飲食をしない等の実施率が高く、あいさつをする、行き先を教える等の行動を併うのは、実施率が低い。</li> </ul>	<p>→マナーや地域に対する意識については、顕著な効果はみられない。</p>
	2)バスや電車などの公共交通は好きか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生の方がバス等への愛着が強いといった傾向はみられない。</li> <li>・学年が低いほど愛着が強くなっている。</li> </ul>	
	3)久御山町は好きか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の方が、地域愛着が強いといった傾向はみられない。</li> </ul>	

### (3) 調査結果のまとめ

調査結果から、久御山町における取り組みの効果やポイントとして、以下のような点が挙げられる。

- 既往の取り組みと連携させることで負担を軽減し、無理なく実施されている。
- 学校と久御山町の連携（費用の負担等）により継続している。
- 学習はよく記憶されており、バスの認知やバスの選択状況に対する効果が見られる。バス見学は出前授業に比べて効果は浅いが広く印象に残りやすい。
- バス見学を継続していく上では、効果を深める工夫を加えることも考えられる。

## 5. 継続実施の検討

### 5-1 実施概要

交通環境学習の継続的な実施に向けて、今年度の実施結果を関係者に報告・発信し、取り組みの理解や効果の認知を図るとともに、課題を把握することを目的として、学校・自治体への発信・事業者へのフィードバックを実施した。

表5-1 実施概要

	対象	主旨
学校・自治体等への発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・府内の小学校教師（校長会での発信）</li><li>・自治体バス担当者</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・関係者へのPR、周知</li><li>・概要や効果の理解</li><li>・考えるきっかけづくり</li></ul>
事業者へのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"><li>・各学校で授業に協力して頂いた交通事業者</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業評価（親へのアンケート）の報告</li><li>・今年度の授業内容や取り組みに対する意見聴取</li></ul>

### 5-2 学校・自治体等への発信

#### 5-2-1 小学校関係者への発信

##### (1)実施概要

以下に小学校関係者への発信の実施概要を示す。

表5-2 実施概要

	実施概要
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校関係者へのPR、拡大</li><li>・取り組みの概要や効果の理解</li></ul>
対象	<ul style="list-style-type: none"><li>・京都府内の校長先生</li></ul> ※京都府校長会理事会にて説明（10分程度）
日時	平成24年11月20日
説明内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・取り組みの背景、必要性</li><li>・これまでの実施内容</li><li>・教育面の効果（子どもの感想等）</li></ul>

##### (2)説明資料

次頁以降に説明資料を示す。

# 交通環境学習のご案内



- 環境や地域のことを考えた行動
- 地域の足、公共交通の役割
- 高齢者や地域とともにある暮らし

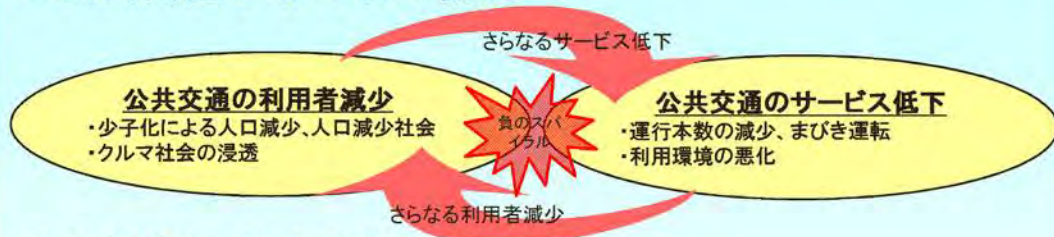
などを学び、  
考える  
授業です！



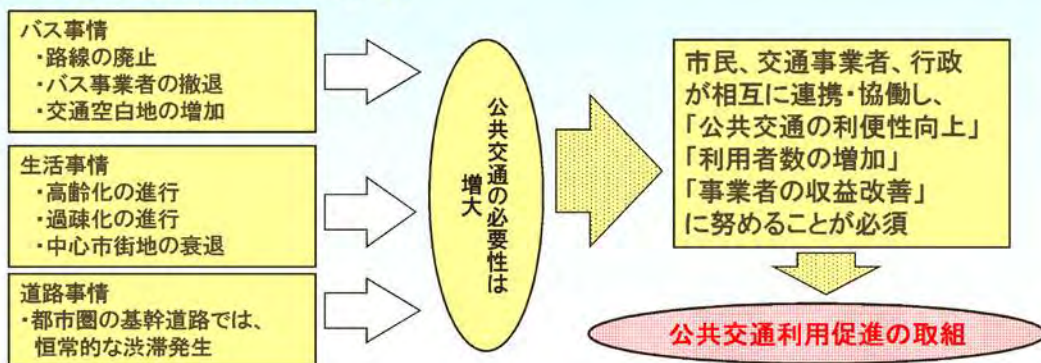
## はじめに・・・とりくみの経過と背景

1

### ●公共交通を取り巻く状況



### ●京都府における事情



## はじめに・・・とりくみの経過と背景

2

### 企業とともに

企業や職場に対し、通勤時における公共交通利用を働きかけます。

### 地域とともに

女性団体や老人会、自治会の方々に、外出時の公共交通利用を働きかけます。

### 学校とともに

学校と協力しながら、子供たちが公共交通の現状や、クルマが環境に与える影響などについて学ぶ機会を設けます。

- 学校向け出前授業（交通環境学習）
- 体験乗車
- バス・エコファミリーなどの実施

### 出前授業



### 体験乗車



### バス・エコファミリー



## 交通環境学習とは？

- **交通に関わる社会問題**や**社会のしくみ**について知り、考える学習。
- 一人ひとりが**自分や家族の移動手段**を「**人や社会、環境へのやさしさ**」という観点から見直し、**自発的な行動**を取れる人を育てていくことを目指しています。

## 1. これまでの取り組み

3

- ・平成17年より、様々な地域で交通すごろくや乗車体験など、地域や対象学年にあわせた内容を実施しています。
- ・久御山町では取り組みが定着し、毎年小学校が自主的に実施しています。





	市町村名	小学校名	学 年	内 容
平成17年度	久御山町	佐山小学校	5 年	…のってこバスの歴史を学ぶ
平成18年度	久御山町	佐山小学校 御牧小学校 東角小学校	5 年	…交通すごろく
			5 年	…環境との関係について学ぶ
			2 年	…バスへの関心と利用マナーについて学ぶ
平成19年度	久御山町 八幡市	佐山小学校 御牧小学校 東角小学校 第四小学校 第五小学校	5 年	…バス乗車体験、乗客インタビュー
			5 年	…バス乗車体験、出前講座
			2 年	…バス乗車体験、出前講座
			5 年	…温暖化と交通手段の出前授業
			全学年	…車とバスの選択についての話
平成20年度	久御山町 宇治市 城陽市 長岡京市	佐山小学校 御牧小学校 東角小学校 西大久保小 寺田南小学 第四小学校 第六小学校	5 年	…交通すごろく、体験乗車
			5 年	…交通すごろく、体験乗車
			2 年	…バス体験乗車、出前授業
			5 年	…フードマイレージ授業
			全学年	…車とバスの選択についての寸劇
			5 年	…温暖化と交通手段についての授業
平成21年度	久御山町 城陽市	佐山小学校 御牧小学校 東角小学校 深谷小学校	5 年	…交通すごろく、体験乗車
			3 年	…ピンポンバス授業、乗車体験
			2 年	…ピンポンバス授業、乗車体験
			5 年	…交通すごろく、体験乗車
			5 年	…交通すごろく、体験乗車
平成22年度	久御山町 城陽市 京丹後市	御牧小学校 東角小学校 寺田南小学校 網野南小学校	3 年	…乗車体験
			2 年	…乗車体験
			5 年	…交通すごろく、体験乗車
			5 年	…交通すごろく、KTR・200円バスの話
			5 年	…交通すごろく、KTR・200円バスの話
平成23年度	久御山町 亀岡市	御牧小学校 東角小学校 大井小学校 川東小学校	3 年	…乗車体験
			2 年	…乗車体験
			5 年	…ガリバーマップ、物流の工夫
			5 年	…バス車両見学、ワークショップ
			5 年	…バス車両見学、ワークショップ
平成24年度	久御山町 亀岡市 福知山市	御牧小学校 東角小学校 大井小学校 川東小学校 成仁小学校	3 年	…乗車体験
			2 年	…乗車体験
			5 年	…鉄道を支える工夫
			5 年	…バス車両見学
			5 年	…バス車両見学
			5 年	…バス車両見学



## 2. これまでに実施した授業の概要(～H22)

### ●体験乗車の様子



### ●「交通すごろく」(高学年向け)出前授業の様子



### ●「バスと環境」についての寸劇(全学年向け)の様子



### ●「ピンポンバス」(低学年向け)出前授業の様子



## 2. これまでに実施した授業の概要(H23)

6

	大井小学校	川東小学校
1回目(9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガリバーマップ(大きな地図)を使った授業</li> <li>⇒交通手段を選ぶ際、様々な視点から考えて選択することを学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の生活を支えるバスについて考え、<b>自発的・継続的な行動</b>へ結びつける</li> </ul>
	<p>車は便利な乗り物だけど、みんなが車ばかり使うと困るよね。渋滞・環境悪化・公共交通の衰退など</p> 	  <p>車に乗れない人にとってバスは大切な移動手段。みんなが地域の足を守ろう!</p>
2回目(1月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宅急便の車両見学</li> <li>⇒物流の環境への工夫を学ぶ</li> <li>●身近な物流の工夫を知る</li> <li>⇒自分の行動を考えるきっかけに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の生活を支えるバスをもっとみんなが<b>使いやすい、便利になる方法</b>や<b>乗りやすくなる方法</b>を考える。ワークシートで取組</li> </ul>
	<p>車がなくてはならない物流業界でも様々な工夫をしている。私たちにもできることは何だろうか?</p>  	 

## 2. これまでに実施した授業の概要(H24)

7

	大井小学校	川東小学校	成仁小学校
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JR西日本の出前授業</li> <li>鉄道に関わる様々な仕事</li> <li>⇒地域の交通が生活を支えていることを学び、公共交通の果たす役割を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の生活の足としてバスの果たす役割について考え、移動手段を守る為に自分たちができることを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●京都交通バス授業</li> <li>⇒地域の生活を支えるバスについて考え、継続的・自発的な行動へ</li> </ul>
	<p>多くの人が地域の生活を支えているね。自分たちには何だろうか</p> <p>補線の仕事やホームの整備、駅での案内など、色々な仕事があるね</p>   	<p>バスの中や周りには色々な設備がいっぱい、それぞれどんな役割があるのだろう。</p> 	<p>お年寄りや身体の不自由な人など、バスはいろんな人が利用しやすいように、様々な工夫がされている。</p> 

### 3. 他地域のとりくみ紹介

8

概 要	
金沢市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年ではバスの乗り方、マナーなどのDVDを<b>全小学校で視聴</b></li> <li>・高学年では、希望する学校において出前授業を実施(年間3~4校)</li> <li>・教員や市民向けセミナーを開催(教員の<b>夏期研修</b>で実施)</li> <li>・校長会や小学校教育研究会(理科・社会科)において取組をPR</li> </ul>
札幌市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>教員ワーキンググループ</b>(社会科研究会)を通じた普及</li> <li>・<b>教師による</b>プログラムの検討、実施</li> <li>・<b>Webプラットフォーム</b>での情報発信・共有</li> <li>・1年生から6年生まで系統だったカリキュラムを展開</li> <li>・今後⇒<b>社会科指導書</b>へ掲載、教員免許講習時の普及活動</li> </ul>
富山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山ライトレールへの体験乗車</li> <li>・教員向け公開授業</li> <li>・今後⇒<b>社会科の副読本</b>『私たちの富山』へ掲載</li> </ul>
川西市 伊丹市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>社会科教育研究会</b>での教員向け研修(模擬授業等)</li> <li>・学校MMIについての説明等を実施</li> </ul>
秦野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>市内全13校</b>で5年生を対象とした授業を実施</li> <li>・学校教師を対象とした「MM教育研修会」を実施</li> <li>・学校教師を対象に、外部串による模擬授業を実施</li> </ul>

⇒多様なチャンネルによる発信、研修会などを実施した普及活動

⇒市の副読本、定常的なメニューに組み込むことも試みられている

### 4. 教育面の効果

9

#### ●こんな効果があります！

- ・環境問題への理解と行動
- ・地域や他者への配慮(社会的態度)、マナー等
- ・地域やまちづくりを考える視野の拡大、社会性の向上

・交通は一人ひとりや家族と社会をつなげる最も身近な題材の一つです。  
 ・社会のしくみを知り社会性を身につける上で非常に有効な題材ではないかと考えています。

#### ●児童の感想から

- バスの運転手、鉄河野運転手さんの方のお話を聞いて
- ・お年寄りや体の不自由な人のために段差をなくしたり、**他にも知らなかったことをたくさん知れてよかったです。**
  - ・**駅員さんの仕事はこんなにいっぱいあったとは知らなかったのでびっくりした。**
  - ・今日の授業で**普段では体験できない**ことを教えてもらえてよかった。
  - ・地球や私たちのことまで考えて電車を作っていたのでびっくりした。
- バスや鉄道を大切にするためにできること
- ・もし、バスが無かったら通学の時に歩いて学校まで行くのはつらいです。買い物に行くときはなるべくバスで行きたいです。
  - ・バスに乗っていて車イスの人やお年寄りが乗ろうとしているときには**助けてあげたい。**
  - ・私はこの話を聞いて**ちょっとバスの仕事をやってみたい**なと思いました。
  - ・鉄道を作るのも動かすのも大変だから**もっときれいに乗ってきれいな電車を残したい。**
  - ・鉄道がより早く次の駅に着くために工夫されていることが分かったし、昔と今を比べて電車がどれだけ便利になったかも分かったので、**傷つけないように使いたい**と思った。
  - ・できるだけ電車で移動して**二酸化炭素をあまり出さないようにしたい**と思いました。
  - ・**鉄道を支えている人たちがいっぱいいるので鉄道を大切にしたい。**



## ご興味を持たれましたら、京都府交通政策課まで！

10

★プログラムに関する**ご意見**、関連する取り組みに関する**情報**等がございましたら是非お聞かせ下さい！

★「**授業を実施してみたい！**」  
 「一緒に児童や地域のためになる**授業を作りたい！**」、  
 「もう少し詳しい話を聞きたい！」  
 「**授業を見学したい！**」  
 その他のご質問 等  
 ございましたら、是非ご連絡下さい！

[連絡先] 京都府建設交通部 交通政策課 企画担当 馬籠



TEL ; 075-414-4368

e-mail; kotsu@pref.kyoto.lg.jp

交通は  
まちづくりの  
第一歩!!

## ◆小学校で実施する目的

11

### ●交通環境学習とは？

- ・交通に関わる社会問題や社会のしくみについて知り、考える学習です。
- ・一人ひとりが自分や家族の移動手段を「人や社会、環境へのやさしさ」という観点から見直し、自発的な行動を取れる人を育てていくことを目指しています。

### ●習得できる能力は？

項目	内容
コミュニケーション能力	乗車体験や運転手さんとの対話、グループワークなど、各メニューごとに人と関わる場を設け、意見交換や対話の機会を通じて様々な人との関わりをもつ。
情報処理・数理的な能力	講師や運転手さんの話から得た情報をもとにCO2の排出量や渋滞距離を計算する。また、削減量を定量的に捉えて自分自身の行動転換の目標値にする
社会的態度	公共交通利用時のマナーやルールを学ぶとともに、公共の場でのべき態度を習得。
問題解決能力	地域の移動手段を守るために、自分たちが「今何ができるか」や「今後何ができること」を考える力を養う。

## ◆小学校で実施する目的

12

### ●小学校教育で交通を扱う意味は？

→「クルマ」・「鉄道」・「バス」・「自転車」などは、日常生活では欠かせないツールであることから、身近で具体的な素材による授業展開が可能です。

→社会性を養う上で効果的な題材だと考えています。

- ・一家に1～2台は車を所有している現代社会において、外出時に車しか使わない家庭も少なくありません。“クルマ”という空間は、飲食の制限がなく、周囲を気にせず会話ができる自由な個人の空間です。
- ・一方で、公共交通は、お年寄りや子連れ、身体の不自由な方など、様々な方と乗り合わせる公共の空間です。そこでは、席を譲り合うことや、大声で話したり、飲食をすることが制限され、「社会性」や「マナー」を学ぶ貴重な場があります。
- ・「交通」という身近な題材を通じて、社会について自身の行動に置き換えて考えることができるため、理解が得やすく、学習効果が行動結果として明瞭に把握することができるのではないのでしょうか。
- ・公的かつ社会的な場で行動する重要性を認識し、よりよい社会の形成に参画する能力を養う機会となると考えています。

## ◆小学校で実施する目的

13

### ●学習目的に合わせた多彩なバリエーション？

環境	“公共交通”は“車”に比べてCO2の排出量が少なく、地球にやさしい乗り物。環境に優しい行動について、自分でできることを考える。
福祉	車をもてない人、運転できない人にとっては、通院や買い物といった日常生活の移動手段として無くてはならないもの。交通弱者の立場にたって、“地域の足”を確保するために何が必要かを考える。
安心安全	車両の設備や工夫を知り、交通事業者が取り組む安全対策について学ぶとともに、運転手さんの話を交えながら、マナーやルールを学ぶ
まちづくり	交通は人や物の動きとともに形成される。地域の歴史やまちの活性化について交通事情を踏まえて考え、地域への愛着心を育てるとともにまち形成における公共交通の役割について学ぶ



## 5-2-2 自治体関係者への発信

### (1)実施概要

以下に自治体関係者への発信の実施概要を示す。

表5-3 実施概要

	実施概要
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 取り組みの概要や効果の理解</li><li>・ 実施を考えるきっかけづくり</li></ul>
対象	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各自治体の交通関係課担当者を対象として 市町村バス担当者会議で説明（10分程度）</li></ul>
日時	平成24年11月27日
説明内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 取り組みの背景、必要性</li><li>・ これまでの実施内容</li><li>・ 教育面の効果（子どもの感想等）</li></ul>
アンケート	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域で活用できる人材や資源について</li><li>・ 考えられるプログラムのイメージと実施可能性</li></ul>

### (2)説明資料

#### 1)説明スライド

次頁以降に説明資料を示す。

# 交通環境学習のご案内



- 環境や地域のことを考えた行動
- 地域の足、公共交通の役割
- 高齢者や地域とともにある暮らし

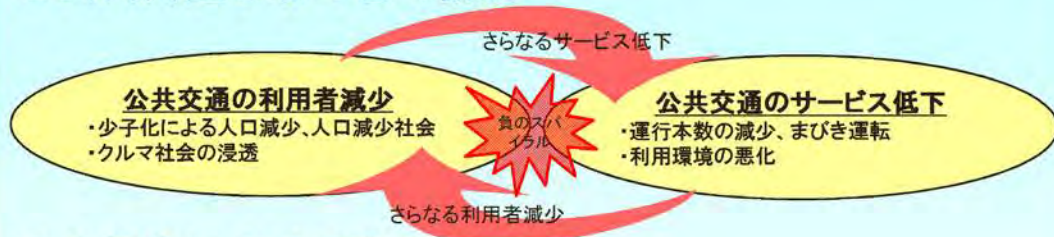
などを学び、  
考える  
授業です！



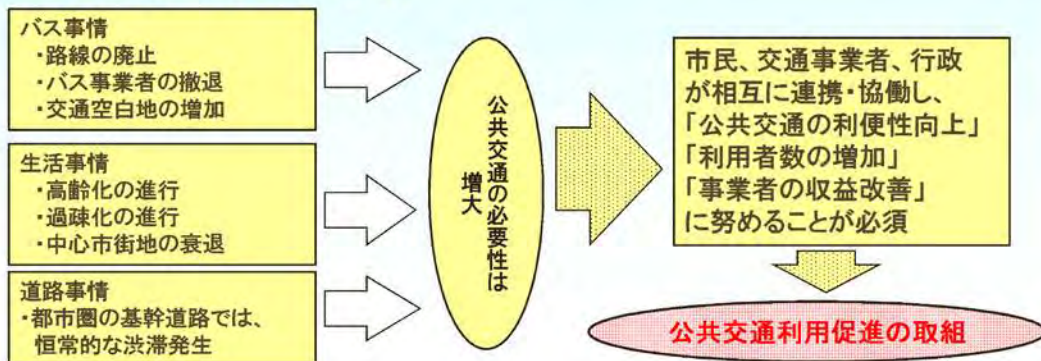
## はじめに・・・とりくみの経過と背景

1

### ●公共交通を取り巻く状況



### ●京都府における事情





## はじめに・・・とりくみの経過と背景

2

### 企業とともに

企業や職場に対し、通勤時における公共交通利用を働きかけます。

### 地域とともに

女性団体や老人会、自治会の方々に、外出時の公共交通利用を働きかけます。

### 学校とともに

学校と協力しながら、子供たちが公共交通の現状や、クルマが環境に与える影響などについて学ぶ機会を設けます。

- 学校向け出前授業（交通環境学習）
- 体験乗車
- バス・エコファミリーなどの実施

### 出前授業



### 体験乗車



### バス・エコファミリー



### 交通環境学習とは？

- **交通に関わる社会問題**や**社会のしくみ**について知り、考える学習。
- 一人ひとりが**自分や家族の移動手段**を「**人や社会、環境へのやさしさ**」という観点から見直し、**自発的な行動**を取れる人を育てていくことを目指しています。

## 1. これまでの取り組み

3

- ・平成17年より、様々な地域で交通すごろくや乗車体験など、地域や対象学年にあわせた内容を実施しています。
- ・久御山町では取り組みが定着し、毎年小学校が自主的に実施しています。



	市町村名	小学校名	学 年	内 容
平成17年度	久御山町	佐山小学校	5 年	…のってこバスの歴史を学ぶ
平成18年度	久御山町	佐山小学校 御牧小学校 東角小学校	5 年	…交通すごろく
			5 年	…環境との関係について学ぶ
			2 年	…バスへの関心と利用マナーについて学ぶ
平成19年度	久御山町 八幡市	佐山小学校 御牧小学校 東角小学校 第四小学校 第五小学校	5 年	…バス乗車体験、乗客インタビュー
			5 年	…バス乗車体験、出前講座
			2 年	…バス乗車体験、出前講座
			5 年	…温暖化と交通手段の出前授業
			全学年	…車とバスの選択についての話
平成20年度	久御山町 宇治市 城陽市 長岡京市	佐山小学校 御牧小学校 東角小学校 西大久保小 寺田南小学 第四小学校 第六小学校	5 年	…交通すごろく、体験乗車
			5 年	…交通すごろく、体験乗車
			2 年	…バス体験乗車、出前授業
			5 年	…フードマイレージ授業
			全学年	…車とバスの選択についての寸劇
			5 年	…温暖化と交通手段についての授業
平成21年度	久御山町 城陽市	佐山小学校 御牧小学校 東角小学校 深谷小学校	5 年	…交通すごろく、体験乗車
			3 年	…ピンポンバス授業、乗車体験
			2 年	…ピンポンバス授業、乗車体験
			5 年	…交通すごろく、体験乗車
			5 年	…交通すごろく、体験乗車
平成22年度	久御山町 城陽市 京丹後市	御牧小学校 東角小学校 寺田南小学校 網野南小学校	3 年	…乗車体験
			2 年	…乗車体験
			5 年	…交通すごろく、体験乗車
			5 年	…交通すごろく、KTR・200円バスの話
			5 年	…交通すごろく、KTR・200円バスの話
平成23年度	久御山町 亀岡市	御牧小学校 東角小学校 大井小学校 川東小学校	3 年	…乗車体験
			2 年	…乗車体験
			5 年	…ガリバーマップ、物流の工夫
			5 年	…バス車両見学、ワークショップ
			5 年	…バス車両見学、ワークショップ
平成24年度	久御山町 亀岡市 福知山市	御牧小学校 東角小学校 大井小学校 川東小学校 成仁小学校	3 年	…乗車体験
			2 年	…乗車体験
			5 年	…鉄道を支える工夫
			5 年	…バス車両見学
			5 年	…バス車両見学
			5 年	…バス車両見学



## 2. これまでに実施した授業の概要(～H22)

### ●体験乗車の様子



### ●「交通すごろく」(高学年向け)出前授業の様子



### ●「バスと環境」についての寸劇(全学年向け)の様子



### ●「ピンポンバス」(低学年向け)出前授業の様子



## 2. これまでに実施した授業の概要(H23) 6

	大井小学校	川東小学校
1回目(9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガリバーマップ(大きな地図)を使った授業</li> <li>⇒交通手段を選ぶ際、様々な視点から考えて選択することを学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の生活を支えるバスについて考え、<b>自発的・継続的な行動</b>へ結びつける</li> </ul>
	 <p>車は便利な乗り物だけど、みんなが車ばかり使うと困るよね。渋滞・環境悪化・公共交通の衰退など</p>	  <p>車に乗れない人にとってバスは大切な移動手段。みんなが地域の足を守ろう!</p>
2回目(1月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宅急便の車両見学</li> <li>⇒物流の環境への工夫を学ぶ</li> <li>●身近な物流の工夫を知る</li> <li>⇒自分の行動を考えるきっかけに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の生活を支えるバスをもっとみんなが<b>使いやすい、便利になる方法</b>や<b>乗りやすくなる方法を考える</b>。ワークシートで取組</li> </ul>
	  <p>車がなくてはならない物流業界でも様々な工夫をしている。私たちにもできることは何だろうか?</p>	 

## 2. これまでに実施した授業の概要(H24) 7

	大井小学校	川東小学校	成仁小学校
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JR西日本の出前授業</li> <li>鉄道に関わる様々な仕事</li> <li>⇒地域の交通が生活を支えていることを学び、公共交通の果たす役割を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の生活の足としてバスの果たす役割について考え、移動手段を守る為に自分たちができることを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●京都交通バス授業</li> <li>⇒地域の生活を支えるバスについて考え、継続的・自発的な行動へ</li> </ul>
	 <p>多くの人が地域の生活を支えているね。自分たちには何だろうか</p> <p>補線の仕事やホームの整備、駅での案内など、色々な仕事があるね</p>	 <p>バスの中や周りには色々な設備がいっぱい、それぞれどんな役割があるのだろう。</p>	
		 <p>お年寄りや身体の不自由な人など、バスはいろんな人が利用しやすいように、様々な工夫がされている。</p>	

### 3. 他地域のとりくみ紹介

8

概 要	
金沢市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年ではバスの乗り方、マナーなどのDVDを<b>全小学校で視聴</b></li> <li>・高学年では、希望する学校において出前授業を実施(年間3~4校)</li> <li>・教員や市民向けセミナーを開催(教員の<b>夏期研修</b>で実施)</li> <li>・校長会や小学校教育研究会(理科・社会科)において取組をPR</li> </ul>
札幌市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>教員ワーキンググループ</b>(社会科研究会)を通じた普及</li> <li>・<b>教師による</b>プログラムの検討、実施</li> <li>・<b>Webプラットフォーム</b>での情報発信・共有</li> <li>・1年生から6年生まで系統だったカリキュラムを展開</li> <li>・今後⇒<b>社会科指導書</b>へ掲載、教員免許講習時の普及活動</li> </ul>
富山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山ライトレールへの体験乗車</li> <li>・教員向け公開授業</li> <li>・今後⇒<b>社会科の副読本</b>『私たちの富山』へ掲載</li> </ul>
川西市 伊丹市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>社会科教育研究会</b>での教員向け研修(模擬授業等)</li> <li>・学校MMIについての説明等を実施</li> </ul>
秦野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>市内全13校</b>で5年生を対象とした授業を実施</li> <li>・学校教師を対象とした「MM教育研修会」を実施</li> <li>・学校教師を対象に、外部串による模擬授業を実施</li> </ul>

⇒多様なチャンネルによる発信、研修会などを実施した普及活動

⇒市の副読本、定常的なメニューに組み込むことも試みられている

### 4. 教育面の効果

9

#### ●こんな効果があります！

- ・環境問題への理解と行動
- ・地域や他者への配慮(社会的態度)、マナー等
- ・地域やまちづくりを考える視野の拡大、社会性の向上

・交通は一人ひとりや家族と社会をつなげる最も身近な題材の一つです。  
 ・社会のしくみを知り社会性を身につける上で非常に有効な題材ではないかと考えています。

#### ●児童の感想から

- バスの運転手、鉄河野運転手さんの方のお話を聞いて
- ・お年寄りや体の不自由な人のために段差をなくしたり、**他にも知らなかったことをたくさん知れてよかったです。**
  - ・**駅員さんの仕事はこんなにいっぱいあったとは知らなかったのでびっくりした。**
  - ・今日の授業で**普段では体験できない**ことを教えてもらえてよかった。
  - ・地球や私たちのことまで考えて電車を作っていたのでびっくりした。
- バスや鉄道を大切にするためにできること
- ・もし、バスが無かったら通学の時に歩いて学校まで行くのはつらいです。買い物に行くときはなるべくバスで行きたいです。
  - ・バスに乗っていて車イスの人やお年寄りが乗ろうとしているときには**助けてあげたい。**
  - ・私はこの話を聞いて**ちょっとバスの仕事をやってみたい**なと思いました。
  - ・鉄道を作るのも動かすのも大変だから**もっときれいに乗ってきれいな電車を残したい。**
  - ・鉄道がより早く次の駅に着くために工夫されていることが分かったし、昔と今を比べて電車がどれだけ便利になったかも分かったので、**傷つけないように使いたい**と思った。
  - ・できるだけ電車で移動して**二酸化炭素をあまり出さないようにしたい**と思いました。
  - ・**鉄道を支えている人たちがいっぱいいるので鉄道を大切にしたい。**



ご興味を持たれましたら、京都府交通政策課まで！

10

★プログラムに関する**ご意見**、関連する取り組みに関する**情報**等がございましたら是非お聞かせ下さい！

★「**授業を実施してみたい！**」  
「一緒に児童や地域のためになる**授業を作りたい！**」、  
「もう少し詳しい話を聞きたい！」  
「**授業を見学したい！**」  
その他のご質問 等  
ございましたら、是非ご連絡下さい！

[連絡先] 京都府建設交通部 交通政策課 企画担当 馬籠



TEL ; 075-414-4368

e-mail; kotsu@pref.kyoto.lg.jp

交通は  
まちづくりの  
第一歩!!

## ◆小学校で実施する目的

11

### ●交通環境学習とは？

- ・交通に関わる社会問題や社会のしくみについて知り、考える学習です。
- ・一人ひとりが自分や家族の移動手段を「人や社会、環境へのやさしさ」という観点から見直し、自発的な行動を取れる人を育てていくことを目指しています。

### ●習得できる能力は？

項目	内容
コミュニケーション能力	乗車体験や運転手さんとの対話、グループワークなど、各メニューごとに人と関わる場を設け、意見交換や対話の機会を通じて様々な人との関わりをもつ。
情報処理・数理的な能力	講師や運転手さんの話から得た情報をもとにCO2の排出量や渋滞距離を計算する。また、削減量を定量的に捉えて自分自身の行動転換の目標値にする
社会的態度	公共交通利用時のマナーやルールを学ぶとともに、公共の場でのべき態度を習得。
問題解決能力	地域の移動手段を守るために、自分たちが「今何ができるか」や「今後何ができること」を考える力を養う。

## ◆小学校で実施する目的

12

### ●小学校教育で交通を扱う意味は？

→「クルマ」「鉄道」「バス」「自転車」などは、日常生活では欠かせないツールであることから、身近で具体的な素材による授業展開が可能です。

→社会性を養う上で効果的な題材だと考えています。

- ・一家に1～2台は車を所有している現代社会において、外出時に車しか使わない家庭も少なくありません。“クルマ”という空間は、飲食の制限がなく、周囲を気にせず会話ができる自由な個人の空間です。
- ・一方で、公共交通は、お年寄りや子連れ、身体の不自由な方など、様々な方と乗り合わせる公共の空間です。そこでは、席を譲り合うことや、大声で話したり、飲食をすることが制限され、「社会性」や「マナー」を学ぶ貴重な場でもあります。
- ・「交通」という身近な題材を通じて、社会について自身の行動に置き換えて考えることができるため、理解が得やすく、学習効果が行動結果として明瞭に把握することができるのではないのでしょうか。
- ・公的かつ社会的な場で行動する重要性を認識し、よりよい社会の形成に参画する能力を養う機会となると考えています。

## ◆小学校で実施する目的

13

### ●学習目的に合わせた多彩なバリエーション？

環境	“公共交通”は“車”に比べてCO2の排出量が少なく、地球にやさしい乗り物。環境に優しい行動について、自分でできることを考える。
福祉	車をもてない人、運転できない人にとっては、通院や買い物といった日常生活の移動手段として無くてはならないもの。交通弱者の立場にたって、“地域の足”を確保するために何が必要かを考える。
安心安全	車両の設備や工夫を知り、交通事業者が取り組む安全対策について学ぶとともに、運転手さんの話を交えながら、マナーやルールを学ぶ
まちづくり	交通は人や物の動きとともに形成される。地域の歴史やまちの活性化について交通事情を踏まえて考え、地域への愛着心を育てるとともにまち形成における公共交通の役割について学ぶ

# ◆小学校で実施する目的 14

## ●平成23・24年度に実施した授業のテーマ

・地域の特性・交通状況を踏まえ、環境や地域にとって望ましい交通行動や社会性の向上につながる学習テーマを設定

	大井小学校	川東小学校	成仁小学校
地域の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR並河駅に近く、鉄道が使いやすいため、交通手段の使い分けがある</li> <li>・校区内に工業団地があるため、身近な物流業界における物の移動から交通を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半数以上が通学時にバスを利用しており、バスは身近な交通手段</li> <li>・通学時マナー向上が必要</li> <li>・通学以外では車の依存度が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区内にある団地の高齢化を見据え、将来の移動手段を守るためにできることを考える</li> <li>・バスの工夫から利用者層を考える</li> </ul>
ねらい・テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通手段を選ぶ際、様々な視点から<b>考えて選択</b>することを定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の生活を支えるバスについて考え、<b>自発的・継続的な行動</b>へ結びつける</li> </ul>	

# ◆小学校で実施する目的 15

## ●保護者の方への波及も！

▼フィードバックシート

▼宿題シート

**みんなの交通と環境について勉強しました!!**

カリバーマップを使って交通手段を調べたりそれぞれの良い所を考えました!

●カリバーマップに書いてある部分よく行く場所、利用する交通手段のシールを貼り、その理由やそれ以外の良いところについて考えました。

●『目的』や『誰と一緒に行くか』など、その場で便利な手段を思い付けていることがありました。

●一方、電車・バスといった公共交通機関と自家用車では〇〇の排出量や事故・盗難など、未知数以外の視点でも交通手段について考える必要があること、また『カリバーマップ』にはバス・クルマがある人だけが乗ることも、電車やバスはみんなが乗ることも、それぞれの特徴やメリット・デメリットを考えたこともありました。

▼カリバーマップシールを貼り付けている様子 ▼交通手段の良いところを考えている様子

▼電車で通学する際の交通手段とその理由の例

▼授業で分かったこと・感想

【電車で通学(サチな)】

- 電車やバスだと時間がかかっていて、早くいけなくていいから
- 買物もたくさん買って置けるから
- 電車で通学は、駅が近いから

【クルマで通学】

- 近くに行けるから、駅が遠いから
- ドライブが楽しいから

●乗付物それぞれ良いところがあることが分かりました。

●〇〇の排出量、事故が一番多いなと思って、少なくて済むようにしたいです。

●通学手段の悪いところを思い付いたので、よく考えました。

●その時の状況によって良いところも変わることが分かりました。例えば、雨の日などは傘を持っていくことが必要というところも分かりました。楽しく勉強が行き届くことができて良かったです。

ご家庭でも交通手段について考えてみてください!

●この日の授業で、ご家庭でお出掛けされる際、利用する交通手段やその理由について考えてみてください。また、その時使った交通手段の良い所を子どもと一緒に話してください。

●これを機に子どもと一緒に宿題シートの作成をすすめてください。また、この結果を踏まえて交通手段の授業を実施したいと考えています。

※宿題シートは、11月の土・日・祝日にご家族と一緒にバスを利用すると、子どもの利便性が大幅に向上するメリットがあります。ご家庭での利用もぜひご活用ください。

授業の結果報告

バスエコと連携

交通手段についてお家の人と一緒に考えよう!

月 日 年

●1ヶ月に家族で遊びや買い物に出かけた時のことを記録しましょう。→利用する交通手段(どの交通手段を利用するか?)やその理由について、お家の人と一緒に考えてみよう!

●利用した交通手段の良いところをお家の人と一緒に考えてみよう!

お出掛けした場所や交通手段、その理由

月 日 曜日

〈行った場所〉 (何をしに行ったか)

〈交通手段〉 バス 電車 車

〈一緒に行動した人〉

〈交通手段を選んだ理由〉

(2) 利用した交通手段のいいところ

(利用した交通手段のいいところ)

(その他、気づいたこと・考えたこと)

行った場所や手段を記録

利用した交通手段の良い所を探す

## 2)TFP アンケート

以下に TFP アンケート票を示す。

### 交通環境学習に関する状況調査

このアンケートは、京都府で交通環境学習を進めていくための各地域の現状等を把握することを目的としています。ご担当者様ご自身のお考えでお答え下さい。

**Q1. これまでの実施状況について**

(1) これまで交通を題材にした小学校等での学習を実施されていますか？

ある       ない       わからない

↓ 時期、内容等を分かる範囲でご記入下さい。

時期	
内容	

**Q2. その他の地域の現状について** ※上記で取り組みを実施されている場合も、さらに広げていくことを想定してお答え下さい。

(2) 地域の企業やNPO等と連携を図ってこのような学習を進めていくとすれば、あなたの地域ではどのような団体が考えられますか？考えられる対象を具体的にご記入下さい。

(例) バス事業者、一般企業、物流事業者、NPO●●等

(3) 授業に活用すると効果的と考えられる地域の資源、特性、機会等にはどのようなものがありますか？考えられる題材を具体的にご記入下さい。

(例) 工業団地(物流)、鉄道、中山間地としての地域特性、商店街の衰退等の問題、観光地、●●イベント等

**Q3. 今後について**

(4) 上記も踏まえ、もし、今後小学校等で交通を活用した授業を実施していく(今実施している場合、新たな内容に展開していくとすれば)とすればどんな取り組みが考えられますか？

(5) 上記の内容は実現できそうですか？

できる     できるかもしれない     わからない     できないと思う     できない

↓ どのようなことが課題になりそうですか？(当てはまるもの全て)

プログラムを組み立てるのが難しい       担い手がない  
 興味を持ってくれる学校がない・学校が忙しい       教育関係者との関係構築が難しい  
 その他 { \_\_\_\_\_ }

**Q4. その他**

(6) この取り組みに対してご意見やアイデアがありましたら、ご自由にご記入下さい。

(7) ご所属等をご記入下さい。

市町村名		お名前	
------	--	-----	--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

図 5-1 自治体担当者への TFP アンケート票



### 5-3 事業者へのフィードバック

#### (1)実施概要

授業に協力をしていただいた交通事業者へ、親アンケート等の結果を報告するとともに、授業の感想・ニーズ等を把握することを目的にヒアリングを実施した。

表5-4 実施概要

	実施概要
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・親へのアンケート結果の報告</li><li>・今年度の授業内容について</li><li>・今後の取り組みについて</li></ul>
日時	<ul style="list-style-type: none"><li>・JR 西日本：平成 25 年 2 月 19 日（火） 10:00～</li><li>・京阪京都交通：平成 25 年 2 月 18 日（月） 14:00～</li><li>・京都交通：平成 25 年 2 月 20 日（水） 9:30～</li></ul>

## (2)実施結果

### 1)JR 西日本

以下にフィードバック・ヒアリングの実施結果を示す。

#### 打ち合わせ記録簿（JR西日本）

日時；平成 25 年 2 月 19 日

場所：JR西日本

出席者：JR西日本／辻本室長代理 平野担当室長 畑氏

京都府／馬籠主事

オリエンタルコンサルタンツ／土崎

#### 1. 今年度の授業について

- ・JRとしては仕事からでも、環境からでも電車に興味を持ってもらえれば良いと考えている。
- ・ただ、今回仕事の内容をメインにしたことについては、子どもの興味の沸くところを捉えているのか、主旨が外れていないかというのは不安だった。
- ・アンケートの結果として、親から評価されているならそれで良かったと思うが、小学校の先生がどう思っているのか、気になる所である。
- ・今回初めての試みで、急いで教材を作成したため動画等は見にくかったところもあったと思う。もし、継続的に実施するなら、そのあたりを改善していくと良いのでは無いかと考えている。

#### 2. 今後の取り組みについて

- ・次年度、同じような授業を実施する事については問題ない。
- ・田舎に行くと、電車に全く乗ったことがない子どもも多い。小学生のうちにも少しでも意識づけられるタイミングがあると良いと思う。
- ・別途、マナー啓発や踏切などでの安全教育の観点で、寸劇や人形などを使った出前授業を実施している。
- ・現在のところ、これまでの伝で学校から声をかけてもらって行っている状態である。
- ・交通安全の主旨では、京都府内では奈良線で線路内への進入が多いため、対象としていくことも考えられる。
- ・学校等のニーズに応じて、今回の仕事の内容も含めて、パーツとして上手く組み合わせられるようにしておくとも良いかもしれない。

以上

## 2)京阪京都交通

### 打ち合わせ記録簿（京阪京都交通）

日時；平成 25 年 2 月 18 日

場所：京阪京都交通

出席者：京阪京都交通／村上課長

京都府／仲尾副課長 馬籠主事

亀岡市／大石主任

オリエンタルコンサルタンツ／土崎

#### 1. 今年度の授業について

- ・昨年度に比べ、授業の効果が親の目を通じて具体的確認できたこと、家庭にも伝わっていることが確認できたことは良かった。去年は子どもは興味を持ってくれたが、授業の効果はどうだったのかというところが課題だったの思うので、進歩していると思う。
- ・あまりバス会社の宣伝になるのも良くないが、バス会社の視点で親にどう伝わるかがかんがえると、授業を親にみてもらえるともっと良い。

#### 2. 今後の取り組みについて

- ・来年度、同じような取り組みを実施することは問題ない。
- ・今年度実施際に、1年生が飛び入りで見学していたが、せっかくなのでいろいろな人にもみてもらえると良い。
- ・車両の見学をする内容なので小学生が効果的と考えられるが、川東は今後小中一貫校となるので中学生とセットでやってみるのも良いかもしれない。
- ・PTAで実施する授業が年2時間くらいある。親も意識するのではあれば、これを活用すると有効かもしれない。
- ・川東小学校は、バス通学をしている児童がいる点では、意味があると思うが、普段の行動は自家用車がメインと考えられる。もう少し、実際に利用してくれる可能性が高い地域で実施するのも良い。
- ・もっと効果がありそうな地域としてはバスのサービス頻度が高いつつじヶ丘などが考えられる。学校側の都合があるが、事業者の視点としては重要である。

以上

### 3) 京都交通

#### 打ち合わせ記録簿（京都交通）

日時；平成 25 年 2 月 20 日

場所：京都府庁

出席者：京都交通／山守所長

京都府／馬籠主事

オリエンタルコンサルタンツ／土崎

#### 1. 今年度の授業について

- ・ 60 人と人数が多く、一つの箇所をみてもらう時間が大変短かった。子どもが質問をしてきても、あまり答える時間もなく次へ行ってしまうという感じだった。
- ・ これくらいに規模で実施する場合は同じバスを複数持ってきて、倍の時間みてもらうといった構成の方が良いかもしれない。

#### 2. 今後の取り組みについて

- ・ 普段から、イベント等にバスを持って行きみてもらうということは実施しているため、授業による負担感はそれほどない。
- ・ このような内容なら、多少対象校が増えても対応可能だと思う。
- ・ また、今年度の授業では社員が 4 人参加したが、参加した運転手のモチベーションが向上したという効果もあった。そういった点でも今後も実施していきたいと思う。
- ・ 内容については、相談してもらえれば対応を考えたい。

以上

### (3)まとめ

- ・親も巻き込み一定の効果が確認された点が評価されている。運転手のモチベーション向上といった効果もみられる。
- ・事業者の視点も上手く反映しながら検討していくことも必要となる。

表5-5 事業者へのフィードバックのまとめ

	対象者	今年度の授業について	今後の取り組みについて
JR西日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辻本室長代理</li> <li>・平野担当室長</li> <li>・畑氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親から評価されているとのことだが、先生がどう思っているのか気になる。</li> <li>・今回初めての試みで、動画等は見にくかったところもあったと思う。継続していくとすれば、そのあたりを改善していくと良いのでは無いかと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナー啓発や踏切などでの安全教育の観点で、寸劇や人形などを使った出前授業を実施している。</li> <li>・交通安全の主旨では、京都府内では奈良線で線路内への進入が多いため、対象としていくことも考えられる。</li> <li>・今回の仕事の内容も含め、ニーズに応じてパーツとして上手く組み合わせられるようにしておくとも良いかもしれない。</li> </ul>
京阪京都交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村上課長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年は子どもは興味を持ってくれたが、授業の効果はどうだったのかというところが課題だったと思うが、授業の効果が親の目を通じて確認できたこと、家庭にも伝わっていることが確認できたことは良かった。</li> <li>・あまりバス会社の宣伝になるのも良くないが、バス会社の視点で親にどう伝わるかで考えると、授業を親にみてももらえると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の授業では1年生が飛び入りで見学していたが、せっかくなのでいろいろみてもらえると良い。</li> <li>・PTAで実施する授業が年2時間くらいある。親も意識するのであれば、これを活用すると有効かもしれない。</li> <li>・バス通学をしている児童がいる点で意味があるが、普段の行動は自家用車がメイン。学校側の都合があるが、利用可能性が高い地域で実施するのも良い。</li> </ul>
京都交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山守所長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象が60人と多く、一つの箇所をみてもらう時間が短かった。子どもが質問をしてきても、あまり答える時間もなく次へ行ってしまおうという感じだった。</li> <li>・同じバスを複数持ってきて、倍の時間みてもらおうといった構成の方が良いかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の授業では社員が4人参加したが、参加した運転手のモチベーションが向上したという効果もあった。そういった点でも今後も実施していきたいと思う。</li> </ul>

## 6. 平成 25 年度の取り組み方針

### 6-1 今年度の実施結果のまとめ

- 出前授業として展開できるバリエーションを構築した。普段、見たり知ることができないことを学ぶ機会となったことに対し評価が高く、取り組みの継続も望まれている。
- 久御山町での調査では、実際に授業の実施によりバスの認知や選択状況の違いが出ていることも確認。
- 関係者へのヒアリングの結果、地域特性や既往の学習プログラムと連携させたプログラムへのニーズが高く、その点では低学年でも展開の可能性がある。また、同じ内容を繰り返し、定番化していくことが効果的と考えられる。
- 学校や自治体等の関係者の関心は、現状では高いとはいえず、継続的な発信、コミュニケーションが必要。

表6-1 今年度の実施結果のまとめ

		結果概要
今年度の授業関係	授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>• JR西日本と連携し鉄道プログラムを新たに構築、実施した。</li> <li>• 京阪京都交通によるバスプログラムを継続実施し、京都交通と連携し他地域（福知山）へも展開した。</li> <li>• 地元自治体（亀岡市・福知山市）、事業者と府が連携し授業を準備、実施した。</li> <li>• バスの工夫や鉄道の仕事について新たな気づきや自分にできることを考える機会となった。</li> </ul>
	親へのアンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 未回答の家庭もあるが、家庭内の会話や宿題・フィードバックシートなどによる伝達がされている。</li> <li>• 殆どが実施されて良かったと好意的な評価をしており、事業者へのイメージも向上している。</li> <li>• 特に普段知ることができない工夫やしくみを知ったこと、仕事に関について学ぶ機会となったことが評価。</li> <li>• また、取り組みの継続、より実践的な取り組み（実際に利用する等）を望む声が多い。</li> </ul>
	学校・事業者フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校の地域特性や学習指導要領等に合わせた内容を検討・連携させることが重要。</li> <li>• おなじ内容を繰り返し実施し、定番化していくと効果的。</li> <li>• 社会見学や地域の学習など、低学年でも展開の可能性がある。</li> <li>• 関係者により、感じるメリットや効果が異なることを考慮した調整、検討が必要。</li> </ul>
久御山町における実施状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既往の取り組みと連携させることで、負担を軽減して無理なく実施されている。</li> <li>• 学校と久御山町の連携（費用の負担等）により継続している。</li> <li>• 学習はよく記憶されており、バスの認知やバスの選択状況に対する効果が見られる。</li> <li>• バス見学を継続していく上では、効果を深める工夫を加えることも考えられる。</li> </ul>
関係者への発信		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 校長会や自治体の会合の場でこれまでの取り組み内容や効果を説明した。</li> </ul>

## 6-2 得られた継続・発展のポイント

前項のまとめを踏まえて、今年度の取り組みの結果で得られた継続・発展のポイントを以下に示す。

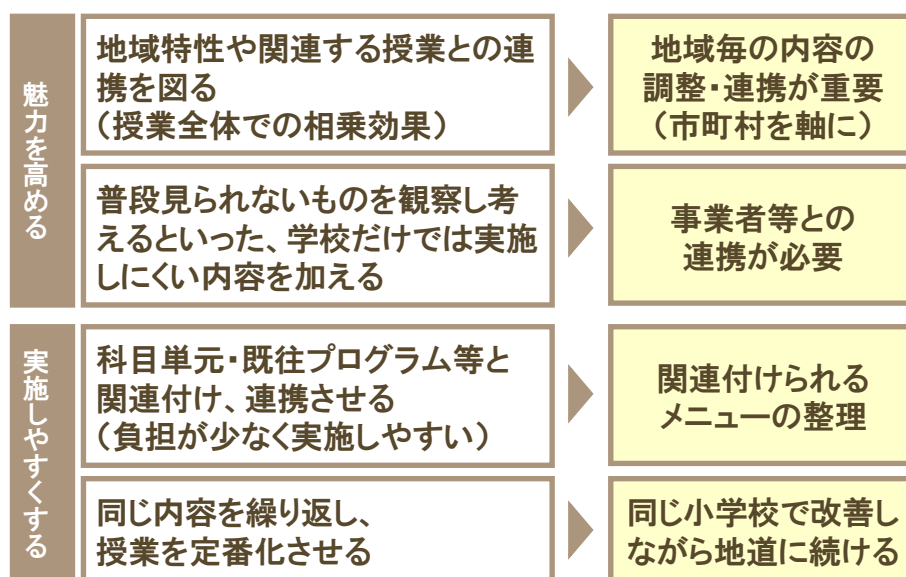


図 6-1 得られた継続・発展のポイント

### 6-3 次年度以降の方向性の検討

#### (1) 京都府における交通環境学習の展開のイメージ

前項のポイントを踏まえると、京都府では市町村を軸に各地域でプログラムを調整し、改善・定着させながら、府が中心となり他地域で展開させていくことが考えられる。

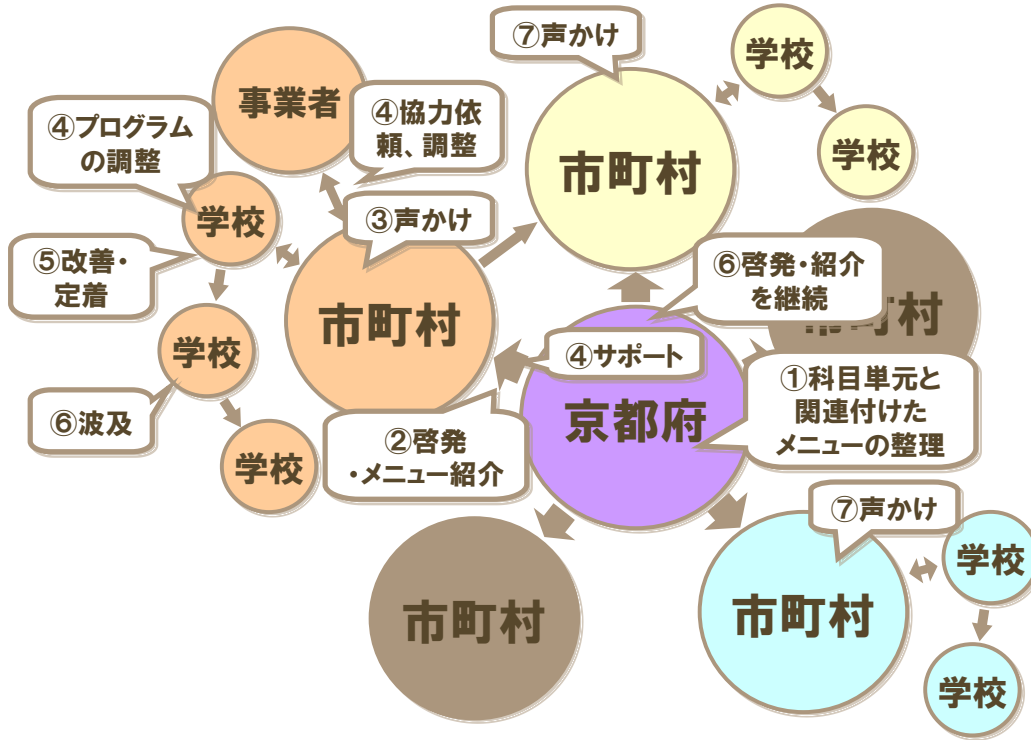


図 6-2 京都府における交通環境学習の展開のイメージ



## (2)現在の状況

前項の展開イメージに対し、現在久御山でバスを使った見学が定着しており、亀岡や福知山で定着に向けて改善を行っている状況である。

また、プログラムは5年生の社会科に対応したものが多くなっている。

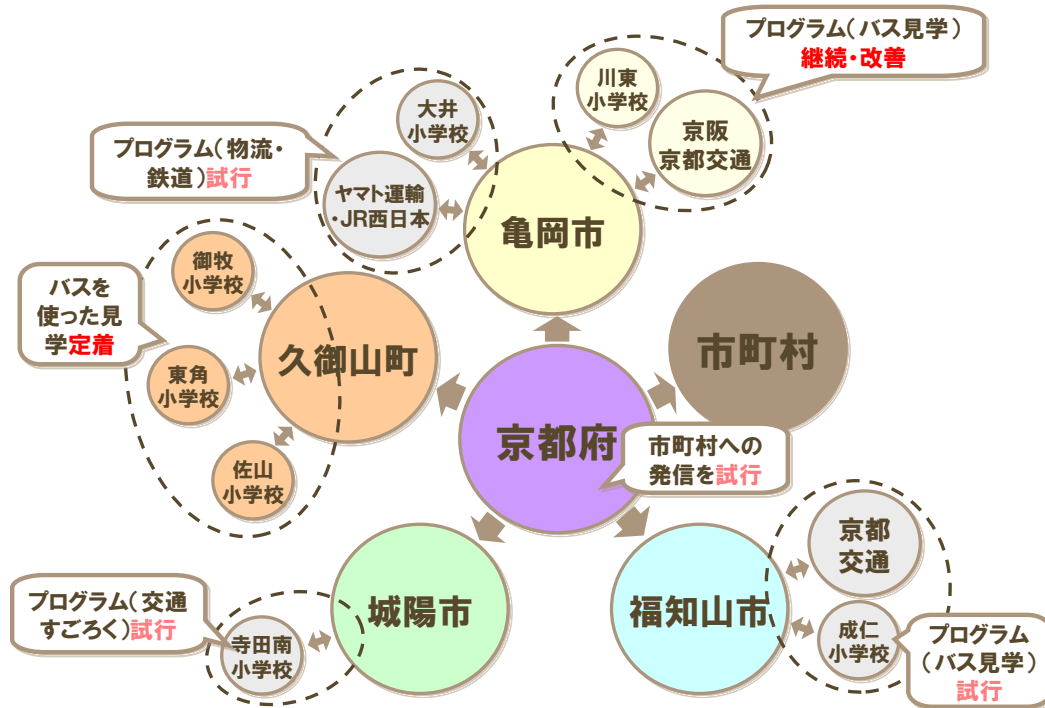


図 6-3 これまでの実施状況

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
社会科 (東京書籍)			1. わたしたちのまちみんなのまち ⇒地域の公共施設の交通の様子 2. 働く人とわたしたちの暮らし ⇒生産と販売の仕事	7. わたしたちの県 ⇒自分たちの市と県の位置 ⇒地形や交通網、主な都市の位置	2. わたしたちの生活と食料生産 ⇒食料の生産、輸入 ⇒生産物の分布、消費地への輸送 3. わたしたちの生活と工業生産 ⇒工業生産、分布 ⇒貿易、運輸の動き 5. わたしたちの生活と環境 ⇒公害、自然災害 ⇒環境と生活・産業の関わり	●物流(大井) ⇒わたしたちの生活と政治 ⇒自治体や国の政治 ⇒生活の安定と向上を図る役割 ※路面電車でまちを元気に
理科 (啓林館)		●バスを使った見学(久御山)		●バス見学(川東・成仁) ●鉄道(大井) ●交通すくろく(寺田南)		4. 生物どうしのつながり 10. 自然とともに生きる
生活科 (啓林館)		・レッツゴー!まちたんけん ・もっと知りたいな町のこと				
その他 総合学習等				・障害者理解		・キャリア教育

図 6-4 これまでに実施している授業と科目単元の関係

### (3) 次年度までの課題・本事業終了までに目指す状況

前項までの展開イメージと現在の状況を踏まえると、次年度は以下の取り組みが必要になると考えられる。

- ①プログラムを定着させる
- ②バスを使った見学プログラムの効果を高める（低学年向け）
- ③これまでのメニューを整理
- ④発信・コミュニケーションのしくみづくり

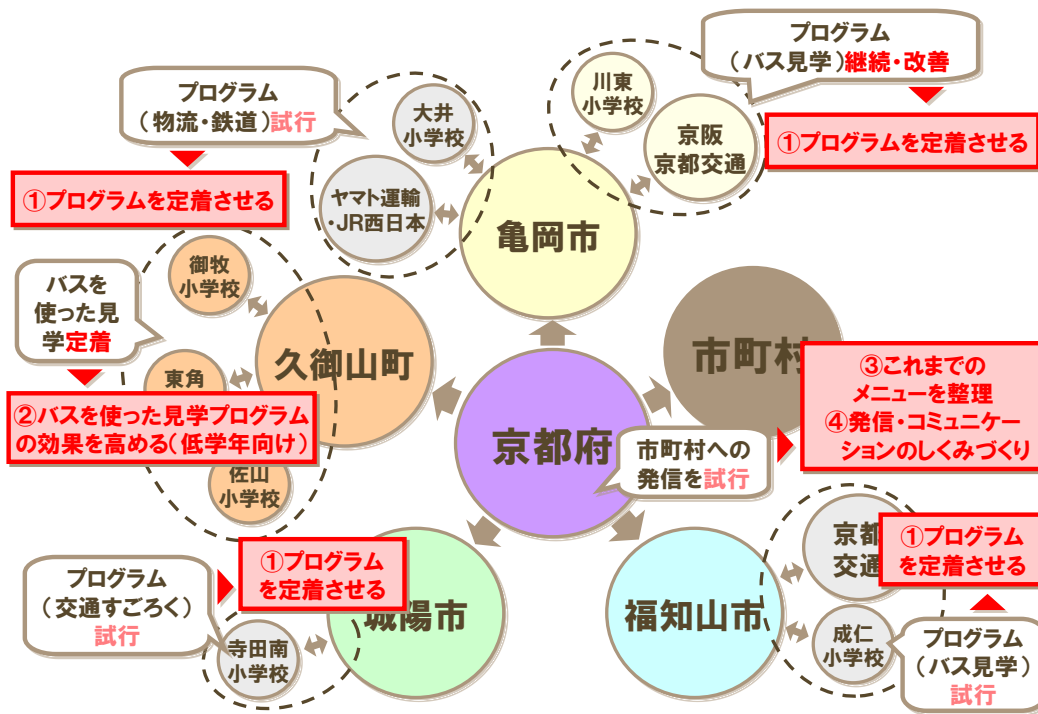


図 6-5 次年度までに目指す状況

## 6-4 次年度の取り組み方針の検討

### (1)プログラムの定着

ヒアリング結果を踏まえて、モデル校の授業を魅力的で定着するプログラムとなる検討を行う。検討に際しては、今年度実施した 90 分 3 パートを基本として、他地域への展開に向けたプログラムの確立・整理を意識して行う。

検討方針	
大井 小学校	→前後の授業との <b>効果的な連携</b> を念頭に プログラムを検討
川東 小学校	→ <b>バス見学プログラム</b> を継続 →継続実施し、定番化を図る ※授業時に他学年の見学等も調整
成仁 小学校	→ <b>バス見学プログラム</b> を継続 →効率的、効果的な <b>見学のしかた</b> を検討 →前後の授業との効果的な連携方法を検討

図 6-6 プログラムの検討方針

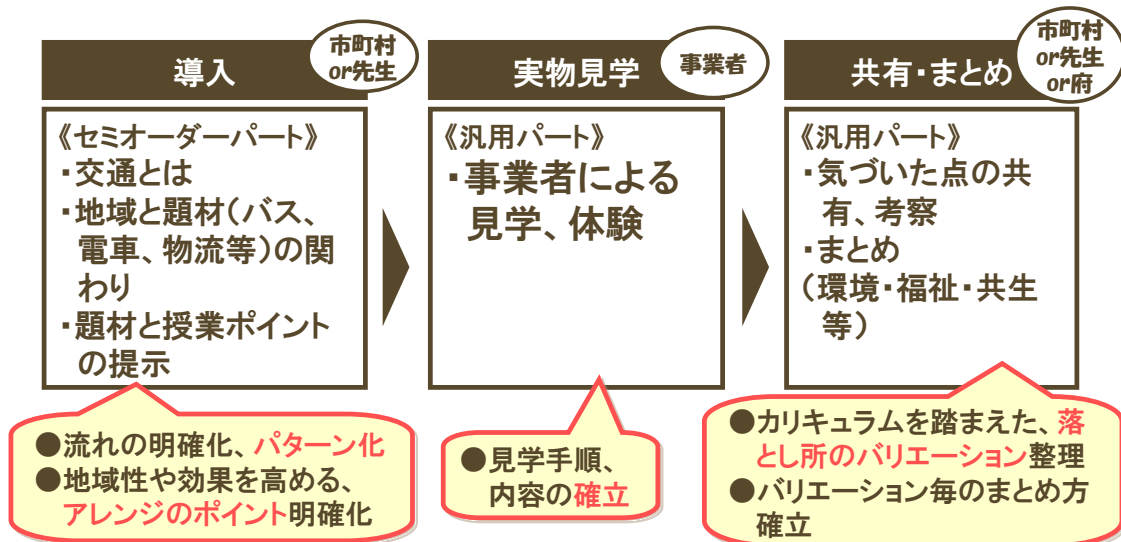


図 6-7 プログラムの検討のポイント

## (2) バス等を使った見学プログラムの効果向上(低学年向け)

久御山町などで実施されている公共交通を活用した見学の効果を高め、交通環境学習プログラムとして確立するための検討を行う。

体験乗車の前に学習を動機づけられたり、理解を深める復習が気軽に行える教材を検討する。

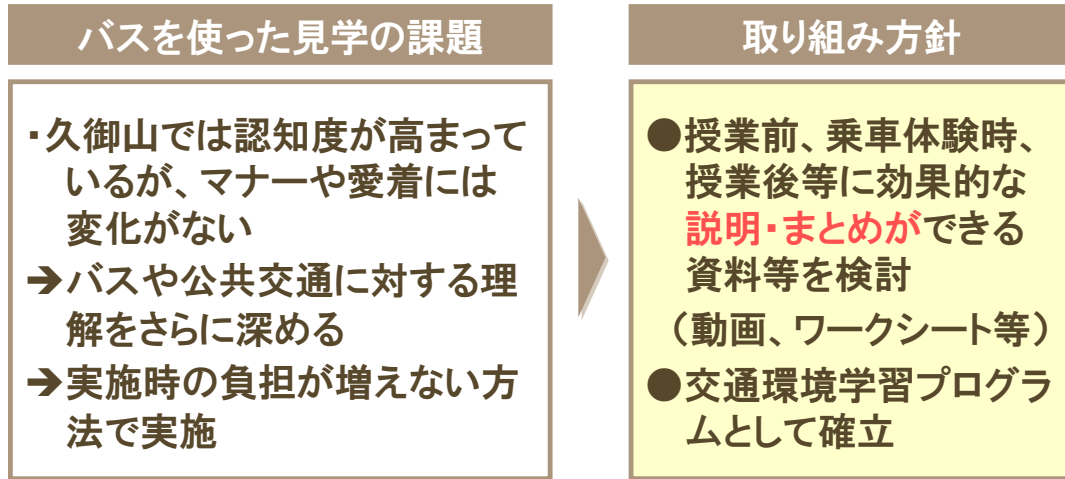


図 6-8 プログラムの効果向上の実施方針

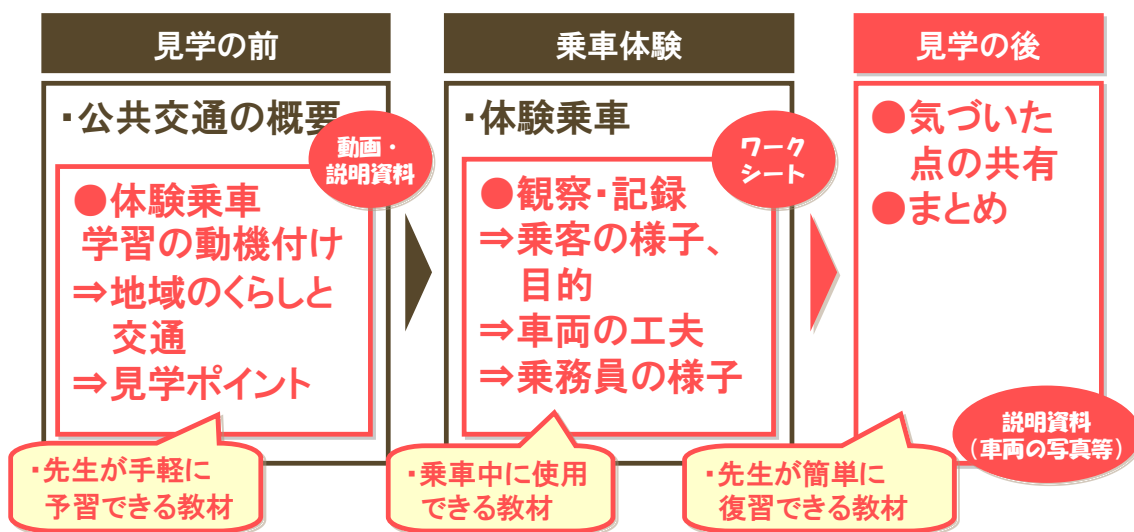


図 6-9 効果向上の工夫イメージ

### (3)メニューの整理

蓄積されたプログラムを整理し、今後市町村で検討を進めていく際に利用可能な教材集を作成する。

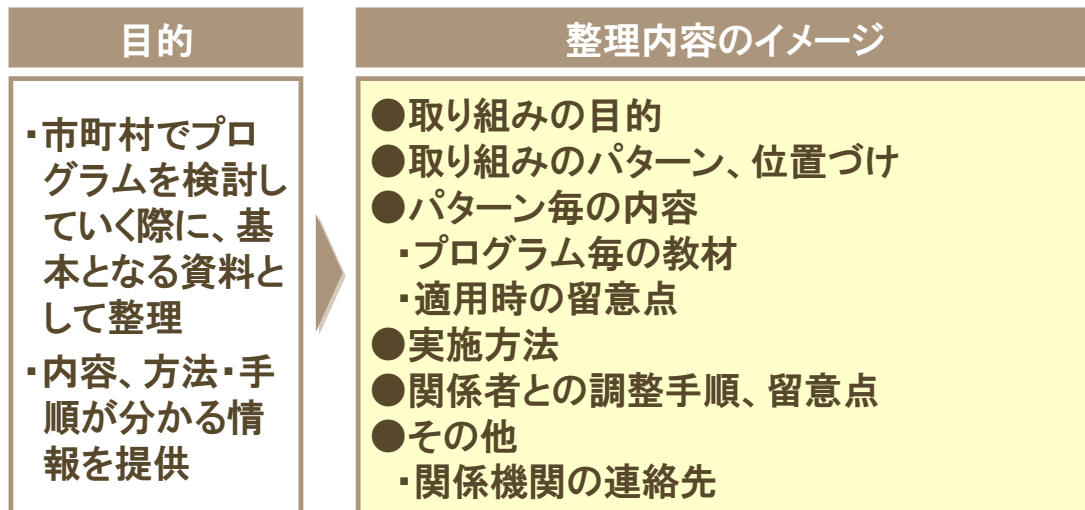


図 6-10 メニューの整理イメージ

#### (4) 発信・コミュニケーションのしくみづくり

市町村を主な対象として授業情報の発信、事例の紹介等を行い、事業終了後の発展の素地を作る。

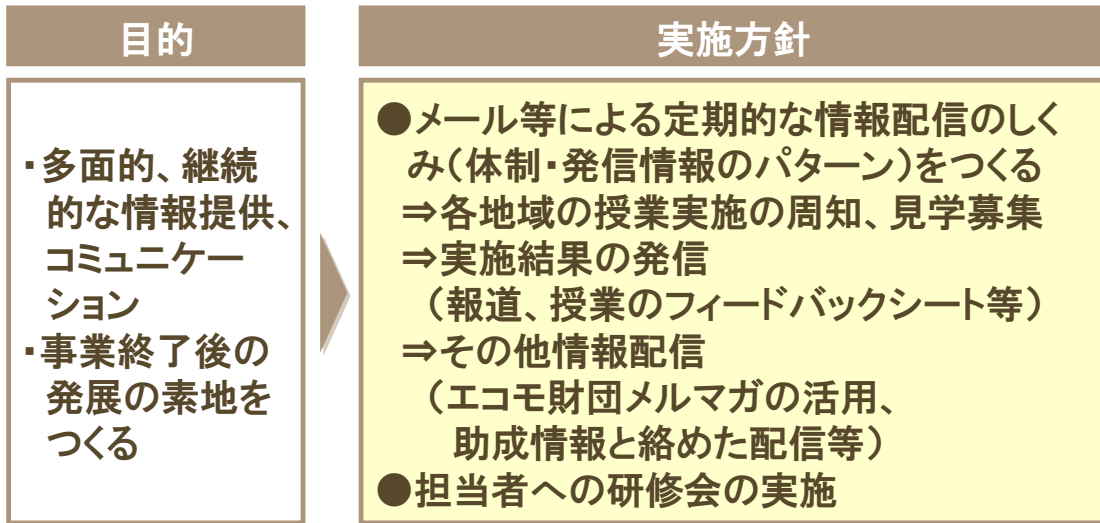


図 6-11 発信・コミュニケーションのしくみづくりのイメージ

## 7. 協議会の運営補助

### 7-1 協議会開催概要

本年度のプログラムの検討、試行・検証に際して、学識経験者、学校教諭、交通事業者、行政等で構成する協議会を開催し、報告・意見交換を実施しながら進めた。

以下に、協議会の開催概要を示す。

表7-1 協議会開催概要

	開催日時	議題
第4回	平成24年 9月13日	(1) これまでの取り組み概要 (2) 本事業のアウトプットイメージと今後の課題 (3) 他地域の取り組み状況 (4) 今年度の取り組み方針
第5回	平成25年 3月15日	(1) これまでの取り組み概要 (2) 今年度の実施結果 (3) 来年度の取り組み方針

## 7-2 第4回委員会

### (1)協議会の概要

第4回委員会の開催概要を以下に示す。

議事概要は次ページ以降に、配付資料は巻末に示す。

表7-2 第4回委員会の概要

項目	内容
開催日時	平成24年9月13日(木) 13時30分～15時30分
開催場所	亀岡市役所602・603会議室
出席者	<p>【委員長】松村暢彦(大阪大学大学院工学研究科 准教授)</p> <p>【委員】村上英之(京阪京都交通株式会社 運輸部貸切課長 管理部企画課担当)</p> <p>平野 剛(西日本旅客鉄道株式会社 京都支社 地域共生室 担当室長)</p> <p>福井尚朋(京都交通株式会社 舞鶴営業所)</p> <p>田中美賀子(亀岡子育てネットワーク)</p> <p>山岡 宏(国土交通省近畿運輸局 交通環境部 環境課)</p> <p>山本善也(亀岡市教育委員会 学校教育課)</p> <p>竹村 功(亀岡市 政策推進室 政策推進課)</p> <p>亀谷義忠(福知山市 市民人権環境部 生活交通課)</p> <p>廣見 要(京都府教育委員会 学校教育課)</p> <p>村尾俊道(京都府 建設交通部 交通政策課)</p> <p>【事務局】交通エコロジー・モビリティ財団</p> <p>亀岡市 政策推進室 政策推進課</p> <p>福知山市 市民人権環境部 生活交通課</p> <p>京都府 建設交通部 交通政策課</p> <p>株式会社オリエンタルコンサルタンツ</p>
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会挨拶</li> <li>2. 規約の改訂について</li> <li>3. 議事</li> <li>4. 総括</li> </ol>
資料	<p>資料-1 出席者名簿</p> <p>資料-2 京都府交通環境学習推進協議会規約(案)</p> <p>資料-3 今年度の取り組みについて</p>



## (2)議事概要

<b>1. 開会</b>	
村 尾 委 員 :	私はこの交通環境学習が始まった時の関係者であり、とても思い入れのある事業である。学習が始まった当時は、CO2削減が話題として上がり、地球温暖化を防止しなければならないということでは言われていたが、温暖化によってどのような問題が発生するかということに関しては環境学習を実施している我々でもあまり実感が無いような状態であった。しかし最近は竜巻警報が各地で発令され、集中豪雨などにより多くの被害が出ている。これは、平成17年には無かったことである。バスなどの公共交通についても、放っておくと無くなると言われており当時はそれほど緊迫感も無かったが、こちらも現実になってきている。 我々は頭を打たないと実感しないことが多いが、地球温暖化が大きな問題となっている今、これから先の未来を担っていく子供たちに理解をしてもらうということは非常に大切である。しかしながら、担当者の異動などにより思うように進められていないのが現状であり、今回の3カ年の中で、もっと自主的に進められるようにしなくてはならない。これまでの実績を踏まえて、遠慮なく正直な意見を言っていただき、議論を行いたい。
松 村 委 員 長 :	モビリティマネジメントの重要性は年々増しており、他の協議会でも、一般の人に公共交通の重要性を伝えなければならないという点の共有が出来つつある。その中で、小学生や幼稚園児などにどうやって伝えるのかという話も上がり、亀岡市で面白い取り組みが行われているということについても話をさせてもらった。 この事業については、昨年度に大井小学校と川東小学校の2校で授業を実施しており、新しいプログラムが実施出来たため非常に良かったと感じている。今年度は昨年度実施した内容を育てていくと同時に、地域を広げ、継続性についても考えていかなければならないため、課題が山積している。皆様の協力を頂きながら進めていきたいと考えているので、皆様からは忌憚なき意見を頂きたい。
<b>2. 今年度の取り組みについて</b>	
事 務 局 :	【資料-3を説明】
平 野 委 員 :	P23の「プログラム構築後の実施手順のイメージ」において、府が広報を行い、学校や市町村が交通環境学習実施の応募をするとあるが、今年度福知山市が加わったのは広報を見て応募したからか。
事 務 局 :	広報を行った結果によって福知山市が応募したわけではないが、亀岡市で実施している交通環境学習について周辺の市町村には話をしており、その中で福知山市の側から実施してほしいという依頼があった。
平 野 委 員 :	今後は周辺市町村だけでなく、さらに拡大するということか。
事 務 局 :	地球温暖化防止センターが実施しているように、広く普及させていきたいと考えている。
松 村 委 員 長 :	最初の周知啓発の段階で府から学校や市町村へ働きかけることは府が実績を持っているため必要だと感じるが、その後学校から府に応募をするというのは現

	<p>実的ではないのではないかと。その点についてどのように考えているかを教えてください。</p>
事務局：	<p>最初は府が啓発を行うが、最終的には府が関わらなくても各市町村の教育委員会などで広報をしてもらい、そこに応募してもらう形で進めていけばよいと考えている。ただし現状としてそこまで取り組みが進められている市町村が無いので、当面は府が先導して進めたいと考えている。</p> <p>また、最終的には個々の先生にたどり着くため市と府の両方から進めていく形でも良いかも知れない。</p>
村尾委員：	<p>P4で取り組みを実施している市町村は、ほとんどがコミュニティバスを運営しているところである。このような地域は、公共交通の利用促進などを自分たちの問題として捉えやすいため環境学習を実施してくれるが、反対にコミュニティバスを運営していないようなところでは実施してもらえないことが多い。そのような中で、どの様に進めればうまく広げられるかが課題であると認識している。今年度からはJRの協力によりバス以外のバリエーションも登場しているため、より広域に展開することを期待している。</p> <p>また、市町村の担当者がその気にならなければうまくいかないことが多く、いつまでも京都府が実施していくことはできないため、現在実施している事業に対してもメリットがあることを伝え、各市町村で交通環境学習を実施できるようになればよいと考えている。</p>
松村委員長：	<p>昨年度実施した川東小学校と大井小学校では公共交通のサービス水準が異なり細かい調整が必要であったため、市町村単位で実施をしたほうが良いのではないかと考えたが広域に進めていこうと考えるのであれば府単位で実施することも必要かもしれない。</p> <p>すでに取り組みを行っている亀岡市がうまく先導して京都府を主体に進められるとよいが、亀岡市としてはどのように考えているか。</p>
竹村委員：	<p>亀岡市としては京都府に先導してもらうことで授業をうまく進められているが、自分たちだけで実施していくことはまだ難しい状況であると考えている。</p>
松村委員長：	<p>今まで実施してきた内容について効果の把握が十分ではなかったという点は今後考えなくてはならない。短期間の評価はある程度実施してきたように思うが、長期的な評価が出来ていなかった。小学校で習ったことによってどれだけ考え方が変わったかという評価も行っていかなければならない。</p>
田中委員：	<p>短期的な効果把握として、授業のあとにどれだけの人がバスを使うようになったか等の効果把握は実施したか。</p>
事務局：	<p>バスエコファミリーの結果としては、川東小学校ではあまり変化が見られなかったが、大井小学校では乗車人数が増加していた。また、交通の選択肢としてJRを使って遠くに出かけたという話は多くあがっていた。</p> <p>しかしながら、こういった内容について授業を実施したためかどうかという点での効果把握はできていないため、今年度ではその点についても何らかの把握ができるとうまいと考えている。</p>
松村委員長：	<p>実際に行動が変わるようになることはなかなか難しいことだと思われる。</p>
山本委員：	<p>バスが鉄道に比べて充実度が低いということも問題のひとつかもしれない。また昨年度も議論されていたが、子供に伝えるだけでなくもっと親にも伝え</p>

	られるようにしたい。
事務局：	昨年度も、川東小学校のフィードバックシートでは親に対して実施した内容を報告してもらう形にしていた。ただし、実際にどれだけの児童が親に内容を伝えたかについては把握出来ていない。今年度の授業では、子供だけでなく親に対してもアンケートを実施するなどの方法を用いて昨年度よりも効果を把握出来る状況にしたい。
山本委員：	宿題シートの回収は行ったのか。
事務局：	シートの回収は行っているため機会を見て宿題の実施状況については提供させていただきたいと考えており、その際には事業者からの意見もきかせてもらいたい。
松村委員長：	事業者からの意見だけでなく教育関係者からも教育的な意見をもらえるとよいかもしれない。
竹村委員：	バスエコファミリーで小学校周辺では利用していなくても、京都や大阪などの都心部に出た際の移動にバスを使う可能性はある。把握は出来ていないが、亀岡市内だけでなく全体の中で意識の変化は起きているかもしれない。
松村委員長：	そのような意味でも、交通環境学習を実施した何年か後に調査を行ってみてもよいかもしれない。
田中委員：	家族ができると公共交通を使わなくなる傾向がある。小さいころから車で送り迎えをしてもらう生活に慣れた子どもたちに対して、交通環境学習だけでは少し弱いのではないかと思われる。行政として他の施策と合わせて進めてもらいたい。
松村委員長：	私は家族旅行も公共交通で行くようにしており、その中で子どもたちが人との出会いを大切に感じてくれるようになった。車を利用するのではなく、公共交通を利用することで本来では会うことが出来なかった人との出会いなど幅広い楽しみ見つけられるようになる。 人とのふれあいの良さを理解してもらえるような子どもたちを育てていければよいと思いながらこの交通環境学習の事業を行っているつもりである。
村尾委員：	松村先生の話がもっと伝われば交通環境学習がもっと広がっていくのではないかと思う。近年、効率性の時代からシェアリングの時代へ大きく変わろうとしている。公共交通を利用することで公共空間を共有していくことができればよいと考えている。生まれた時から車利用に慣れている子どもは公共空間でのたち振る舞いが分からなくなってしまうため、宣伝の仕方などは考えていかななくてはならない。
田中委員：	親も、迷惑をかける子供を公共交通に乗せることには抵抗がある。社会の側が様々な人で公共空間を共有することを受け入れてもらえるようになればよいと思う。
松村委員長：	確かに、社会の寛容性は下がってきているように感じる。
事務局：	京都交通さんは子育て応援等の施策を実施しているため、説明をお願いしたい。
山守委員(福井代理)：	【資料(京都交通の利用促進及びイベント参加)を説明】
松村委員長：	様々なことを実施していただいているので、うまく学校教育とも絡めてもらいたい。
事務局：	子育て応援パスポートを使ってもらえていないという状況について、なぜ使っ

	てもらえないのかについての分析も実施していきたいと考えている。
松村委員長：	効果的な浸透拡大方策について、新たに実施できることや、やってみたら良いと思われることなどがあれば意見をいただきたい。 例えば、亀岡市などで小学校の先生に対して研修会などを実施するといった内容はないか。
山本委員：	自転車安全教室とあわせてバスの乗り方やマナーなどであれば入り込める可能性はある。
事務局：	金沢市では自転車安全教育と合わせて学習を行っているため、そこを利用することは考えられるかもしれない。
田中委員：	5、6年生ではプリントを配布しても見せない場合が多いと思われるため、交通環境学習を授業参観のタイミングで実施してみてもどうか。
松村委員長：	授業参観は普通の授業を見せる場なのでその場を交通環境学習にあてることは難しいのではないかと。交通環境学習を実施して児童がそれについての発表を行う場としてであれば参観を活用できるかもしれない。
事務局：	親を交えた授業の方法については一度検討したい。
松村委員長：	現場の先生に一度交通環境学習を体験してもらったうえで進められれば、学校全体で実施できるかもしれないため、学校に近い市から働きかけることを一度検討してもよいかもしれない。
松村委員長：	事業者や自治体において利用価値を高める授業の仕掛けや工夫について何か意見はないか。
平野委員：	授業を実施したことにより利用増加につながれば一番よいが、一度の授業を実施しただけでどれだけの利用が増えたかは分かりづらい。事業者に対する感謝や見方がどう変わったか等のコメントを自治体や子どもたちからもらえると事業者の立場としては実施しやすくなる。
村上委員：	児童は興味津々で聞いてくれていたが、授業が楽しかったというだけで終わっていないかが心配である。もう少し実施した事業者へのメリットがあるとよかった。ただ、普段知らないバスに触れてもらったという点については意味があったと感じている。
松村委員長：	子どもの生の声があると事業者の側も実施のやりがいが出てくるかもしれない。箕面の交通環境学習では児童にコミュニティバスに関する思い出を書いてもらうなど児童の素直な意見を集めた例もあるため、そのようなことを実施してもよいかもしれない。
事務局：	今年度は、児童の意見などについても事業者にフィードバックできるようにしたいと思う。
松村委員長：	様々な感想が出てきてよいと思うので、是非実施してもらいたい。
松村委員長：	昨年度はバスの事業者との連携で実施しており、今年度はJRとの連携も加わっている。今後どのような連携が考えられるかについて議論をしてもらいたい。事務局としてはどのような連携をしていきたいと考えているか。
事務局：	事務局としては、京都府地球温暖化防止活動推進センター等のNPOや地域団体と協力していく方法があると考えている。
松村委員長：	亀岡市や福知山市で様々な事業者との連携の形を作っておくことで、他の地域でも実施が容易になるため京都府が主体となる価値があると思われる。温暖化

	センターについては広域に展開しており連携をすることは良いと思われる。 子育てネットワークでは、他の組織との連携などは行っているか。
田中委員：	川東小学校の地域で未就学児の親子が集まる施策を実施しており、その中で小学生の親や学校の先生と連携している。 スタッフも小学生の保護者である場合があるため、団体としてだけでなく個人としての連携もある。
松村委員長：	子育てネットワークでもアンテナを張っていただいて、様々な組織と連携を考えてもらいたい。
松本委員（山岡代理）：	授業資料の中に車椅子のサポートについて話が出てきているが、ノンステップバス等でバリアフリーの話を加えて実施してもよいのではないか。
事務局：	昨年は川東のバスの授業でもバリアフリーで人に優しいということを前面に出しており、今年度についてもバリアフリーには触れていきたい。
松村委員長：	フィードバックしやすいワークシートの工夫や教材の工夫などによって、今回の授業を各地で実施しやすいものにしてもらいたい。 神戸市の教育委員会でも小学校で利用したワークシートがインターネットで公開されていたことがあったため、そういった内容を参考にしてもよいかもしれない。 交通エコロジー・モビリティ財団からは、何か意見等はあるか。
加藤委員（岡本代理）：	学校で現在実施されている授業の中で交通環境学習としてとらえることができるものに何があるかの整理が必要ではないか。今後継続的に進めていくのであれば関係する授業に組み込んではいけなはずであり、イベントとして一時的に実施するのは望ましくない。
廣見委員：	現在交通環境学習はどの科目で実施しているのか。
事務局：	科目については学校側にお任せする形で進めているが結果的に社会科で実施されている。
廣見委員：	自分たちの住む地域や隣の町を調べる内容は小学3年生で実施しているが昨年度は交通環境学習を何年生の授業で行ったのか。
事務局：	昨年度は環境に関する内容があり、二酸化炭素などについて理解できる年齢を考え5年生で実施した。
廣見委員：	説明時間を考えて教育的な効果なども検証してもらいたい。
事務局：	学校側と調整する中で、それぞれの学校が受け入れやすい形で実施しているため様々なパターンで実施している。
松村委員長：	他地域に適用する際には、細かな調整を行う中で出てきた地域特有の内容について丸ごと使用する必要が無いという点は、注意書き等で入れた方がよいかもしれない。
事務局：	それぞれの地域や学校に対して授業の落とし所についても考えていきたい。
加藤委員（岡本代理）：	昨年度の宿題シートでは公共交通を実際に利用しないと書きづらいものになっているが、学校でどんなことをしたかという内容を子どもが親に発信し、親がどのように理解したかという点を質問してもよいかもしれない。
事務局：	その点も踏まえ今年度は宿題シートの裏面を使って親へのアンケートを実施することも考えている。
松村委員長：	親へのアンケートなどについては学校側と調整のうえ進めてもらいたい。

## 7-3 第5回委員会

### (1)協議会の概要

第5回委員会の開催概要を以下にす。

議事概要は次ページ以降に、配付資料は巻末に示す。

表7-3 第5回委員会の概要

項目	内容
開催日時	平成25年3月15日(金) 15時~17時
開催場所	亀岡市役所 602・603 会議室
出席者	<p>【委員長】松村暢彦(大阪大学大学院工学研究科 准教授)</p> <p>【委員】村上英之(京阪京都交通株式会社 運輸部貸切課長管理部企画課担当)</p> <p>平野 剛(西日本旅客鉄道株式会社 京都支社 地域共生室担当室長)</p> <p>山守貞之(京都交通株式会社舞鶴営業所 所長)</p> <p>木原浩貴(京都府地球温暖化防止活動推進センター 事務局長)</p> <p>山岡 宏(国土交通省近畿運輸局 交通環境部環境課 課長補佐)</p> <p>山本善也(亀岡市教育委員会 学校教育副課長)</p> <p>竹村 功(亀岡市 政策推進室 政策推進課 課長)</p> <p>田和昌弘(福知山市 市民人権環境部生活交通課 主任)</p> <p>仲尾謙二(京都府 建設交通部交通政策課 副課長)</p> <p>【オブザーバー】</p> <p>神田佑亮(京都大学大学院工学研究科 助教)</p> <p>【事務局】公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団</p> <p>亀岡市政策推進室 政策推進課</p> <p>京都府南丹広域振興局 南丹土木事務所</p> <p>京都府建設交通部 交通政策課</p> <p>株式会社オリエンタルコンサルタンツ</p>
議事次第	<p>(1) これまでの取り組み概要</p> <p>(2) 今年度の実施結果</p> <p>(3) 来年度の取り組み方針</p>
資料	<p>資料-1 出席者名簿</p> <p>資料-2 今年度の実施結果と来年度の方向性</p>

## (2)議事概要

<b>1. 開会</b>	
村 尾 委 員 ( 仲 尾 代 理 ) :	この公共交通学習に携わり 2 年になるが、やればやるほど勉強になると感じ、大変充実感がある。しかし、その半面継続することの難しさも感じる。2 年目になり、ヒントや方向性などがいくつか見えてきたので、のちほど事務局から報告する。少しずつ進んでいて、来年 3 年目で締めくくりとなるので、来年中には成果を出せるように頑張りたい。この 2 年間、亀岡市や福知山市、城陽市で授業を行い、バス事業者や JR の方、市町の方等に大変お世話になり、この場を借りてお礼を申し上げるとともに、来年度まで引き続き協力をお願いしたい。今年度の目玉として、比較的授業が続いている久御山町の中学校に、小学校の時に受けた授業を覚えているかというアンケートを行ったので、その成果をのちほど紹介する。引き続き 3 年目に向けて頑張っていくので、ご協力をお願いしたい。
松 村 委 員 長 :	さきほど市役所 1 階で議会の中継を見ていると公共交通の話になった。昨年亀岡市で公共交通に関するアンケートを行ったらしく、公共交通は大切で、京阪京都交通さんがバスをある地域に導入できないか検討されたという質問が出ていて、その議員が言うには亀岡において、モーターレーゼーションは進んでいるが、人の移動を支えるのに公共交通は大切だと力説していた。直接的にバスを走らせるということも大切だと思うが、公共交通を使って小学校・中学校への教育を進めていくというのも公共交通の大切なミッションではないかと思うので、今年度・昨年度の実績を踏まえて、亀岡や京都府内で定着できるようなスキームが出来上がると、それを支援する 1 人として非常にうれしく思うので、今日も忌憚のない意見を頂戴したい。
<b>2. 今年度の取り組みについて</b>	
事 務 局 :	【資料-2 を説明】
松 村 委 員 長 :	今年度の実施結果について質問などあるか。事務局のまとめだと概ね好評ということ。
事 務 局 :	親へのアンケートは回答してもらえなかったところもあったので、そのあたりは課題だと思う。
松 村 委 員 長 :	授業もフィードバックも非常に丁寧。昨年から今年にかけて、いい意味で慣れもあったのでは。JR さんは今年初めてだがどうだったか。
平 野 委 員 :	JR の説明は制服こそ着ているが、実際にバスや宅配の車を見てもらう説明に比べるとインパクトが薄いのではと心配していたが、つまらないというわけではなく子供心をひきつけるものがあったのだろうと思う。ただ、来年度もやるなら、今年度の反省を踏まえてブラッシュアップしてやりたいと思う。
松 村 委 員 長 :	鉄道を支える裏の仕事を分かってもらうのは非常に難しい課題。それを 5 年生でやるのか 6 年生か、どちらで授業をするのか検討課題だと思う。全国的にも難しいことにチャレンジしたのは勇敢だと思う。 京阪京都交通さんはどうか。
村 上 委 員 :	昨年に引き続き 2 年目で精度が上がったのか、昨年はどんなバスなら乗りたいかという質問に翼がついたバスという回答がある様な状況だったが、今年は子

	<p>どもたちに求めている答えがようやく返ってくるようになった。こちらが求めている答えが子どもたちから返ってきて、保護者も答えを返してくれる、そんなスムーズな流れができてきた気がする。ただ、川東小学校で授業をして、子どもたちがバスを見た授業の話を家庭でし、保護者と一緒にバスに乗ろうかとなった時に、川東沿線だと路線バスの本数が少ない。比較的すぐに乗ってもらえるようなロケーションの学校だと、公共交通を実感してもらえ、こちらの狙いの最終系になるのでなおよい。</p>
松村委員長：	<p>昨年度と今年度で工夫した点は何か。</p>
村上委員：	<p>2年目ということもあり、バリアフリーやバスの安全面など、子どもたちが反応してくれたところを復習的に説明した。</p>
松村委員長：	<p>対象地域の絞り方として、そのあとのハードルが低い地域でやるとよい。ただ学校とのニーズのマッチングもある。久御山は小学校の前にバス停がある、そのような環境でなければ難しい。</p>
山守委員：	<p>京阪京都交通さんでパターンができていたので、楽だった。京都交通では、市内の子どもたちにいかにバスを近づけるかという課題意識をもともと持っていた。運転席がついたようなミニバスをイベント会場に持って行き、子どもたちにバスに触れてもらおうという取り組みもしている。そのように、本来はバス事業者が自らやらなければいけないことだと思うが、学校関係などは非常に難しいので、今回参加させてもらい非常にいい機会だったと思う。小学校や市でこのような環境があるならば、是非また参加したい。</p> <p>継続的な取り組みとなると、授業を受けた生徒にはがきを送るのもいいのではないか。公共交通の存在を問いかけ続けないとダメだと思う。イベントなどに参加する時はミニバスとグッズとお試し乗車券を持って行く。現地でバスに触れてもらい、家でグッズを見てバスのことを思い出してもらい、お試し乗車券で乗ってもらうという仕組みにしている。お試し乗車券は金銭的な面もあるが、可能であればやっていけばいいと思う。</p>
松村委員長：	<p>お試し乗車券がうまくいけばいいと思う。事務局の説明で見た動画では、非常に慣れた説明だったが、あちこちで授業を行っているのか。</p>
山守委員：	<p>やっている。今回は本物のバスを使ったが、ミニバスの前で説明をしているので、慣れたように感じてもらえたかもしれない。</p>
松村委員長：	<p>教育委員会からはなにかあるか。</p>
山本委員：	<p>子どもの感想としては、事業者が配慮・努力してさまざまな取り組みをしているのだということが挙がっており、親の感想も事業者への意識に変化がある。つまり、家庭で授業の内容が伝わっている。あとは、いかに実際に乗ってもらうかということが課題。</p>
松村委員長：	<p>アンケートの結果を見ると、趣旨は理解してもらえてると思う。他の市もこのような事業をやりたいと言ってきてくれればいいのだが、まだそんな話は出てきていないか。</p>
山本委員：	<p>交通や福祉などを授業に取り入れてくれないかと言われるが、限られた時間の中でカリキュラムもこなさないといけないので難しい。</p>
松村委員長：	<p>プログラムが出来上がると使いやすいかも。そういう観点からも意見がもらえたらいい。</p>



木原委員：	感想になるが、子どもがいきいきしているのが事務局の説明で見た動画からも伝わってくるので、やはり本物に触れるのは素晴らしいと思う。質問だが、久御山町の授業で実際のバスに乗る際、その費用を久御山町が負担しているということだが、なぜそうされているのか。このような授業が大切だから投資しようと思っているのか、貸し切りバスよりも安いからか。
村尾委員 (仲尾代理)：	学校ヒアリングで聞いた話では、久御山町では2年生で「レッツゴー！まちたんけん」や自分の地域を知ろうというカリキュラムがあり、地元でバスが走っているし実際のバスに乗せることで授業の効果がすごく高まるということである。学校側は継続を希望し、役場も空いているコミバスを利用推進したい。運賃の数万円を捻出するのは簡単で、双方の思惑が一致している。これを他の地域でもできないか、バスに乗れる環境の学校が2年生のまちを知るという授業をするときにはちょうどいいが、役場で数万円の捻出は簡単でも、学校側にするとかなり難しいので、そこがうまくいけばいい。福知山では、乗車体験で石原駅まで歩き、自分で切符を買って、夜久野まで電車で行き、農村の里夜久野で見学をして帰ってくるという授業がある。まちたんけんと乗車体験の相性がいいということが今年分かったので、他地域でもできたらいい。同じようなことを舞鶴でもやっている。この方法は手間がかからず、いい形で実現できるのではないかと思っている。
事務局：	久御山の小学校にヒアリングに行った際には、久御山町の予算がなくなったら継続が難しいと言っていた。予算がなくなったら教育委員会の持っている無料のバスで行くことになるという話であった。
松村委員長：	<p>来年度に向けては何パターンかありそう。市役所なりに予算化して、リアルなコミュニティバスを使って授業するのは、メリットはリアルさを実感でき、学校側も予算がいらない点。デメリットは安全確保が大変な点で、市役所の職員などが対応しなくてはならない。学校側の予算で体験学習等で公共交通を使っている場合は新たな予算が不要で、ワークシート等を渡すだけでよく、自動的に広がっていく可能性がある。今回のように府や市が予算化し、交通事業者に依頼してリアルな人が説明するのは、公共交通に実際に乗っている感じが無いのがデメリットだが、安全が確保されたうえで、制服を着た人の話を聞けるのはメリット。説明資料の京都府における公共環境学習の展開のイメージでは、京都府が真ん中に来ているが、交通事業者が真ん中にくる形があってもいいかもしれない。今後の継続性という観点から見ると、この協議会で作った素材を共有しながら広げていくのは1つのやり方だと思う。</p> <p>今年度の取り組みについてはどうか。久御山町のアンケートは普通効果は出ないだろうという前提の中で勇気のあるアンケートだったのではないかと思う。久御山町ですっとやってきたからこそアンケートが取れるので、そういう意味では貴重なデータだと思う。これでたくさんの方がバスに乗っていたら本当かと疑ってしまうがそうでもないところが信憑性があるように思う。さらにデータを分析して明らかにしてほしい。</p> <p>64ページで意見を頂きたい点として3つ挙がっているが何かあるか。</p>
神田オブザーバー：	来年度のプログラムの中で、子どもたちがバスに乗るようなお試し乗車券を考えてみるべきだと思う。バスを認知し、乗ってみようという判断をし、行動し

	<p>て初めて利用につながる。今は、認知と判断まではいっているが、行動までは行っていないので、そこで可能性があるのがお試し乗車券なのかと思う。ただ、課題がいくつかあり、費用はどこが持つのか、バス事業者が発行するのも難しいと思うのでそこを具体化してクリアにできるといい。できればその乗車券は親に見せたくなるような格好いいデザインがいいと思う。2 つ目に保護者に情報発信する時に、環境よりも教育という言葉に保護者は敏感なんだということが別の研究でわかってきた。「ガマン」や「発育」ということへの興味が高いので、そういうワードを入れてはどうか。バスに待たされるのも教育である。</p>
松村委員長：	<p>お試し乗車券を一度検討してみてはどうか。実際のハードルを下げるという意味もある。</p>
松村委員長：	<p>福知山の夜久野の見学の件は知っていたか。</p>
平野委員：	<p>知らなかった。社会見学で JR を利用するというのはよくあることで、集約等はしていない。</p>
村尾委員 (仲尾代理)：	<p>その話も、福知山に通って知った話で、続けているとそのような情報もだんだん分かってくる。</p>
松村委員長：	<p>京阪京都交通・京都交通では、体験乗車はこの取り組みでだけではなく、他にもやっているか。継続して毎年やっている小学校はあるか。</p>
村上委員：	<p>ここ以外でもやっているが、継続してやっている小学校はない。</p>
松村委員長：	<p>話が来た時に配れるようなものがあればよい。それが低学年・中学年・高学年などパターンに分かれているとなおよい。</p>
山守委員：	<p>舞鶴は事前に学校側から連絡をいただくので、運行管理で把握できている。</p>
松村委員長：	<p>それをうまく活用できればよい。自分たちが考えている以上に接点はあるのかもしれない。</p>
村尾委員 (仲尾代理)：	<p>「交通環境学習」という単語が、学校では理解されにくいということが 2 年間でわかってきた。最初に「交通環境学習」と言うと引かれる。このような場や行政だと通じるが他では理解されにくいので、他の呼び方を考えた方が良くもかもしれない。</p>
松村委員長：	<p>多面的なもので表現しようとするのが難しい。5 年生では環境学習で入ったほうが分かりやすいだろうし、4 年生では福祉としてもよいし、2 年生ではマナーといってもいいかもしれない。相手に合わせて使ったほうがよい。</p>
加藤委員 (岡本委員)：	<p>最終的に公共交通の利用促進につながれば、ケースバイケースで使っていて構わない。</p>
山守委員：	<p>保護者のアンケートがもう少し出てきたらいいと思う。保護者のアンケートは質問等はとてもよいが、ここにも「交通環境学習」と書いていて難しく面倒くさいイメージを受けるので、文字数を減らすなど簡単になればいいなと思う。</p>
事務局：	<p>学校からも保護者からアンケート内容が難しいと保護者から言われたと聞いた。親と一緒にやってもらうという趣旨だったので、宿題のように出しても強要できなかった。集まりが悪くなった。</p>
松村委員長：	<p>苦労しているのは分かるが簡単に書けるようにしてほしい。 京阪京都交通さんで PTA で実施する授業が年 2 時間くらいあると資料に書いてあるがそれについては。</p>
村上委員：	<p>保護者とクッキングするようなイベントがあるので、そこに交通環境学習を組</p>

	み込んでもおもしろいのではないかという話が出た。
松村委員長：	久御山か東角で、先生が乗り気になってくれて、のってこバスの歌を作ったり、バスのデザインを考えたり、総合学習の時間にやってきたことを各班ごとに授業参観で発表するというのが以前あった。
事務局：	東角の谷口先生という方がやってくださった。実施を開始した5～6年前は総合の時間に10時間程度授業を行った。
松村委員長：	それくらい乗り気になってくれたら、授業参観でやるようになるかもしれない。
神田オブザーバー：	今年授業した学校で来年度もまたやってもらえるのか。
村尾委員 (仲尾代理)：	担任の先生が変わるとどうなるか分からない。新年度になって学校に行ってみないとわからない。久御山がうまくいっている理由はカリキュラムとうまく合っているからで、先生が変わっても毎年行っている。そういうパターンを組まないと継続は難しい。川東はバスを通学に使ったり、目の前にバス停もあるので、定番化するかもしれない。
松村委員長：	感想だけを見ると学校ではマナーの教育をしてないので良かったという意見もある。 亀岡市のコミュニティバスで久御山バージョンはできないか。
竹村委員：	川東は歓迎していると思う。子どもたちはバスや鉄道しか交通手段がないが、休みになると親とは車で出かける。しかし、地道な活動も大切だと思う。
松村委員長：	亀岡市なら自分たちで京都市内までの遠足のプログラムを作るなどやっているかもしれない。そういうものと連携できるといいかもしれない。商業施設の連携はないか。目的地側で交通機関と連携するなどないか。
村尾委員 (仲尾代理)：	小学生だけでは、学校区内から出てはいけない。そうするとバスエコファミリーが出てくる。亀岡の子どもたちは二条のVIVIの映画館に行くようで、ガリバーマップを使った授業でも二条の認知度は高かった。
木原委員：	京都サンガのサッカースタジアムが亀岡にできるといううわさがあるが、そうすると京都中から人が集まる。サンガと連携して、巨大ガリバーマップなどを使って、実際利用した交通機関でかかった時間を言ってもらい、電車で来たら早かったというイベントや、交通事業者が入った取り組みをやるとおもしろいのではないか。
松村委員長：	京都サンガのスタジアムだと、環境アセスの対象になると思う。現在ガンバ大阪の環境アセスの委員をしているが、ガンバはいろいろ言ってくれているので、サンガにも地域に根ざすというために何かやってもらえるかもしれない。それとJRがうまく連携してくれれば広がるかもしれない。
神田オブザーバー：	お試し乗車券の話だが、それにバスの運転手さんが乗った日をチェックし、それを駅前のお店などに持っていったらプレゼントみたいなものはどうか。JRも同じで改札でスタンプを押してもらい、それをスタジアムに持っていったら何かプレゼントするという方法も考えられる。
松村委員長：	企画乗車券なんかはいいかもしれない。バスは運転手さんに負担をかけてはいけない。交通は派生需要でバスに乗ることが目的ではなく、その先に目的があるので、その間で何かできれば楽しい。きっと思い出にも残る。それが商業活性化につながるようなプログラムになるかもしれない。

松村委員長：	59ページのプログラムの定着で3つのパーツにわけて、それを他の市町村に広げていくということだが、実物見学と共有・まとめはわりと共通的なことができるのではないかと。最初の導入の部分は市町村や現場の先生にやってもらうために投げかけてやっていく。使う資料は現場の先生に聞かないとわからないところもあるので、一度ヒアリング等で確認してほしい。
村尾委員 (仲尾代理)：	30ページについて、平野委員は鉄道はインパクトがなかったとおっしゃっていたが、乗りたい意向は大井小学校はが最も高い。これは使おうと思ったときにすぐに使える環境だからだと思う。バスも乗ろうと思った時に本数がそんなにならないとなると数字が落ちる。いくらバスがない地域でやっても仕方がないという面もあるので、もう少し街中の小学校で授業を行うことも視野に入れたい。
松村委員長：	そういう観点で紹介してもらえるとありがたい。プログラム自体は熟度が高まっているので、社会貢献だけでなく、事業者が持続的にできるような取り組みが必要と思う。 確かに半数以上がいいと思ってくれるのはうれしい。
村尾委員 (仲尾代理)：	授業が良かったんだと思う。大井小学校は親の反応も良い。
松村委員長：	同じように来年はバスがすごいと言われるようになると良い。 授業が実施されてよかったかの質問にほぼ100%が好意的に捉えてくれているというのは、熱心にやった証拠ではないか。 MM教育はなかなか続かないのが普通の話であるが、今回は戦略的に考えられたプログラムで関係者間の連携もとっていつている。 来年度に向けての方針で、概ね提案した内容でいいと合意したと思う。それプラス、体験乗車券、目的地の商業施設との連携、市町村が行っているおでかけ体験乗車に今回のプログラムを足しクオリティをあげる、バスのサービスレベルがある程度ある場所に行くといった点を踏まえながら、継続的に実施しつつ、さらに広げられる様な方向で検討してほしい。

## 8. 本業務の成果と今後の展望

本業務は、京都府下の小学校における交通環境学習の普及・定着を目的として、3年間の試行、検証の繰り返しを通じてしくみづくりを行う事業の2年目として、プログラムのブラッシュアップ及び評価、関係者への発信等を行った。また、これらの結果を踏まえて平成25年度における取り組み方針をまとめた。

以下に本業務の成果を示す。

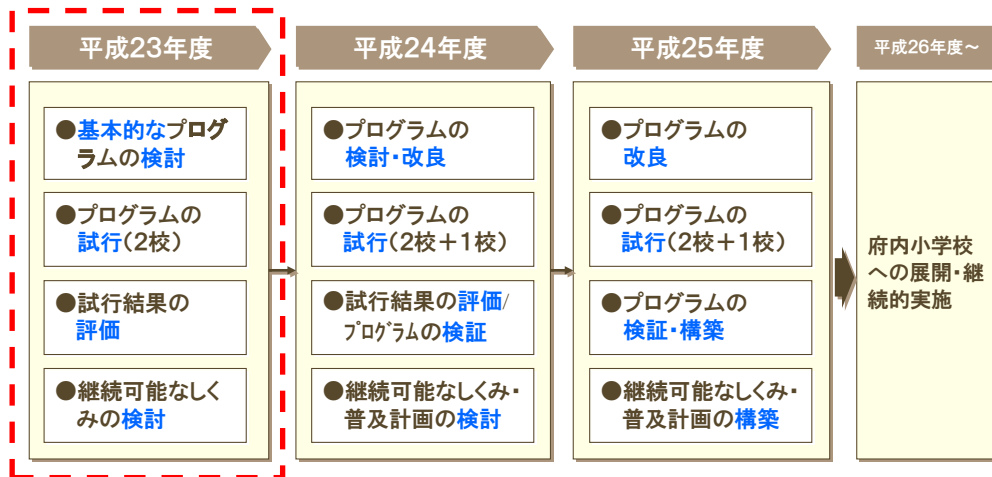


図8-1 本事業のフロー

## 8-1 本業務の成果

### (1)プログラムのバリエーションの構築・定着化

府下で取り組みを展開していくため、大井小学校において沿線であれば広く展開できると考えられる鉄道を題材とした授業を構築・試行した。このプログラムは、仕事をテーマとしていた点が親に評価され、継続的な実施を望む声も多かった。

また、プログラムの定着を図るため、川東小学校では昨年度実施したバス車両見学のプログラムをコンパクト化し継続的に実施した。バス通学が多い学校の特性に適合している点で、先生からの評価も高く、今後も継続的に実施されることが期待できる。

### (2)アンケート・ヒアリングによる効果や課題の明確化

多くの小学校で展開していくためには、この取り組みの効果を明確にし発信していくことや、課題を踏まえた改善を図ることが必要となる。そのため、今年度の授業について小学校の先生へのヒアリングや親へのアンケートにより効果や課題を把握するとともに、継続的に実施されている久御山町での取り組みについてのヒアリング・アンケート調査を実施した。

その結果、今年度の授業は先生や親から高く評価され継続を望む意見も多いこと、久御山町の取り組みでは授業の数年後の効果としてバスの認知度や利用率に対して差が見られることが明らかとなった。また、授業の普及・定着に向けては地域特性や科目単元との関連付けた内容とすること、既往の取り組みに連携させ負担を軽減すること、繰り返し実施し定番化していくことなどのポイントを把握した。

### (3)関係者への周知・発信のしくみづくり

府下の多様な地域に取り組みを広げていくには、関係者への的確な発信を行っていく必要がある。そのため、市町村のバス担当者会議や校長会理事会において、取り組みの背景や経緯、効果等についての周知を行った。

今年度は特に大きな反響は無かったが、今後の継続的に発信・コミュニケーションに向けた第一歩になったものと考えられる。

## 8-2 今後の課題

### (1)プログラムの定着化・効果向上

事業終了後の定着・普及に向けて、モデル校では授業を定着させることが必要となる。また、その他の地域へ展開しやすいプログラムを構築していくことが望まれる。

そのため、モデル校では学校現場や事業者のニーズを踏まえこれまでのプログラムに磨きをかけて繰り返していくことで、学校のスタンダード化をしていくことが考えられる。また、新たな地域へ展開のためには、現在複数の学校で実施されている低学年での公共交通を用いた見学に連携させて、理解を深められる事前学習や事後学習の教材を検討、提供・試行することで、展開の可能性が高まると考えられる。

### (2)実施可能なプログラムの整理

各地域で授業を検討していくには、未経験者でも実施する内容や方法が分かるような情報が必要となる。

そのため、次年度までで構築されるプログラムのバリエーションについて、利用時の留意点や効果を高めるために地域の情報等を加えるべきポイント等も分かるように整理を行っていく必要がある。

### (3)京都府下への波及に向けた波及のしくみづくり

府下の多様な地域に取り組みを広げていくため、さらに効果的な発信ができるしくみを構築していく必要がある。

そのため、より高頻度に多様な情報を提供できる方法としてメールによる関係者へ配信していくこと、より理解を深める方法として市町村の担当者等へ向けた研修会のしくみをつくるとともに、モデル校で実施する授業の見学会等を行っていくことなどが必要と考えられる。